

# CLUB HARLEY

Ride the HARLEY-DAVIDSON.

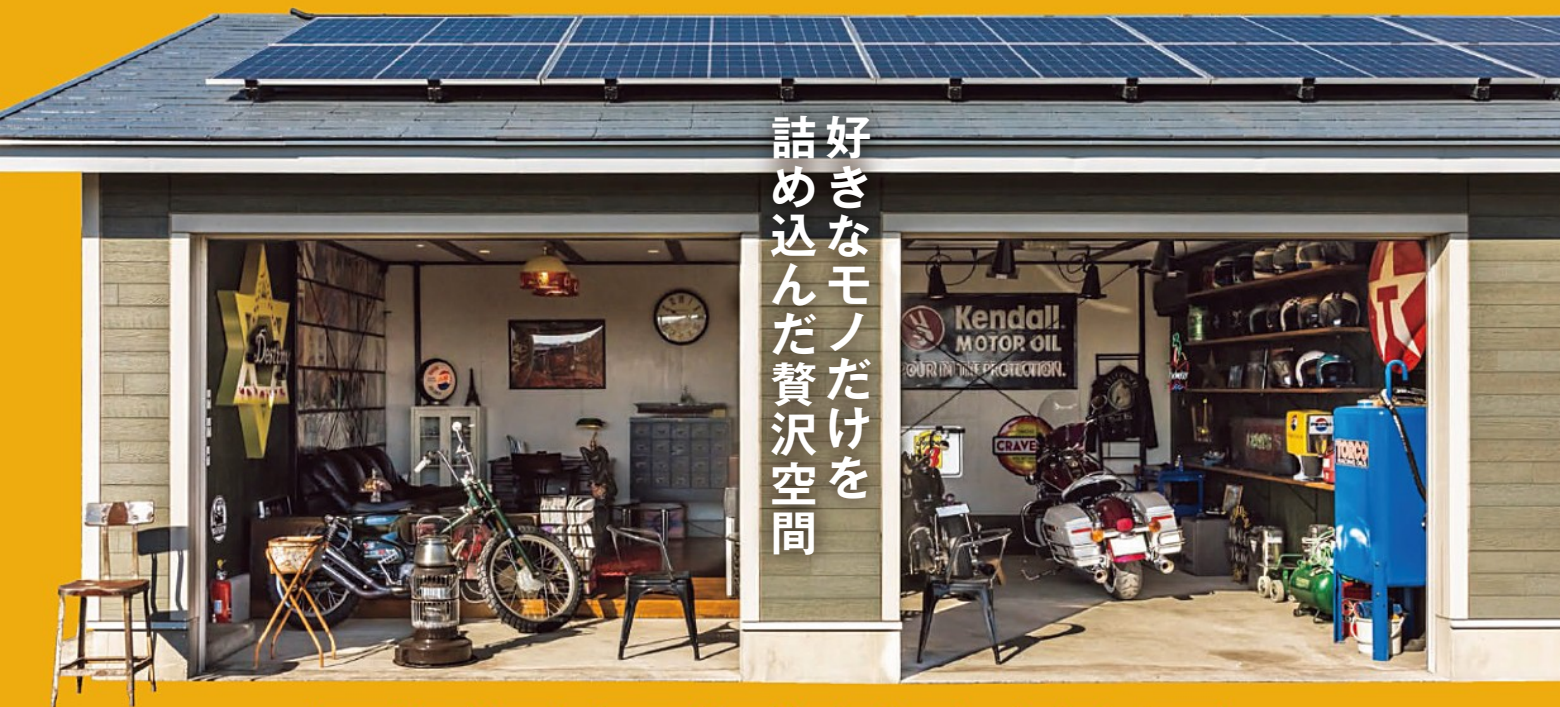
SINCE 1998

2025  
February  
Vol.295

2



# GARAGE



## FOR YOUR H-D

# ハーレー乗りの 秘密基地。



- デジタル版には、表紙画像や目次に掲載している記事、画像、広告、付録が含まれない場合があります。
- 掲載情報は原則として奥付に表記している発行時のものです。

以上をご理解の上、ご利用ください。



**CLUB  
HARLEY**  
Ride the HARLEY-DAVIDSON.

*New arrival*

JAPAN AND USA SAFETY STANDARD HELMET

MOTOMOTO3

SMALL FULL FACE









# CLUB HARLEY GOODS



## フライングホイールは 往年の“7スポーク”を再現

現在も人気の高い名車「FXSローライダー」やH-D唯一のカフェレーサー「XLCR」の初期製造モデルにだけ採用されていたことでも知られる“モリス社製7本スポーク”を再現したこだわりのホイールデザインに、1970年代風の直線的な羽根を組み合わせたマニアくすぐるフライングホイールに注目!! その上には、いにしへのH-Dレーシングマシンに採用されていたチェッカーロゴをオマージュした新CHロゴをあしらいました。



モデル：身長179cm、体重80kg、Lサイズ着用

## CLUB HARLEY COACH JACKET

15000円 サイズ：M、L、XL

## バイク乗り必携の コーチジャケット

肌寒いときに重宝するのがサッと軽く羽織れるコーチジャケットです。最もこだわったのはハーレー好きに刺さるデザイン。胸には、いにしへのH-Dレーシングマシンにあしらわれていたチェッカーロゴをオマージュした新クラブハーレーロゴを。背中にはモーターカルチャーの定番であるフライングホイールをあしらいました。普段使いできるデザインながら、マニアックなホイールをモチーフにしたことでコアなH-Dファンであることを主張する一着です。

マニア心を

くすぐるデザイン!!



	着丈	身幅	肩幅	袖丈
M	72.5	59	48	64cm
L	75	63	51	65cm
XL	78	68	54	66cm

※若干の誤差が生じますことをあらかじめご了承ください







# CLUB HARLEY LONG SLEEVE T-SHIRT

6500円 サイズ：M、L、XL

## ヘビーウェイトで タフなロンT

好評発売中のTシャツと同じ8.1オンスの生地を採用したタフなロングスリーブTシャツです。フロントにはレインボーグラフィック、ソデには1960年代から1970年代にかけて主にロードレーサーなどに採用された知る人ぞ知るチェッカーロゴをオマージュ。マニアックなH-Dファンなら思わずウオッ!!となること間違いなし。色は定番のブラックに映えるアイボリー1色。シンプルながらもハーレー好きであることをしっかりアピールできる一着です。

ハーレーが大好きな人にこそ

着てほしい!!



モデル：身長179cm、体重80kg、Lサイズ着用



	身丈	身幅	肩幅	袖丈
M	68	53	47	59cm
L	71	57	51	60cm
XL	74	61	55	61cm

※若干の誤差が生じますことをあらかじめご了承ください



1960～1970年代のH-Dレーシングマシンにあしらわれていたロゴをオマージュ。クラシックでありながら、スポーティな印象を与えます



フロントにはAMF傘下時代のハーレー社が1974～1976年にかけて採用していたことでも知られるレインボー柄のロゴをあしらっています

商品の購入はコチラ!!

<https://club-harley.shop/>





# CLUB HARLEY GOODS



## CLUB HARLEY T-SHIRT

4000円 サイズ：M、L、XL

我々バイク乗りは激しい走行風に突然の雨など、何かと過酷な環境にさらされがち。だからこそペロンペロンのTシャツでは心もとありません。そこで、8.1オンスというヘビーウェイトな生地をチョイスしました。糸にはUSコットンの空紡糸を採用することで、乾いた肌触りでタフな着心地を実現。さらにフロントにはおなじみのレインボーグラフィックをあしらいました。色はバイカーTEE定番の黒に映えるアイボリー1色としています。お気に入りのライダースの下に着込めばぴったりマッチすること間違いなし!!



	着丈	身幅	肩幅	袖丈
M	68	53	47	22cm
L	71	57	51	23cm
XL	74	61	55	25cm

※若干の誤差が生じますことをあらかじめご了承ください

## CLUB HARLEY CAP

4500円 サイズ：フリー

ヘルメットをかぶるため、どうしてもヘアスタイルが乱れてしまうのは、いわばハーレー乗りの宿命です。そんな悩みを解決してくれるアイテムがトラッカーキャップ。しかし、大人がかぶるには少々派手すぎたりと、既存の商品に満足のいくデザインがない……とお嘆きの方も多いのでは!? というワケで作ったのがコチラ!! 往年のタンクグラフィックを彷彿とさせるVチェッカーを贅沢に刺しゅうで表現しました。色も黒でシックな仕上がり。大人っぽいデザインは、どんなスタイルにも似合うハズ!!



細部まで徹底した物づくりにこだわる「セブンスヘブン アートジュエリー」と「クラブハーレー」による特別コラボのハーレー純正キーカバーです。現行モデルはキーの形状が変わってしまったため、一旦オーダーをストップしていましたが「ちょい旧」ハーレーのオーナーからの熱い要望に応じて、再販を開始! ハーレーのエンジンをシルバーで精巧に表現することにかけて、この世界で誰よりもこだわっているであろう「セブンスヘブンアートジュエリー」。そのリアルなエンジンを組み込んだ、純正キーにフィットするカバーです。片面はレインボーモチーフのCHロゴ。もう片面にはリアルなエンジンのモチーフがドン! と構えるデザイン。エンジンは愛車に合わせてツインカム、スポーツスターと選択できます!



裏面

## CLUB HARLEY



## 7th-Heaven Art Jewelry ハーレー純正キーカバー

2万7500円



ツインカム



スポーツ  
スター

商品の購入はコチラ!! <https://club-harley.shop/>





# トリプル コラボ ガレージ 発売中!!

標準価格：  
**298万円**

バイク乗りの理想を詰め込んだ、  
クラブハーレーオリジナルガレージが発売中!  
「ダイナオガレージファクトリー」のガレージをベースに  
「カントリーベース」の造形モルタルを施工した、  
「クラブハーレー」でしか買えない  
トリプルコラボの特別なガレージだ。  
夢のガレージライフを、  
クラブハーレーオリジナルガレージで始めよう!



- 5 ライトニングレール&スポット照明
- 6 出入口ドア
- 7 サイドオーニング
- 8 FIX窓&カウンター
- 9 ハンガーパイプ付き収納棚
- 10 LED蛍光灯
- 11 コンセント
- 12 USBコンセント
- 13 換気扇
- 14 アルミスロープ



## スペシャルペイント

外壁のロゴは特殊なペイントによって描かれている。両サイドと背面にレインボーカラー、シャッターにはクラブハーレーのロゴをペイント



## ソーラーパネル

ソーラーパネルで作った電気をポータブル電源(別売)に充電しておけば、電動シャッターのほか、ガレージ滞在中に電化製品を使用できる

## 電動シャッター

リモコンかスマホのアプリで開閉可能な電動シャッター。コンパクトに収納されるので、収納部のせり出しが少ないのも特徴



## デザインコンクリートの内壁

特殊なモルタルによって造形を施し、ペイントでリアルな風合いを表現する技法。写真のガレージのデザインコンクリートはあくまでサンプル。注文後の打ち合わせの際に、施工を希望する柄やイメージを伝えて理想の内壁が作れる

商品の詳細・購入はコチラ! <https://club-harley.shop/pages/garage>

※設置する場所や追加オプションによって実際のお支払金額が変動します。特設サイトの専用フォームでご注文を頂いた後、ダイナオガレージファクトリーよりお客様にご連絡いたします。その際に設置方法やオプションの打ち合わせをさせていただきます。また、代金はダイナオガレージファクトリーにお支払いいただく形となります。





CLUB  
**HARLEY**  
Ride the HARLEY-DAVIDSON.

送料無料でお届け!

# 定期購読 キャンペーン

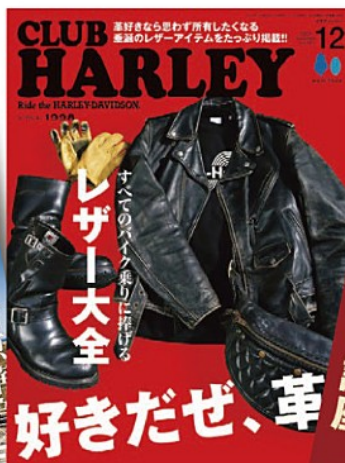
【月額払い】  
**1,200円** (税込)



初月  
無料

1冊分がお得に!

**0円**



クラブハーレーショップ



定期購読のお申し込みは、  
右記の QR コードからできます!





[ 米国クラウス社との販売提携 ]

**KRAUS**

**スズキ&アソシエイツ**

SUZUKI & ASSOCIATES, LTD.

### S-ONE PRO KIT

10" ¥266,860  
8" ¥266,860

### SX5 INVERTED FRONT END KIT

¥1,299,320

## 最上クラスの パフォーマンス

クラウスとオーリンズの共同開発によって誕生した  
ハイパフォーマンス倒立フォーク“SX5Inverted Front End Kit”、  
1つのキットで操作性の優れたライディングポジションを構築する“S-One Pro Kit”。  
クラウスなら、最上のライディング体験へと導くアイテムが揃います。

### ライディングを支えるフットパーツ

Max Lean ミニボード  
¥72,930

ERG One ミニボード  
¥72,930

Apex Edge フットペグ  
¥64,450

**スズキ&アソシエイツ株式会社**

☎ **0563-55-4700** ■営業時間  
月～土曜日 9:00～18:00

詳細は [www.customworld.jp](http://www.customworld.jp) カスタムワールド 検索

*Check*

最新のカスタムパーツや  
イベント情報等、  
絶賛配信中!

※価格は2024年12月現在の税込み価格です。価格は仕様により異なる場合があります。



Instagramは  
<こちらから>



facebookは  
<こちらから>





*Details Create Style*



**KEN'S FACTORY**



SHOP ONLINE  
<https://kens-factory.com>





ALL  
MADE IN  
JAPAN



MAT BLACK



GUNSHIP GRAY



GOLD WOOD YELLOW

## Custom Lot 700

MAT BLACK / GUNSHIP GRAY / GOLD WOOD YELLOW

アメリカ製のクロームトリムが光沢感や高級感を演出

Customブランドから、新たなフルフェイスモデルをリリース。ヘルメットのベースはGT-750。原型は一から作り、使用するパーツはクロームトリム以外の、細かいパーツはすべて日本製。DIN MARKETが最も拘る国内手作業生産にて作ったパーツを用い、職人がひとつひとつ丁寧に組み込みを行う。

Lot 700 の最大の特徴は、トリムにアメリカ製のクロームトリムを採用していること。通常はゴムのトリムだが、芯金材質のアルミは見栄えに優れていて、光沢感や高級感を演出してくれる。

ヘルメットの材質はFRP。高硬度なFRPは耐衝撃性が高く、安全性にも長けている。

ヘルメットカラーは、ジェットヘルメット SHM® Lot 500 でも人気のマットブラック、ガンシップグレー、ゴールドウッドイエローの3色。

視界部分の高さはセンターで約80mm。ライディングに支障がない範囲を保ちつつ、見た目の良さを重視している。クロームトリムの存在感を重視し、シールドは装着させていない。

内装については現代の需要に合わせて、インカムのスピーカーのスペースを確保。内装の凹み部分へ内蔵が可能で、スピーカーサイズはほとんどのインカムに対応している。顎を絞めるストラップカバーには本革を使用。サイズは幅広く対応できるようM・L・XLと3サイズ展開。

## Custom Lot 700

Price : ¥46,200 (in tax)

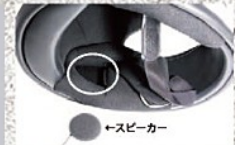


MADE IN JAPAN



Size : M (57cm~58cm) 、M (59cm~60cm) 、L (61cm~62cm)

Color : マットブラック、ガンシップグレー、ゴールドウッドイエロー



視界部分の高さがセンターで約80mm。ライディングに支障がない範囲を保ちつつ、見た目の良さを重視している。ヘルメットを装着したまま、メガネやサングラスなどの着脱も容易に出来る設計。

インカムのスピーカーのスペースを確保。画像の白丸の凹んだ部分へ内蔵が可能で、スピーカーサイズはほとんどのインカムに対応している。顎を絞めるストラップには本革で、長年の使用にも耐えられる素材を採用している。※画像はGT-750を使用。



MAT BLACK

艶なしのブラックは、艶あり以上に存在感があり、注目されるビジュアル。流麗なスタイリングがより際立って見える。



GUNSHIP GRAY

現用のアメリカ空軍機に採用されるガンシップグレー。グレーでもなくライトグレーでもないガンシップグレーは、その鈍い色合いが涼しさを醸し出している。



GOLD WOOD YELLOW

'65 シボレー・コルベットで採用されたカラーを再現。調色を何度も繰り返し、見事な出来栄となった。この帽体でのゴールドウッドイエローの雰囲気は抜群。



DIN MARKET inc. [www.dinmarket.jp](http://www.dinmarket.jp)

埼玉県八潮市 129-4 TEL/048-954-8518 FAX/048-954-8519  
OPEN/10:00 ~ 18:30 CLOSE/土、日、祝

※SHOW ROOM は完全予約制です。前日までにご予約をお願いいたします。



DIN MARKET で販売しているヘルメットはすべて、製品安全協会の SG(Safe Goods) マークから認証されており、SGマークは、国が定めた安全基準、及び製品安全協会が定めた認定基準に適合しているヘルメットであることを示しています。安全なヘルメットの着用をお勧めいたします。SGマークの詳細につきましては製品安全協会にお問い合わせください。  
製品安全協会 03-5808-3300 [www.sg-mark.org](http://www.sg-mark.org)



ヘルメットブランド ライコランド各店と南海部品6店舗の専売モデル



ヘルメットブランド 帽体は極限のスモールタイプで、目深に被れる仕様



ヘルメットブランド 日本製に拘り、ハンドステッチモデルなどを展開



ヘルメットブランド フレック塗料のフレームデザインが特徴的



グローブブランド 着心地に徹底的に拘った、日本製のレザーグローブ

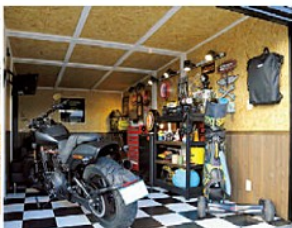


フルフェイスヘルメット GT-750、サドルバッグなどを展開



# DAINAO GARAGE FACTORY

走るだけじゃない、  
ハーレーの楽しみが  
ここにある！



DGF代表  
大石博和さん

## ただの物置ではない、 趣味を楽しむ空間を作る

DGFでは、ガレージを単なるバイク倉庫としてではなく、趣味を楽しむ空間と考へて、バイク乗りの方が満足するガレージを日々製作しています。設置する場所に合わせた形やサイズ、細かい部分の仕様まで、様々なカスタマイズが可能ですので、まずはお気軽にご相談ください。



## ダイナオガレージファクトリー

静岡県磐田市福田3101-1

TEL:0538-55-6655 FAX:0538-55-6656

営業時間:10~18時 定休日:火曜/第2・第4水曜

<http://dainao.net>





cover photo/D.Katsumura 勝村大輔

**Special\_1:****012****098****好きなモノだけを詰め込んだ贅沢空間**

# ハーレー乗りの 秘密基地。

**Topics\_1:****056****稲妻フェスティバル  
REPORT****Topics\_2:**

珠玉のカスタムが目白押し!

**116****YOKOHAMA  
HOTROD CUSTOM  
SHOW 2024****Topics\_3:**

- 002** CLUB HARLEY GOODS
- 005** トリプルコラボガレージ発売中!!
- 062** FREE RIDE 真冬のライディングウェア
- 065** Bikers CINEMA PARADISE
- 066** 鉄馬乗りの銘品図鑑
- 068** いまが買いドキ!? ちょい旧ハーレー調査隊
- 070** ダイス・ナガオ氏がファンの集いに参戦!!
- 074** アーレンネス レッドシヨベル再生記
- 076** 旅とハーレーと日々の風景  
LIFE at THE BLACKTOP
- 078** H-D偏愛主義
- 082** Moto Da HEAD~ライカとハーレー
- 086** CHインフォメーション
- 088** HARLEY-DAVIDSON 2024  
ALL LINE UP
- 097** G-SHOCKプレゼント
- 120** お悩み解決! TRIJYAのモノ造り道場
- 122** セレブとクラウドのコラボが実現!
- 126** 驚愕の画期的パーツ、  
“サイバークラッチ”を開発中!!



# ハーレー乗りの秘密基地。

誰もが夢見たことがあるだろう自分だけの秘密基地。好きなものに囲まれて、愛車を眺めたりイジったり……。そんな特別な時間と空間を手に入れたハーレー乗りたちのおききのガレージにお邪魔。ガレージライフの先輩たちにかっこいい理想の秘密基地を作るためのアイデアを伝授してもらうことにしよう！



## ガレージを繋げることで理想の空間が完成！

ガレージを増築し、  
プライベート空間を作る

東京都八王子市にある「アイアンハートザワークスストーリー」。駐車場に入って、まず目に飛び込んでくるのが代表・原木さんの愛車を収めたガレージで、ショップのアイコン的存在となっている。

このガレージは10年前に設置したもので、「ダイナオガレージファクトリー」が自社工場で作成したガレージを3分割して配送。現在の位置で組み立てたもの。そこに「カントリーベース」が床にMPCという薄塗りのコンクリート、両サイドの壁を造形モルタルでブロック調にアレンジした。さらに扉や什器などインテリアは「ガレージワークス」が担当し、アイアンハートの世界感を反映させている。このガレージが完成するまでのようすは本誌で紹介したので、古くから読んでくださっているなら覚えていられることだろう。そうして、原木さんの愛車を保管する場所であると同時に、お客さんとの会話を楽しんだり、ときには撮影などでも使用していた。もちろん、バイクを保管するには申し分ない環境だが、バイクの台数が増え、それも幅のあるツアラ1系がメインになってくると、どうしても手狭に感じてしまう。そこで原木さんは2年ほど前から増築を考えるようになったという。



# GARAGE



Shinichi Haraki  
**原木真一さん**  
東京都

text/T.Numao 沼尾哲平  
photo/M.Morichika 森近真  
取材協力/アイアンハート TEL042-696-3470  
<http://www.ironheart.jp/>

## 既存のガレージにもう一棟をジョイントさせる

**[Point]**

10年前に設置したダイナオガレージファクトリー製のガレージ。4.5m×5mの大サイズでありながら、複数ハーレーを入れると手狭になってしまい、ガレージ内でゆったり過ごすことが困難に。そのため2年ほど前から増築を考えていた原木さん。同サイズのガレージを既存のものの横に設置して、真ん中の部分を切り抜き、左右のガレージを通り抜けできるようにした。



これまでガレージ横にあったイベントの備品などを収めたコンテナを移動し、空いたスペースにはダイナオにオーダーした新設ガレージを設置。既存の部屋の壁を切り抜いて、新設のガレージとの間にジョイントを介して繋げ、ふたつのガレージを行き来できるよう





## ブロック塀の間に作ったガレージをイメージ

既存のガレージの両サイドには、設置した際に施工したデザインコンクリート（造形モルタル）によるブロックの造形が施されている。ブロック塀に挟まれた場所に屋根を付けてガレージにしたというイメージで製作した

ガレージはサドルバッグが付いたハーレーが3台入っても余裕のスペースが確保されているが、保管と作業がメインになってしまうため、今回増築を実施



## ガレージの間はトビラで仕切りを

**[Point]**

新旧ふたつのガレージを繋ぐ通路にはすりガラスを採用した両開きのトビラを設置。ここを開けておけば、既存のガレージと新たに設置したガレージの間の仕切りになる。外トビラがミラーガラスとなっているのと合わせて、ガレージ内が見えなくなり、原木さんのプライベートな空間となる。



向かって右のガレージはバイクに関係するものを置いている。バイクのメンテナンスをするための工具やヘルメットなどのライディングギアもこちらに保管している

## 2019 FLHX "FLRT"



ケンズファクトリーが製作。FLHXのカウルをFXRTカウルにコンバートし、各種パフォーマンスパーツでまとめた

## 2023 FLHFB Electra Glide Highway King



カスタムはシート、エアクリーナーにとどめ、純正スタイルを残したハイウェイキング。長距離をゆったり走るのに最適

## 2021 RA1250S PAN AMERICA SPECIAL



ベルズパフォーマンスマフラーを取り付けて、FP-4でチューニング。長距離の高速走行を快適に走れる仕様に

ガレージドアは開閉しやすい跳ね上げ式シャッターを採用。外面にはカッティングシートでロゴを描いている。Tシャツなどで採用しているアイアンハートを代表するバイクロゴだ



「僕がリラックスして考えごとをしたり、バイクを眺めながらコーヒを飲んだりする場所。だから社員にも使わせません。あくまで僕だけの空間だから。極端にいう

にしたのだ。」「まずガレージを「繋げる」ってことが大前提でした。大きなひとつのガレージに「拡大」するのはなく、バイクのガレージスペースと、プライベートスペースを明確に分けたかったんです」

既存のガレージはお店が開いているときは常に扉が開いているイメージ

だったが、一方のガレージは扉が閉まっていることが多い。これは

原木さんが「隠居部屋」と表現する

ように誰にも邪魔されない自分

だけの時間を過ごす場所だからだ。

「僕がリラックスして考えごとを

したり、バイクを眺めながらコー

ヒを飲んだりする場所。だから

社員にも使わせません。あくまで

僕だけの空間だから。極端にいう





こちらのスペースはあくまで原木さんのプライベートスペース。ここに仕事を持ち込むことはないが、仕事につながることを考えるための場所となっている



向かって右側はバイクやギアの保管やメンテナンス用のスペース、左側はゆったりした時間を過ごすためのリビング的な役割を果たしている。扉を開放しておけば、バイクを眺めることも可能

この棚も別店舗から持ってきたもの。ほかの什器やドアなど同様に「ガレージワークス」が製作。棚の上のバックやレザープレートは還暦の際にプレゼントされたものだ



別の直営店で使用していた棚を移設。もらった記念品やバイク関係の書籍、「いつも見ておいてほしい」という思いから亡くなった娘さんの写真などを置いている



### バイクを眺めるのにちょうどいい距離感

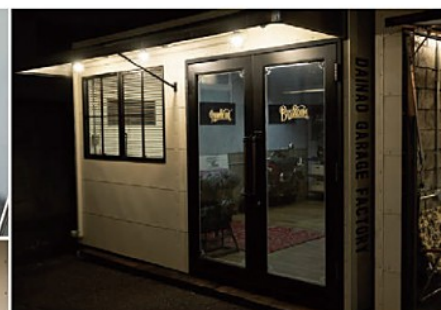
もともと3分割されていたガレージの真ん中の部分を切り抜いているため、ジョイント部分は新規のガレージからバイクを眺めるのに十分な広さが確保されている



壁にはホッピングシャワーのテツさんがペイントしたブランドロゴ。手前のバーカウンターは以前アイアンハートキャンプに合わせて製作したものをそのまま使っている

右のソファはバイクを眺めるためのもの、左のソファは集中して考え事をするためのものと、それぞれ用途が異なる。どちらも来客用ではなく自分用に設置した

## 仕事は持ち込まない プライベートな空間



扉や窓枠、軒などはすべて鉄で作ることによってアイアンハートらしい無骨な印象になっている。扉はミラーガラス、窓にはブラインドが備わっているので、閉めてしまえば外から中のように見えることはできない

と、ここが会社から10キロ離れたところに建っているプライベートガレージみたいなもので、この中に入っているときはお店から離れてひとりしていると察してもらえたらと思っています（笑）。  
ひとりになる時間って大事で、ここには仕事を持ち込まないようになっているけれど、結局仕事につながるアイデアなどを考えていますね。バイクやガレージに飾ってあるものを眺めていると結構楽しいアイデアが浮かんでくるんです。ガレージを増築したことで、結果、思い描いていた理想のガレージが完成したかなって思います」







ガレージと隣の部屋はガラス戸を開けることで行き来できる構造。ガレージには外を経由せずに直接アクセス可能となっている



ガレージ入り口近くのデットスペースに作業テーブルを設置。テーブル下はコンプレッサーなどを収納するスペースとして活用している

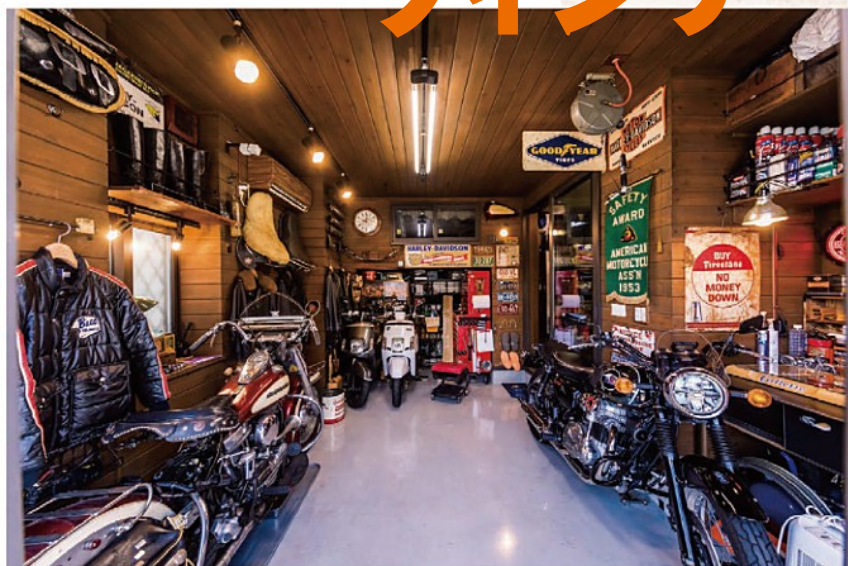
Kentarō Hara  
**原健太郎さん**

東京都

text&photo/D Katsumura 勝村大輔



# ヴィンテージを愉しむ 至高の空間



## 当初からバイク用に設計したガレージ

愛車の54年FLと奥様のメグロなどが収まるガレージサイズは幅3m×奥行5mほど。ちなみに奥のパーツ庫の上には、昼寝に最適な場所という中二階を設置している



ガレージ奥の中二階スペースには隣の部屋からアクセスできる仕組み。内部はワードローブを兼ねており、趣味のウェアがズラリと並ぶ



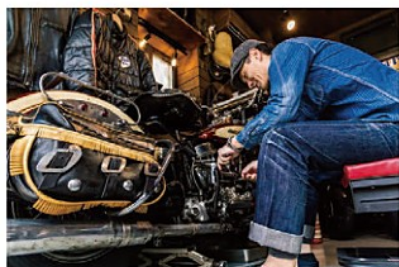
ガレージ奥には徐々に増えていったという工具を収納するチェストや細かなボルトやステーなどの純正パーツをストックしている棚が並んでいる





## ガレージ内装も愛車の雰囲気にもマッチ

ウッド張りの壁面には古い看板やパーツをディスプレイすることで、愛車の雰囲気とマッチ。エアコンやコンセント、配線カバーなどにはウッド調のシートを張ることで、目立たないように工夫されている



これまでナックルヘッドなどの旧車を何台も乗り継いできたこともあり、原さんはひと通りの整備ができるスキルをもっている。ヴィンテージハーレー全般のパーツに造詣が深い



## 大量の革ジャンやブーツが所狭しと収納される

ガレージ壁面や隣の部屋には原さんの革ジャンやブーツなどがディスプレイされている。特にガレージ隣の部屋にはヘルメットやグローブ、ゴーグルなどのバイクギアを整頓する収納や、ブーツの高さに合わせて棚板が稼働するブーツ専用の棚を設置



## 1954 FL Hydra Gride

22年ほど前に入手したという54年式のハイドラグライドは、ヴィンテージハーレーの老舗「船場」で購入。非常にオリジナル度の高い一台



**愛車を安全に保管するためのビルトインガレージ**

都内に一軒家を持つ原さんは、いまから14年前、自宅を建てる際にビルトインガレージを設置。中には22年前に大阪の老舗「船場」で購入したという54年の「FLハイドラグライド」をはじめ、数台のバイクが収まっている。

ガレージは壁面を板張りとし、フロアはガレージフロア用の塗料を施工。ちなみに出入り口は曇りガラスの引き戸となっているが、その外側にシャッターも設置している。これによって、防犯や断熱にも効果があるだけでなく、作業時にはシャッターのみ開けることで、外光を採り入れることも可能となっている。

## ガレージ隣の部屋は、愛車を眺められる特等席

**[Point]**

隣の部屋との間にはガラス引き戸を設置してアクセスを可能にしたほか、ガレージを眺められるようにした。この部屋は大好きなウェア類をストックする趣味のスペースであるだけでなく、リモートワークをすることも多いそうで、ガラス戸のすぐ脇に配置した仕事用デスクは、作業中でも愛車を眺めることができる特等席となっている。



壁面にはバイク用のパーツだけでなく、原さんのもうひとつの趣味だという革ジャンやブーツなどをディスプレイ。またガレージ奥には、純正部品などが大量にストックされており、各種作業を行うための工具も豊富にそろっている。

ガレージの隣は原さんの趣味の部屋兼リモートワーク部屋。この部屋との間は大きなガラス戸が入っており、直接アクセスできるだけでなく、仕事をしながら愛車を眺めることができる最高の特等席でもあるのだ。



【Point】 広大なガレージでも無駄に物を置かない



引っ越してきたばかりの新居だが、あえて物を置かないのが関根さんのこだわり。バイクのほかにクルマ1台とテレビ、ソファ、テーブルくらいでミニマルな空間となっていた。奥に写っている書斎スペースを設けることで、場所を占拠しがちな本棚などをすべて集約。ガレージはなるべくシンプルに。

Jun Sekine  
関根淳さん  
埼玉県

text/S.Sato 佐藤周平  
photo/M.Watanabe 渡辺昌彦  
取材協力／カリフォルニアモーターズ  
TEL048-954-9495  
<https://california-motors.jp/>

ミッドセンチュリー  
の雰囲気が漂う  
モダンなガレージ





## 1979 FLH



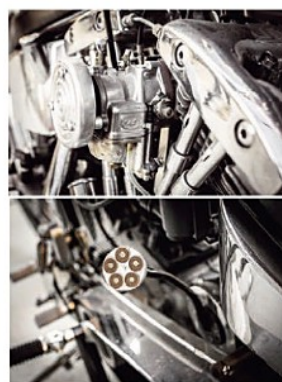
純正では大振りなショベルヘッドのFLHをリジッドフレームに載せ替え、コンパクトなボバースタイルに。ストレスなく運転できるように、フロントはディスクブレーキに



レストラン、ブックストア、そしてアメリカ車を中心とした販売を展開する三郷の「カリフォルニアモーターズ」。オーナーの関根さんは、アメリカでバンド活動をするなど、カリフォルニアのカルチャーに強く影響された人物。今年完成したばかりだという新居は、「カリフォルニア工務店」とともに、建材から間取りまで二人三脚で作上げた。1階には自身の書斎スペースとともに、クルマを4台は余裕で収納できる広大なガレージがあり、ココスヤシの埋まったヤードスペースも入れれば、合計で10台は停められるアメリカカン

「旧きよきアメリカではなく、いきよきアメリカでなく、いまの西海岸にある住宅を目指しました。そのために現地のオープンハウスにも出向き、大理石とウッドのバランスや、塗装などのいい意味の粗さをうまく再現しつつ、地震の多い日本の土壌を考慮して、木造でも最上の耐震等級を取得しているんです。ガレージはクルマも入れたかったので、1階スペースの半分以上を当てています」

## いまのカリフォルニアにある モダンな邸宅をイメージ



かなり大きなガレージなので、クルマ4台が余裕で駐車できるほど。取材当日は愛車のボルシェのみで、ハーレーと並べたワンカットを撮影。奥にはサーフ道具を収納

オリジナルパーツに固執せず、始動性や快適性を求めて、S&Sなどのパーツでバランスを取っている。フロントブレーキはディスクにすることで安全性をアップさせた

## リアルな西海岸の 邸宅を日本で再現

日本でアメリカンハウスを建てるとなると、どうしても旧きよきアメリカに引っ張られてしまうケースが多いが、関根さんはいまのカリフォルニアを表現。西海岸の定番であるミッドセンチュリーモダンのテイストを採り入れつつも、現代的な仕上がり。100坪を余裕で超える敷地には旧車からテスラまで並ぶ







奥の壁面には片野さんのもうひとつの趣味であるヴィンテージキャンプグッズを収納。見せる収納棚は古い木箱を組み合わせてDIYしたもの



ガレージにはハンドツールのほか、コンプレッサーや溶接機、ボール盤など、ひと通りの工作機械を完備。たいていの作業をガレージ内で行うことができる



### ガレージ内のくつろぎスペース

バイクスペースの反対側はヴィンテージキャンプチェアを置き、ガレージ内で休憩する際に使用。撤去することでクルマをガレージ内に入れることができる



ガレージ一角にはDIYで作業台を設置し、その前には壁面を使って工具をまるでショップのように収納。車体から外せるパーツはここで作業することが多いそうだ



# 本格作業も可能な プライベートルーム工房



ガレージ前のスペースは大きなカーポートのある駐車場になっており、ここに片野さんの愛車である「タイプ2」と奥様の「タイプ3」、2台の空冷フォルクスワーゲンが収まる

## 1998 XL1200S

99年に1年落ちで購入したというスポーツスターは、スポーティな方向性でカスタム。マフラーは左右2本出しのレース用を装着。現在も徐々にカスタムが進行中だ



もともと作業ができるガレージを目指していたという片野さんにとって、ゆったりとバイクの整備ができるこの環境はまさに望んでいた通りの空間というわけだ



コンクリート基礎の上に建てた鉄骨造の建物は業者に依頼し、内壁の板張りや棚、収納などは片野さん自身がDIYで仕上げています。正面から見て左側はDIYで作ったという作業台や工具チェストなどを設置。自動車、バイク共にかなり本格的な整備も可能だ。また奥の壁には片野さんの別の趣味であるアンティークのキャンプグッズを収納。またバイクコーナーの反対側には空冷ワーゲンのエンジンやパーツもディスプレイ。広いガレージだが、全体的に華やかな落ち着いた雰囲気だ。

普段はガレージ前のカーポート部分に停めてますが、メインテナンスをする際には中に入れて作業できるようにしています」

愛知県在住の片野さんが自宅脇に愛車を停めて作業を行うことができる広いガレージを設置したのは、いまから20年ほど前のこと。自宅を建てる際、土地選びのときからこのガレージを設置するスペースを考慮していたそうで、サイズは6m×6mと広い。クルマ2台を入れても十分なスペースだが、現在はバイク2台を入れ、残りのスペースはアンティークのアウトドアテーブルを置いてくつろぐスペースとして活用している。

クルマも収容可能な  
鉄骨造の広いガレージ





## [Point]

### 中央に柱のない広い開口部で 車両の出し入れも快適

ガレージの開口部には、幅いっぱいに2枚のシャッターを設置。シャッターを開けた際には中央の柱は外れるため、すべて開けるとガレージの前面は完全にオープンになる。中央に柱が残らないため、クルマやバイクの出し入れの際にも便利。またガレージの天井も高くシャッターも天井まで開くため、かなり開放感がある。



ガレージ内で使用されている暖房や扇風機、ツールなども、片野さんの趣味であるアンティークをチョイスすることで、ガレージ全体の雰囲気とマッチさせている

個人のガレージとは思えない巨大なツールチェストを完備。これまで長年自身で整備をしてきただけあって、ハンドツールもかなり充実している。愛用のツールワゴンもヴィンテージ



### バイク2台を余裕で格納

ガレージの左半分だけでもかなり広く、バイク2台を余裕で停めることができる。作業環境を中心に考えてガレージをレイアウトしたそうで、作業スペースはまるでプロショップ並みに快適だ



天井の波板は半分を透明タイプにすることで、日中は外光を効率よく採り込むことができる作り。これによってガレージ内はかなり明るく、作業も快適







# 仲間と集える場所を目指した 居心地のいい空間



**ガレージ内をカーテンで仕切り、  
奥にくつろげるスペースが**

クルマを4台ほど止められそうな広いガレージの奥には、ソファなどを置いたリビングのスペースがありビニールカーテンで仕切られている

20年来のハーレーフリークで数年おきに新車を買って楽しんでいますがカスタムの魅力にも目覚め、現在はCVOロードグライドと2台のチョッパーを所有



Hiroyuki Tsukahara

**塚原弘行さん**

兵庫県

text&photo/T.Masui 増井貴光

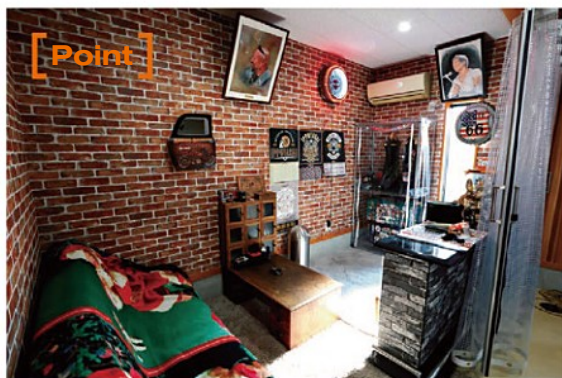
息子さんが家を建てることを機にガレージを新築することにした塚原さん。「大きな場所仲間を呼んで酒を飲める場所にしたい」と考え、新たにガレージを作ることにした。もともと家があった場所を使い、トライクを含む5台のハーレーを停めたうえに仲間のバイクも余裕で停められる場所として新築した。

ハーレーに乗り始めたのは20年ほど前。新車を数年おきに買い替えていた塚原さんだが、カスタムショーなどを見るうちに自分でもチョッパーを作りたくなり、神戸の「モトコム」の手伝いなどをしてる友人と「バッドボーイ」をベースにカスタム。このチョッパーは、「ニューオーダークォーターチョッパーショー」や「クルブルレーカー」にも出展した。またオークションで見つけた「ローライダー」も購入、こちらもスプリングガーフォークに交換するなどしてカスタムを楽しんでいる。現在は、それに加えて「CVOロードグライド」も所有。これら3台を納めるガレージとしては、かなり贅沢な空間だ。

ガレージ奥には、リビング的なスペースもあり寛ぐこともできる。現在は、事情があつてあまり利用していないが将来的には、また仲間と集まれる空間になるだろう。

**チョッパーとロードグライド、  
3台が収まる贅沢な空間**





## 大人の隠れ家のような 雰囲気を醸し出す レンガ調の壁

ビニールカーテンで仕切られたリビングスペースは、ソファとヴィンテージのローテーブルで落ち着いた居心地のいいスペースになっている。エアコンがあるので季節を問わず過ごせる。雑誌や書籍、ヘルメットやバイク用のウェアなどもこのスペースに置いてある。



## 何台も駐車可能な広いスペース

居住空間のないガレージだけのスペースとは思えないほどの広さを確保。現在の自宅から離れているためにクルマを置くことも多い。外側には大きめのクルマを余裕で2台以上駐車できるスペースがあり屋根もあるので安心



## 仲間のバイクも シャッター内に格納できる

ガレージ内もクルマを余裕で停められる広さを確保し、仲間が集まって複数台のハーレーを止め、さらにパーティまでできそうな贅沢な空間に。リビングスペースはレンガ調だがガレージスペースはウッド調の壁面になっている。工具などはこちら側に置いてある



## 1996 FXSTSB

エボのバッドボーイをベースに20年ほど前にご自身と友人で製作したチョッパー。エンジンのチューニング、キャブ、マフラーなどは「サンダンス」に依頼



工具は「KTC」の2段キャビネットを置いているほどで、かなり充実している。以前は、チョッパーなどのカスタムやある程度の整備も自分で行っていたが、最近は工具を使う機会が減ってしまったようだ



## 1977 FXS

オークションで購入したショベルFXSベースのチョッパー。スプリングフォークに換装されている。こちらもサンダンスのマフラーなどを採用している



ビニールカーテンで仕切られたリビングスペースにはエアコンを完備。ハーレーのかけ時計や肖像画も飾られている。ライディングウェアや小物類などはラック内にありビニールのカバーをかけて保管。ヘルメットも棚に収納されている



## 2023 FLTRKSE CVO Road Glide Limited

塚原さんのメインバイク。「トライジャ」が取り扱うランディングギア（電動補助輪）で重い車体の取り回しも楽々。ハンドルやマフラーなど、ライトカスタムが施されている



塚原さんの還暦祝いに、ご自身が代表を務める「IPPUTASAI」でパーティが催され、仲間からプレゼントされたという肖像画。カスタムショーにも出展したチョッパーの絵はスタージスをバックに描かれている



# ビルトインガレージで 愛車と向き合う、 旧車乗りの日常

Hiroyuki Nakai  
**中井浩之さん**  
新潟県

text&photo / Y.Kinpara 金原悠太  
取材協力 / ウェスタンリバー  
TEL025-526-2415 <https://www.w-river.com/>





## チヨッパー&レーサーが並ぶ プライベーターの作業場

雪国には「プライベーター」が数多く存在する。都会に比べ車庫をもつ人が多いことに加え、路面が雪に覆われる時期は走れない日が続くため、作業期間に充てられることがガレージ文化が発達する要因ではないだろうか。それは推測に過ぎないが、新潟や富山、青森は温暖なエリア以上にプライベーターの活躍が目立つのは事実だ。

ここに紹介する「ウエストライド」代表の中井さんも例に漏れず、日常的な整備や修理、カスタムなど、さまざまな目的で愛車との時間をこのガレージで過ごしている。ウエストライドのブログが生まれる背景は、創業時から変わらぬ中井さんのバイクライフが根幹にあるわけだが、極寒の環境下をヴィンテージバイクでタフに走るには人間とギアの性能だけでは不可能、車体のコンディションを維持する必要がある。車体やパーツの保管の役割はもちろん、それ以上に作業場として機能する場所であることがこのガレージの特徴だ。写真の通り、アメリカンなテイストが漂う空間だが、装飾目的の雑貨や家具で飾り立てられているわけではなく、壁を埋め尽くすのは工具やパーツ、ギアなど実用的なモノばかり。ハーレーを愛するプライベーターに必要なモノが最大

のインテリアとなっているのだ。「カスタムはショップや仲間頼む」こともあるが、走るために必要な整備は基本的に自分で行うため、ガレージは不可欠な場所。ビルトインガレージは思い立ったらすぐに作業できるのがメリット。トラブルがあってもすぐ直してすぐ乗りたいから、自分にはこの形が合っています。愛車の状態を知りたいにも日常的にバイクと向き合う時間が必要なんです」

一人で黙々と作業するときもあれば、仲間と集い一緒にバイクをいじったり、語り合う遊び場になることもしばしば。昨年12月に開催された「HCS」では、仲間の協力を得て自作したパンヘッドチヨッパーを披露したばかりだ。また、各地の草レースの前には毎度レースに合わせて車両をチューンするのが恒例となっている。日常的に走る車両に加え、イベントやレースに現れる中井さんのバイクには必ずこのガレージでの作業時間が紐付いているのだ。バイクいじりが本業ではないプライベーターゆえ、トライ&エラーになることもあるし、作業時間を十分に取れないこともある。走ることが本来の目的だが、そこまでの過程もガレージで真剣に楽しむプライベーターの日常は実に豊かじゃないか。一年中タフに走るために愛車と向き合う中井さんのバイクライフが投影されたリアルな空間だ。





## “THE BLOOD LINE”

約30年前から中井さんが所有し、何度も姿を変え続けるバンヘッド。12月のHCS2024に向けて、自らカスタムビルドスタイルを一新したばかりだ。もともとドラッグレース仕様だった106ciのビッグモーターをストリートに変更し、ストレートレッグのモールドイングフレームにロングボトムのKEN CHOPPERS製フォークをセット。前後PMディスクブレーキやサンダーヘッダー、ステアリングダンパーなど、トラディショナルに捉われることなく走りを意識したスタイリングに仕上げられている



アキュリエイト・エンジニアリングが手がけた106ciバンヘッドモーター。カムカバーのみ52年を採用するのは中井さんのこだわりのディテール。キャップとコックをリロケートしたスポーツスタータンク。外装のペイントは「ペイントショップ・イザナイ」の仕事



## 1939 WLDD

2022年の「千里浜サンドフラッツ」で45クラスのチャンピオンに輝いたWLDD。フロントエンドは2インチオーバーのスプリングをセット。心臓部は排気量750ccのまま、WRの腰上を使用してビッグバルブ化し、軽量フライホイールやコンロッドの肉抜きなど高回転仕様のトラディショナルなレーシングチューンが施される



手前は現在カスタム進行中のバンヘッド・チョッパープロジェクト。奥は次回以降のビーチレースの“45クラス”に備えて、エンジンをアップデート中のWR。今後ビーチで大暴れる姿に期待したい。中井さんのガレージには常にレーサーとチョッパーが共存する





## 【Point】 パーツ&ギアが最大のインテリア

アメリカな雰囲気が漂う中井さんのガレージだが、その実“それっぽい”雰囲気を出すための装飾インテリアはほぼ皆無で、実際に中井さんが愛車に使っていた、または出番を待つパーツやギアが並ぶ。チョッパー＆レースフリークのセンスが滲むリアルな空気感を生み出している。パーツやギアたちは中井さんの長年のハーレーライフの中で収集したもの。リアルなガレージは一夜にして成らず。

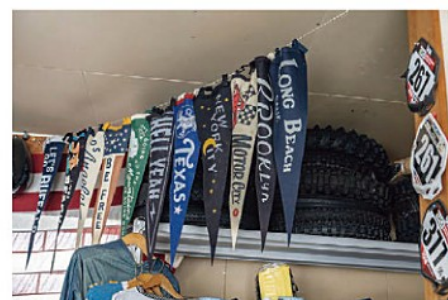


カスタムビルドにおける溶接やペイントなどは、仲間内の手を借りるが、日常的な整備・修理は基本的に自分で行うのが中井さんのスタイル。ヴィンテージハーレーを日常の足として長年乗り続けるために身につけた技術だ



天井のパイプに吊るされた愛用ヘルメットは70sフレーバーが漂うラインアップ。クリアシェルの内側からカスタムペイントを施した華やかな外観は70sならではの

靴棚にはバイクライドを想定したブーツが並ぶ。ウエストライドのオリジナルやアメリカ製のワークブーツ、ローパーブーツなど、履き込んだブーツの無骨な佇まいがクール



唯一の装飾といえるクラシカルなウールフェルトのペナントは、H-D社やTHE RACE OF GENTLEMENのペナントも手がける「OXFORD PENNANT」の作品

普段からバイクに向き合う環境を作るために自宅と一体で立てたビルトインガレージ。冬季は乗れない日が続く、雪国の旧車乗りには、ガレージは欠かせない空間なのだ

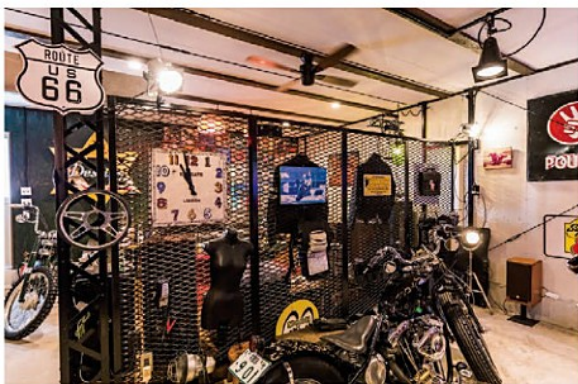


計5台のバンヘッドを所有する“バンヘッドマン”のガレージには、チョッパーやレーサー、フルドレスとさまざまなスタイルが並ぶ。一部ほかの倉庫に格納されているが、自宅のビルトインガレージは、一軍または作業中車両の特等席だ





# 休日をゆっくり過ごす 贅沢な趣味空間



バイクスペースと小上がりの間に設置したフェンスを使ったパーティションは、ホームセンターで材料を調達しDIYで製作した力作。フェンスにウェアなどをかけることでディスプレイにもなっている

Norihiko Kumegawa

桑川憲彦さん

栃木県

text&photo/D.Katsumura 勝村大輔

小上がりスペースはこちらもDIYで作成したウッドフロア敷きとなっており、ここにソファやテーブルを設置。大好きなオーディオを楽しむ空間となっている。壁面にはレコード盤を収納できる棚を設置している



バイクスペースの壁面には棚を設置し、ヘルメットをディスプレイ。コンプレッサーや工具、オイルディスペンサーなど整備に必要なものはひと通りそろっているが、あまり油臭さを出さないのが桑川流

オーディオラックやテーブル、チェアなどはガレージの雰囲気に合わせたヴィンテージをチョイス。ガレージ内はかなり落ち着いた雰囲気となっている





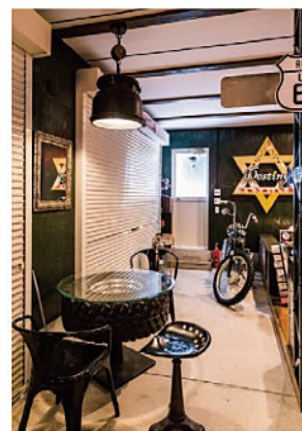
## 2023 FLHFB Electra Glide Highway King

若いころからバイクに乗っていたという糸川さんが、ハーレーは50歳になってから新車で購入したというこのハイウェイキングが初めてだという。長距離ツーリングの際はこちらが活躍する



## 2000 S&S Shovel Chopper

ハイウェイキングのすぐ後に増車したというS&Sエンジン搭載のリジッドチョッパー。スタイルが気に入って購入。こちらは長距離は辛いそうだが、しっかりと走るそう



ガレージ建物の自宅側面にドビラを設置し、シャッターを開けなくてもガレージ内に入り出できるよう工夫されている



ソファの手前にはアンティークのガラスステープルを設置。テーブルの脚を兼ねたブロンズ製の人魚は、ウロコ部分が光る仕組み！



Point

### ガレージはビニールハウス用の軽量鉄骨を流用して建築

ガレージの建物をもともとビニールハウス用に使われていた鉄骨を譲り受け、それを流用して建てた。鉄骨のピッチを倍にすることで、建物の長さは半分になったが、しっかりと強度は確保されている。ひとつの区画は幅3mほどのシャッターが備わる幅3.5mで、奥行きは6mほど。建物はぜんぶでシャッター5枚分の長さがあり、そのうち3枚分をクルマの保管に使用。残りの2枚分を仕切ってガレージとしている。つまりバイクスペース、音楽スペース共に幅は3.5mほど確保されていることになる。

Point

栃木県に住む糸川さんは、自宅を建てる際に当初からガレージを建てることを計画しており、そのために自宅前に敷地を確保していた。そこにビニールハウスの使われていた鉄骨を譲り受け、これを流用しプロに屋根と壁を作ってもらって建物を完成させた。

建物はシャッターが5枚もある巨大なもので、うち3枚分をクルマ用のガレージとして使用し、残りの2枚分を今回紹介するバイクと自身の音楽を楽しむガレージとして活用している。

大好きな音楽を聴きながら愛車を眺める至福のひととき

「広い空間の半分をフロアリングの小上がりにして、音楽を楽しんだり、仲間を呼んだりするスペースとして使ってます。バイクを置いているスペースと緩やかにセパレートしたくて、ホームセンターで見つけたフェンスを使って仕切りました。柱やフェンスはブラックにペイントしてウォルターヒル監督の『ウォーリアーズ』や『ストリートオブファイヤー』などの映画のワンシーンをイメージしてDIYで作成しています」

間仕切りをフェンスとすることで、音楽を楽しみながらフェンスの間から愛車を眺めることができる仕組みだ。



# 休日になると仲間が集う 展示場のような空間



Tooru Kitazawa  
**北澤徹さん**  
茨城県

text&photo/D.Katsumura 勝村大輔

## 所在は仲間しか知らない 秘密の巨大ガレージ

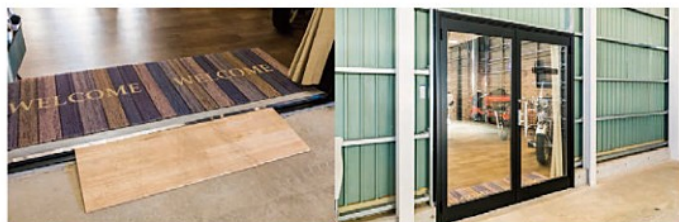
茨城県の北澤さんは、ずっと離れていたというバイクにカムバックし、現在は4台のハーレーを所有している。このハーレーを快適に、そして安全に保管することができたスペースとして、新たにガレージを製作することとなった。これまでは北澤さんの仕事場の一角にバイクを保管していたそうだが、仕事場の巨大な倉庫の一角を改装して、昨年6月に現在のガレージが完成した。

ガレージは外側に出入り口をもたず、倉庫の内側からのみアクセス可能。さらに出入口や窓にはカーテンを設置し、基本的には外からはここがガレージであることはもちろん、ハーレーがあることすらわからないようになっている。ガレージは6m×10mとかなり広く、ホコリを嫌って土足禁止となっているため、ガレージというよりは普通の部屋のように。ここにハーレー4台がまるで展示されているかのように収められている。ガレージ内には仲間が集まった際にくつろぐことができるテーブル&チェアを設置。仲間内のみが知る秘密基地となっているのだ。



## ガレージ内はまるでディーラーのショールーム

まるでディーラーに展示してあるかのように広い空間に並ぶ愛車たち。展示スペースは、スポットを埋め込んだブラックの天井とし、壁面はレンガ調の壁紙をチョイス



## 外からは見えない秘密の入り口

**[Point]**

ガレージドアはあえて外側に設けず、倉庫として使っている建物の内側に一般的な店舗などに使用する両開きのガラスドアを設置。閉めることでホコリをシャットアウトできる反面、中と外に若干の段差が生じてしまうが、出し入れの際はDIYで製作したスロープを敷くことで解消している。





### 1996 FLSTN Heritage Softail Nostalgia

H-D90周年を記念して93年に登場したノスタルジアは、いまでも根強いファンをもつ。北澤さんもこのスタイルにほれ込んで購入。4台の中では最も長く所有している一台



### 1997 FLSTS Heritage Springer

数年前に状態のいい個体が出てきたため入手したというヘリテージスプリングー。基本的にオリジナル状態を維持しており、エンジンの調子もいいそうだ



### 2021 FLH Electra Glide Revival

登場時にそのスタイルが気に入って購入したリバイバル。69年のエレクトラグライドをセルフオマージュした世界1500台限定の希少モデルだ



### 2022 FLTRKSE CVO Road Glide

現在メインマシンとして使用しているのがこの22年式のCVOロードグライドだ。エンジンもパワフルで長距離のツーリングはこれが一番快適なんだとか



### 展示スペース以外は 壁と天井をホワイトで統一

バイクを並べているスペースの反対側には、テーブル&チェアなどを設置し、くつろぐスペースとなっている。明るいホワイトの壁紙をチョイスし、天井もホワイトにすることで明るい雰囲気。簡単な整備やメンテナンスを行う際も照明の明るいこちら側で行うことが多いそうだ

愛車の基本的なメンテナンスや作業はディーラーに任せているという北澤さんだが、実は簡単な作業ならこなしてしまうスキルをもつ



テーブル脇の作業スペースには、巨大なツールチェストや作業カート、キャスター付きの小型工具ボックスなどがそろそろ。ここでひと通りの作業を行うことができる環境が整っている



作業カートと工具ボックスは共にキャスター付きで、転がして移動できるようになっている。またカートの足には、スポンジを巻き、愛車が傷つかないように工夫されている



大きなモニターを平面に埋め込み、仲間に行ったツーリングの様やアメリカのディーラーの広告などを流すことで、まるでショールームにいるかのような雰囲気



北澤さんはここで音楽を楽しむことができるように、つい最近レコードプレーヤーやアンプ、スピーカーを設置したそう



### 休日は仲間が集まり ガレージは賑やかに

ガレージにはテーブル&チェアやH-Dロゴの入ったアディロンダックチェアなどを設置。週末になるとハーレー仲間が集い、常に賑やかな雰囲気になるそうだ。ちなみにこのテーブルは天然木の一枚板を使用した北澤さんのお気に入りアイテム

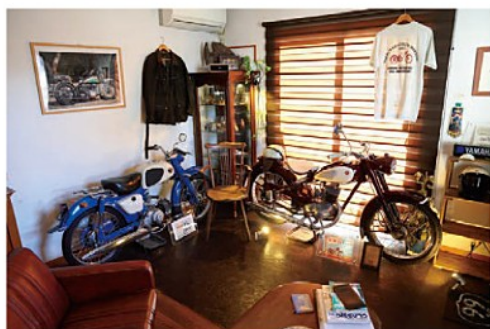


室内には簡単なシンクとカウンターを設置し、コーヒーを淹れることができる。カウンターの上にはレコードプレーヤー&アンプを設置





# “多頭飼い”の 乗り物好きが作り上げた 昭和的ガレージ



ガレージだけでなく  
自宅にもバイクが鎮座

ガレージを3カ所に所有しているが、自宅の自室にも1957年のヤマハ「YA-1」とホンダ「スポーツカブC111」を置いている。道の駅「藤川宿」で開催される旧車ミーティングの主催もしている

Noritaka Kawai

河合徳崇さん

愛知県

text&photo/T.Masui 増井貴光

バイク、クルマから雑貨まで  
すべてヴィンテージで統一

河合さんのお祖父さんは、昭和初期にハーレー「VL」やフォード「マスタング」を所有していた趣味人。もともと国産の旧車が好きだった河合さんだが、「乗るならハーレー」とお祖父さんからいわれていたこともあって「XLSポーツスター」を購入したが、やはりサイドバルブに乗りなくてはと「WL」を買い足した。これが楽しくて古いハーレーにはまり、後にVLの商用である1933年の「VC」を入手。さらに38年の「ULH」も入手し、現在は2台のサイドバルブを所有している。

河合さんの最初のガレージは、自宅横にあるもの。その内壁に板を張りアメリカンなイメージに寄せていた。当初は「フェアレディZ」とヤマハ「XS-1」を収納していたが、バイクが増えるにつれ手狭になり、昭和30年代に作られたと思われる古い物件を購入。そのスペースの半分を車庫として使っていた建物だった。電源を引いた程度で、ほとんど手直しせず現在は、2台のヴィンテージハーレーと国産旧車、それにレースにも出ている1929年の「オースチンセブン」を収納。昭和の雑貨や看板なども好きな河合さんの趣味で、建物内部も昭和感あふれるレトロな空間になっている。





## 昭和世代には懐かしい 看板や雑貨をコレクション

**[Point]**

乗り物に限らず、昭和的なものが好きという河合さん。昔懐かしく、いまとなっては貴重な「金鳥」やたばこの看板や牛乳の木箱などが所狭しと飾られている。昭和30年代に作られたガレージの奥には日本舞踊の教室だった部屋があり、昭和製の扉や乳母車なども保存。さらにもう1カ所のガレージもあり、そこには昭和の家具や雑貨、部品取り用のバイクなどをギュウギュウに保管しているという。



## 国産旧車は自分で整備をこなす

2台のサイドバルブのほかに1954年の森銀内燃機の「サンエッチ号」、スズキの前身である鈴木自動車工業の「SGKミニフリー（1957年）」など希少な国産旧車があふれている。2台所有する57年のヤマハYA-1のうち1台はジェネレーターなどのトラブルのためレストア中

## 1933 VC

お祖父さんが昭和初期に乗っていたVLに乗りたいと思いつつハーレーを乗り継ぎようやく手にしたVLの商用モデルであるVC。サイドバルブエンジンの形にほれ込んでいる



## 1938 ULH

以前に所有していたWLが楽しくてサイドバルブの虜に。2018年に乗り換えたULHはVCに比べて排気量があるぶん、どこまでも走れそうな頼もしさ。同じサイドバルブでもそれぞれに違った魅力があって楽しいそう



## なんとほかにも ガレージが!!

自宅のすぐ横にあるガレージ。河合さんが子供のころにお父さんが乗っていたクルマと同じ76年の日産フェアレディZ（S30Z）と70年のヤマハXS-1を納めるために家を新築したときに設置した



## 1929 オースチンセブン スポーツスペシャル

バイクだけでなくクルマも古いのが好きで、フェアレディZから始まり、古いアルファや自宅ガレージにある97年のローバーミニなどを乗り継いでいる。Zやオースチンセブンではレースにも出場しているそう



# 好きなものを詰め込んだ アメリカンガレージ

Toshifumi Maekubo  
**前久保俊文**さん  
和歌山県

text&photo/K.Matsumoto マツモトカズオ  
取材協力 / リトルバスタード モーターサービス  
TEL0737-20-5395 <http://www.little-bastard.info/>



地元へ帰郷して実現した  
夢のアメリカンハウス

アメリカンカルチャーに憧れた者ならば、一度はアメリカンハウスに住むことを夢見たことがあるだろう。木造りの外観に、ビルトインガレージ。その中にはハーレーとアメリカ車……。そんな夢の家を20年前に叶えた一人のバイク乗りを紹介しよう。和歌山県でカーショップ兼アメリカ雑貨販売を行っている「リトルバスタード」。伝説的なハリウッド俳優ジェームス・ディーンの愛車の名を冠した同店を営むのは前久保俊文さん。この地に生まれ育った前久保さんは高校卒業後、関東や関西で会社員として働く中、大好きなクルマやバイクに携わりたいと一念発起、クルマ業界に飛び込んだ。

折しも結婚して第一子が生まれるタイミングだったこともあり「子供を育てるなら都会より田舎がいい」と考えるようになり帰郷を決意。地元和歌山で10年間クルマの整備士として修行を重ねた。「最初は団地に住みながら土地を探していたら、たまたま縁あってこの土地を買えたんです。当時から僕は輸入住宅に憧れて。ハリウッド映画に出てくるような、ビルトインガレージのあるアメリカンハウス。そういう物件を建てていた設計士さんとの出会いもあった、家を建てることになりました」





## [Point]

### 設計士の粋な計らいで より思い入れの深い家に

「設計士さんのモデルハウスを見に行ったら、気に入ったんだけど最初は予算が合わなくて。でも設計士さんが乗り気になってくれて、外装や床を自分たちで塗ったり、そういう手伝いをする事で予算圧縮することを提案してくれたんです。そうやって建てた家なので、思い入れは深いですね」と前久保さん。そんな背景が家に一層の愛着を生んでいるのだろう。



## 旧きよきアメリカを ガレージ随所に垣間見る

ガレージは前久保さんのコレクションであふれている。ヴィンテージのウエアやヘルメット、ミニカーからシェウィンの自転車までラインアップは幅広い。前久保さんはギタリストを志していた時代があり、そのころからのコレクションは自宅内の「ギター部屋」に並んでいる



憧れのジェームス・ディーンと同じポーズで撮影。前久保さんは以前事故に遭ったが、奇しくもその日時がディーンの事故と完全に一致するなど、運命的なものを感じて屋号を決めたという



整備士として働きつつ、いつか独立する日を夢見ていた前久保さん。仕事後の夜や休日には、このガレージで自らが所有していたワグンバスやアメリカ車を整備して勤務時間外もメカを学んだ。「いわばこのガレージが、初期リトルバスタード」ですね」と回想する前久保さん。当然リフトもないので、ジャッキスタンドを立ててクルマに潜り込む日々。そんな歴史が現在の前久保さんを培ったといっても決して過言ではない。その後晴れて独立。リトルバスタードは今年で開業18年になる。

世代的に『ハーレーダビッドソン&マルボロマン』の影響でハーレーへの憧れがあつた前久保さんはスポーツスターでハーレーデビュー。その後、現在の愛車67年のアーリーショベルを手に入れた。

アーリーをメインのマシンとしつつ、後に手に入れたWL、息子が乗っていたエボチョッパーと、3台のハーレーを所有する。

整備士という仕事柄か、いずれのマシンもランニンググコンディションを維持。テイストの異なる3台を、その日の気分や走行距離に応じて乗り分けている。

20年のときを刻むアメリカンハウス。これから変わらぬ家族にとってかけがえのない存在であり続ける。



### 1998 FXSTC Softail Custom

息子さんが高校生のときH-Dディーラーでバイトをしていて、そのころ手に入れて乗っていたというエボを受け継ぎ、チョッパーにカスタムした一台



### 1946 WL

「WLって」ヴィンテージハーレーの入門編的な存在だと思っていたので。大きな仕事をやり遂げた後に自分へのご褒美として手に入れました」



### 1967 FL

前久保さんにとって初めての旧車。eBayで見つけて手に入れた一台は、車体に前オーナーが刻んだイニシャルが残る。シート以外は入手したころのまま



### PIAGGIO Ciao



### VESPA 50SS



### TRIUMPH 1939 TIGER 70

小排気量車も複数所有。ジェームス・ディーン、マロン・ブランド、スティーブ・マックイーンの影響でいつか手に入れたかったというトライアンフはお客さんから譲り受けた。ベスパも数台乗り継いだ、残ったのは12V/CDI点火で乗りやすい通称「台湾ベスパ」。モベットのチャオは自宅から工場へ移動する足



# 20年変わらないガレージは 家族や仕事に欠かせない存在



## メンテやカスタムはお手のもの

仕事柄、重整備以外は自ら行なってきたが、近年はハーレーに関しては信頼できるメカニックに任せている。「ハーレーは趣味のものだから、いつでも完調な状態で乗りたいんですよね」



ヴィンテージの冷蔵庫は現在、パーツのストック庫として使用。クルマやバイクのいわゆる「ステッカーチェーン」と同じく、ステッカーやピントで存在感が変わるところがおもしろい



チャンピオンやミシュランのサインボード、オイルメーカーのオイル缶、H-Dの純正シート……。前久保さんのアメリカン・モーターカルチャー愛と情熱があふれているガレージの一角



ガレージ内には先述のジェームス・ディーンのみならず、随所に『乱暴者』のマーロン・ブランドや『大脱走』のマックイーンなど、前久保さんが敬愛するヒーローたちの肖像が飾られる

居住空間である母屋とガレージをつなぐドア。そのドアは、“一家の主人”である前久保さんと“趣味人”前久保さんの境目のドアでもある。母屋の窓からはガレージを眺めることができる



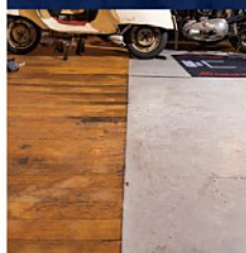
さまざまなウエアやパーツ、雑貨などをコレクションする前久保さんにとって、ヴィンテージヘルメットも重要な存在。その日の気分やマシンによってヘルメットを使い分けている



旧ロゴをあしらったスナップオンのクーラーボックスやBBQグリル、モービルやファイアーストーンなどのモーター系フラッグ、グッドイヤーのダストボックスなどもアメリカンガレージ感を加速させる存在だ

## Point

### ウッドカーペットに刻まれた ガレージとファミリーの歴史



床のコンクリートに敷かれたフローリング。「これ、実は大阪に住んでいたころに和室の畳の上に敷いていたウッドカーペットなんです。捨てるのも面倒だったので、ガレージが建ったときに敷いたんです」刻まれたオイルの染みや傷たちはガレージの歴史そのものだ。





# 趣味を存分に楽しむために 家を建て替え!!



## 駐車場の奥に 趣味の部屋を建築

黒いソフテイルを置いたときに映えるように外壁を黒に。ガレージは縦長で一番奥にはパソコンとモニターを設置している。趣味のギターの演奏やバイクの整備を夜間でもできるように防音には気を使い、窓は換気用の小さい窓のみ

Takeshi Hatakeyama

**畠山猛さん**

東京都

text&photo/T.Masui 増井貴光

畠山さんが乗るようになってから近所に住む幼馴染みの友人たちもハーレーに乗るようになり、ガレージに集まることも多い。畠山さんにとって楽しい時間が過ごせる唯一無二の空間になっている。

畠山さんが乗るようになってから近所に住む幼馴染みの友人たちもハーレーに乗るようになり、ガレージに集まることも多い。畠山さんにとって楽しい時間が過ごせる唯一無二の空間になっている。

自宅から50キロ離れた勤務先までバイク通勤していた畠山さん。仕事でハーレーと関わることもあり、それをきっかけに大型2輪免許を取得。奥様の反対を振り切ってソフテイルスリムを購入した。せっかくハーレーを手に入れたので、そのためのガレージがほしい。かなり自宅を建て替えてしまった。家の内部は、すべて奥様に任せ、畠山さんはガレージに専念。2台のバイクが入ったうえで趣味のゴルフの練習や楽器が弾ける空間を作った。ゴルフクラブが振れるように天井はかなり高い。またバイクの整備やギターの演奏が夜でもできるように防音にも気を使っている。バイク、楽器など趣味のモノを使いやすく収納できるように棚を設置。好きなバーボンのボトルを並べネオンサインでディスプレイするなど、アメリカのバーのような演出も施した。ガレージの奥にはパソコンとモニターも設置。バーボンを飲みながら動画を見てくつろぐ、リラックスタイムを過ごす空間にもなっている。

家を建て替えるきっかけは  
ハーレーのためのガレージ



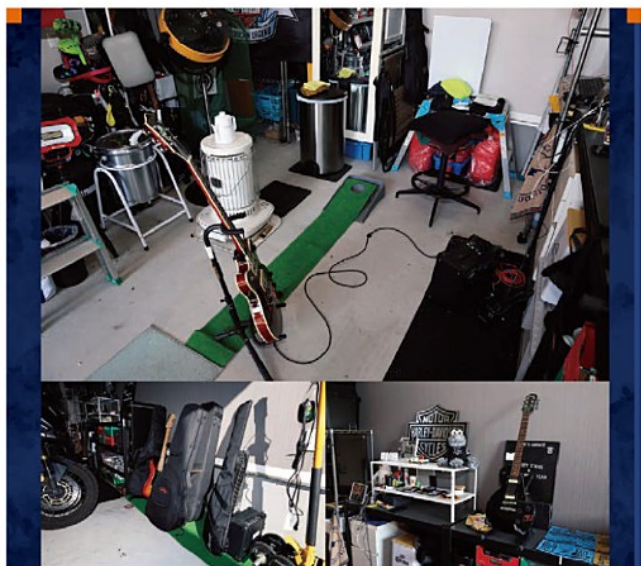


都心へ通勤するためにバイクに乗り始めた畠山さん。大型2輪免許を取りハーレーを購入。10年近く乗り続けているが飽きないそうだ。普段の通勤はホンダだが、気持ちのいい日にはソフテイルで行くこともある



### 必要なものも雰囲気重視で収納

室内への出入り口と柱の間にジャストサイズで設置された棚には、ブーツやヘルメット、工具などバイクで使うものをひと通り収納している。バイクやクルマのミニチュアなどのコレクションやバーボンを並べたバー的なコーナーも。ネオンサインは、アメリカから持ってきたもので暗くしたときの雰囲気は抜群



海外出張が多い仕事を活かし国内外で購入したH-Dディーラーのボーカークップを収集。アメリカ人の同僚が多い職場なので里帰りの際のお土産などで自然と増えていった

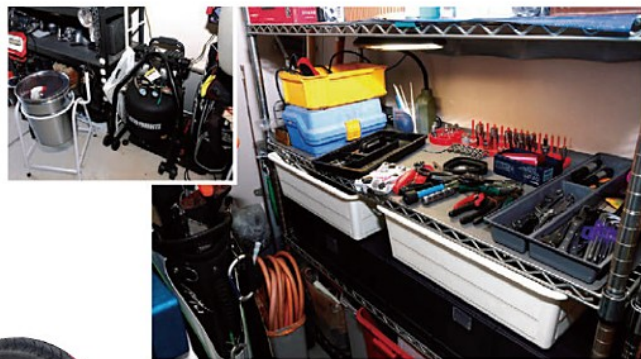


バーボンが好きな畠山さん。手前の2本は奥様からの誕生日プレゼントでオリジナルのラベルを作ってもらったもの。真ちゅうのカップやハーレーのレリーフなどアメリカのバーのよう

### バイク以外の趣味も楽しむための部屋

[Point]

天候に関係なくゴルフの練習ができるスペースとしてガレージを活用。クラブなどを振るようには天井は通常よりかなり高く作った。最近は、学生時代の仲間とバンド活動もするようになり、そのためギターの練習をする場所にもなっている。ギターは10本ほど置かれている。ガレージ奥にはパソコンとモニターも設置されており、好きなバーボンを飲みながら動画を見る楽しむ隠れ家的癒しスポットにもなっている。



### 工具類は箱ではなく棚に収納

ハーレーと主に通勤用に使っているホンダ「X-ADV (750cc)」の2台を所有。オイル交換などの整備は、ほとんど自分で行う。そのための工具も充実していて、普段頻繁に使う工具は効率重視で棚の出しやすい場所に収納している。小型のコンプレッサーも完備しているのでエアツールなども使用できる

## 2015 FLS

免許取得直後に購入しようと思ったソフテイルスリムは奥様の反対で一度は断念。交渉の末、奥様が折れディーラーを訪ねるものの既に目当ての車両は売約済み。諦めきれずに見つけた車両が現在の愛車となった







Masahiro Ohno  
**大野将宏さん**  
愛知県

text&photo/K Matsumoto マツモトカズオ  
取材協力/インフィニティ  
TEL04-2936-6876  
<https://www.infinity-aymp.com/>

# アウトドアとDIYの達人が腕を振るった秘密基地

自らの手で作り上げた  
趣味を詰め込んだ夢の空間

一見カーショップのような佇まいの建屋。ここをガレージにしているのが今回紹介する大野さんだ。アウトドア派の祖父の影響もあって、子供のころから山へ行ったりキャンプすることが好きだったという。現在もサーフィンから、スキーやスノーボード、クライミング、サップ、カヤック、さらにトライアスロンに至るまで、さまざまなスポーツを楽しむ行動派だ。また、DIYの達人でもあり、ガレージにある収納家具などはすべて自作。溶接や木工、鉄工も独学で習得し、ちょっとしたパーツ作りやカスタム、さらには塗装も自分でやってみよう。そんな大野さんの愛車は埼玉の「インフィニティ」が製作したシヨベルだ。

「以前スポスタに乗ってて、またハレーに乗りたいなと思ったんです。今度は古いエンジンで、バイクとしてしっかり成り立ってるものがほしくて。そんなときにインフィニティさんを知って、その後これが売りに出されたとき即決しました。すべてに手が入っていて、完成度も高い。ひと目ぼれでした」

そんな愛車を愛でるこのガレージ。バイク、クルマ、アウトドア……。大野さんの「好き」をギュッ！と詰め込んだ、宝箱のような空間だった。

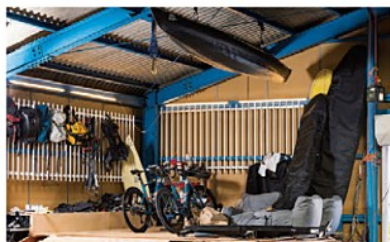




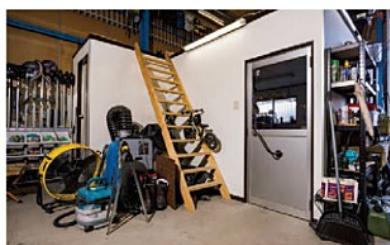
事務所側の壁にはケミカル類などを中心に収納する。ガレージ内にはホイストを3機装備。上階への荷上げや大型パーツの脱着などに活用している



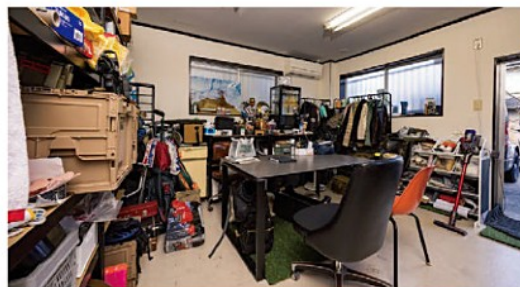
多趣味ゆえに収納は重要な要素。アメリカンフェンスを活用したライフジャケット用ラックや、ヘルメットやアウトドア用品を効果的に収納する自作のラックにDIYアイデアと技術が垣間見える



事務所上のスペースも有効活用。根太を置き、床を張って2階スペースを構築している。ここにはトライアスロン用の自転車のほか、クライミング用品やサップ、カヤックなどを機能的に収納する



2階の収納スペースに上がる階段もちろん自作。そしてその階段下も収納スペースとして活用している。暑い夏を乗り切る必須アイテム、工業用のスポットクーラーや大型ファンなどが収められる



### 冷暖房を完備した作業スペース

事務所スペースには主に衣類などを収納。いまは多忙のため休止しているが、かつてはギターやウクレレなどの楽器製作を趣味にしており、その道具や作った楽器の数々もここに収められている



愛車の18年のダッチ「ラムトラック」は外装や足まわりをカスタム。ベッドキャリアにはテントが載っており、家族4人でのキャンプや、冬は雪山へ行くことも。トランポとしても活躍している

### ショベルチョッパーで旧車ライフを満喫中

愛車をメンテする大野さん。初めての旧車ハーレー、久しぶりのキャブ車は、ダイレクトに機械感があって楽しいと話す。今後は体格に合わせて、ハンドルなどを交換する予定

KTMの「150EXC」、「300EXC」はEFI仕様の2ストレーサーで、年に数回ほどレースに出場。奥のマシンはBMW「R nine TアーバンG/S」



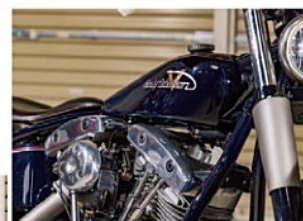
**[Point]**

### DIYの域を超えた作業スペース

買ってきた鉄骨を自らの手で溶接し、2階部分を製作したというから驚く。上階は現在床を張っており、完成後は収納として使用予定。階下には鉄鋼・木工各種の工具がそろそろ。その右には塗装ブースを新設。「作ったパーツとか塗装するときに塗料が舞うのが嫌で。それでブースを作ったんです。ちょっとしたステアから自転車までいろいろ塗ってます」

### 1982 FXWG

気鋭のカスタムショップ、インフィニティが「50s Bobber」というコンセプトで製作したプロジェクト。同店が得意とする徹底したナローな車体構成、マフラーや外装などの作り込みの細やかさには驚かされる







# 居住地を変えて実現した バイクと音楽の ための部屋



## 見た目にもスマートな ビルトイン

海まで徒歩3分の新築マンション。  
建物の表側からは見えず防犯性も  
高い。ガレージの向かって左側が  
リビング。右側にある部屋は仕事  
のオフィスや音楽制作などに活用  
する予定。クルマ用の駐車場は敷  
地内だが別で借りている

Joe Mizuchi  
**水知条さん**  
神奈川県

text&photo/T.Masui 増井貴光

趣味を楽しむ理想的物件は  
夢を実現する最初のステップ

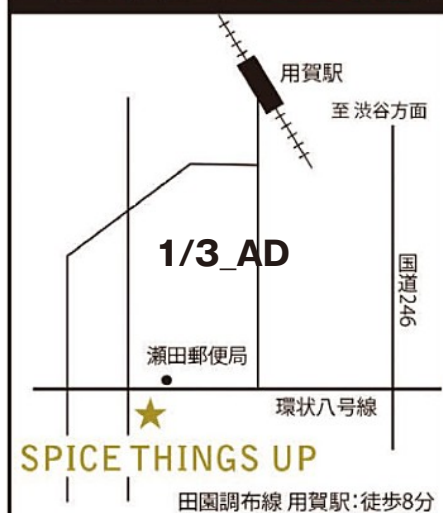
都内のマンションに住んでいた水知さん。仕事のやり方を変えた、趣味の音楽を集中してやりたい、などいくつかの理由で転居先を探していた。そうして偶然見つけたのが海から徒歩3分という新築マンション。リビングから窓越しに見えるビルトインガレージの付いた物件で、最寄駅を降りたときの空気感にホッと、このエリアに住みたいと思った。その日うちに大好きなハーレーと楽器に囲まれる理想的な物件だと即決した。ハーレーを2台納めても余裕のあるガレージの奥にはギターとドラムセット。バイクの傍らにはラックを設置しジャケットやヘルメットを収納。ここにバーツなどをディスプレイして、リビングでお酒を飲みながらカスタムやドレスアップの想像を楽しみたい。

若いころに整備士をやっていたとき、いつか「ジョーズガレージ」というカスタムショップを開きたいと夢見ていた。年月が経ち、忘れかけていた夢を思い出させる物件に巡り会えた。

「ここで見せ方などをいろいろ試して、いつかその名前でバイクを眺めながら食事やお酒が楽しめるレストランバーをやりたい」

夢の形は変わっても、そこに至る道は続いているようだ。





<https://headwayz11.com>

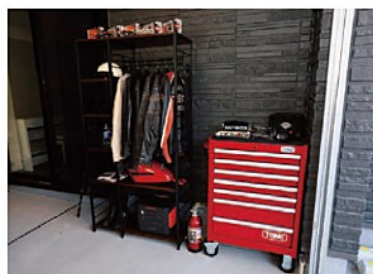


OPEN 11:00-18:00  
定休日: 月曜日、火曜日  
〒158-0095 東京都世田谷区瀬田4-28-10  
TEL: 03-6805-7343

## [Point] いつもバイクが見える贅沢なリビング



明るいリビングからは、大きな窓を介して2台のハーレーを停めたガレージが見える。撮影時は転居して1か月ほどだったので、パーツなどをディスプレイすることを構想中。DIYの得意な水知さんは、ガレージ側の窓にバーカウンターを作るなど、いろいろなアイデアが出てくることを楽しんでいる。

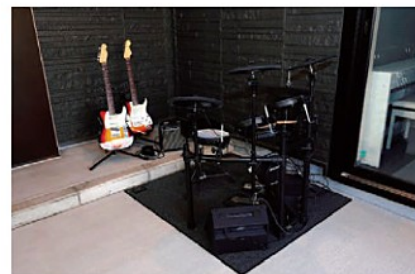


## バイク関連するアイテムをひとまとめに

整備士の経験もある水知さん、工具もそれなりにあるので簡単な整備やカスタムをするスペースとしても活用したいそうだ。バイク用のウェア類は、ラックにひとまとめにして使いやすく。パーツなども綺麗にディスプレイして、リビングでお酒を飲みながらガレージを眺めて今後のカスタムの構想をしていくのを楽しみにしている

## 音楽を楽しむスペースを確保

「ブルースカイヘブン」のステージで毎年ライブをしているバンドに参加するなど、本格的な音楽活動をしている水知さん。ギター、ドラムセット以外にも、現在は別の部屋に置いてあるピアノやパソコンなどをガレージ内に設置してバイクを眺めながら趣味の音楽制作の時間を充実させていきたいそうだ



## 1981 FXWG

ニューモデルを乗り継いできたが、技術が進むとバイクらしさが薄くなるとミルウォーキーエイトからショベルに乗り換えた。いまだに乗ったどんなバイクよりも楽しく感じるそうだ。ライトカスタムもする予定

## 2022 XL1200X Forty-Eight

初めてのハーレーだったフォーティエイト。ビッグツインに乗り換えて手放してしまったが、ファイナルエディションが出ると聞いて再度購入。駅から遠いエリアに転居したこともあり、足としても活用しようと思っている







# 土地探しから始めて実現した 自分だけの趣味の部屋



かなり奥まった住宅街の中にある鈴木さんの自宅。シャッターにはNAO's Garageと名前が入っている。2台のローライダーのほかにホンダ「モンキー」が2台と、かなりカスタムを施したヤマハ「T-MAX」などを所有

Naoyoshi Suzuki  
**鈴木直義さん**  
神奈川県

text&photo/T.Masui 増井貴光

常にハーレーを感じられる  
自分だけの特別な空間

鈴木さんが小学生のころ、お父さんは既にハーレーに乗っており、よく後ろに乗せてもらっていた。お父さんが「早く一緒にハーレーに乗りたいたい」と思っていたこともあり17歳のときに大型2輪免許にチャレンジして合格。初めてのハーレーはスポーツスターXL1200Sだった。それから何台ものハーレーや国産車乗り継いだ。現在所有している2台のローライダーを手に入れたころは、自宅から30分ほど離れた実家に置いていた。ほかにもバイクを所有していたこともあり、自分のガレージを持ちたいと土地を探したところ、職場からそれほど離れていない場所ので売りに出ている2軒分の土地を購入。趣味に理解のある奥様のおかげで理想的なビルトインガレージを作ることができた。

ガレージというよりもバイクを入れて整備やカスタムができる鈴木さんのプライベート空間で、2台のハーレーと複数台の国産車が納められている。忙しい仕事の合間にカスタムするのが鈴木さんにとっての癒しの時間なのだろう。

同じ年式の2台のローライダーにもそれぞれにお父さんとのストーリーがあり、単に親子の関係以上の深い絆を鈴木さんのバイクライフから感じられた。



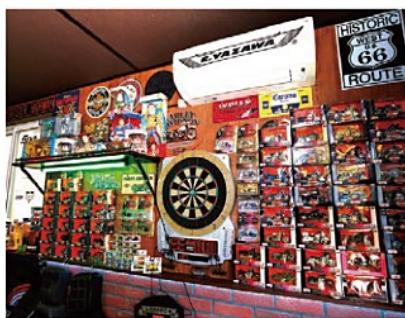


## 趣味の“バイクいじり”に存分に没頭できる空間

所有している車両のエンジンと塗装以外は、ほとんど自身の手でレストアやメンテナンスを行なっている。そのため工具類やケミカルなどもプロ並みにそろっており、ジャンク並みの状態からレストアした黒いローライダーは特に手がかかったそう



ハーレーやアメリカ車のミニチュアモデルが数えきれないほど飾ってある。棚などはDIYで製作。ガレージの各所にネオンを入れて雰囲気作りもバッチリ。ほかにもヘルメット部屋がある



## 革やシルバーもこの場所に収納

革製のベストやカウボーイベルト風のオーバーベルトなどは「ゴッドバレイ」の代表である神谷さんに直接オーダー。鈴木さんからアイデアを出し形にしてもらったこともあるそう。ウエスタンブーツが好きで専用のシフトガードも製作してもらった



## 1982 FXS

お父さんの友人が保管していたローライダー。長い間乗られておらず、かなりジャンクな状態だったのをお父さんとレストア。FCRに換装しファイナルを見直すことで高速域まで快適



## 1982 FXS

FXS1200を手放したことを後悔していたお父さんが偶然見つけて購入。お父さんが乗らなくなって受け継いだ。ほとんどの箇所を純正部品でレストア。最後に手元に残すならこのバイクだそう



## バーカウンターを設置して居心地のいい雰囲気

**[Point]**

忙しく仕事をしている鈴木さんにとって癒しの場所であるガレージ。居心地のいいプライベート空間にするために好きなものをいろいろ揃えた。カウンターはお酒やコーヒーを飲みながらバイクを眺める場所。ガレージ内に電気と水道が引いてあるので「家を追い出されてもトイレさえ借りることができる生活できる」そう。自宅のリビングとダイニングにも窓がありガレージ内を眺めることができる。



## 1989 ホンダ モンキー

友人から譲り受けレストアを兼ねてフルカスタム。125ccにスーパーストックフルチューン。足まわりもオーリンズにブレンボと隙がないカスタム。シン普森も同色でペイントしている



ガレージをおしゃれな空間に仕上げる

# COUNTRY BASEの 建材に注目!

ガレージを作ったなら、空間も特別なものにしたい!  
カントリーベースがプロデュースする建材で  
壁や床をアレンジすれば、  
憧れの空間イメージをそのままカタチにできる!

text&photo/T.Numao 沼尾哲平  
問い合わせ/カントリーベース TEL076-232-7710  
<https://www.country-base.com/>



CHコラボガレージの内装も  
デザインコンクリート仕様

弊社ECサイトで発売中(本誌5ページを参照)の  
カントリーベース、ダイナオガレージファクトリー、  
クラブハーレーのトリプルコラボガレージの内部に  
も特殊建材デザインコンクリートを施工している

床や壁がカッコよく仕上がる  
薄塗りコンクリート

[ MPC エムピーシー ]

バイクやクルマを置いても  
問題ない強度



重量のあるバイクやアメリカ車など、重さのある車両が行き来する  
ことが多いガレージ。そんな過酷な環境でもクラックが入ったり、  
床がゆがんだりなどのトラブルはない

## MPCの施工方法

MPCの特徴はわずか1mm程度の厚みながら、高い強  
度を備えているということ。施工はポリマーとパウダ  
ーを合わせた液状の材料を塗り、層にしていく。床に  
施工する場合は、流し込んでコテなどで平らにする



## MPCポリマー&パウダー

床にサインを書いたり、カラー  
を変えてカッコよく仕上げたい  
けれど、ペンキなどでは耐久性  
や強度が低くなる。タイルなど  
の床材も好みのものがない……。  
そんなときは薄塗りのコンクリ  
ート「MPC」が有効だ!

家具を置いても  
傷つきにくい



ガレージをバイク保管のスペースだけでなく、くつ  
ろぎの空間として使う人も多い。そんなリビング的  
なところには家具は不可欠だが、重量のあるものを  
置いてもMPCなら大丈夫!

ガレージ内の  
雰囲気作りに最適



無機質なガレージの床を雰囲気よくアレンジしたい  
ときMPCは有効。あえてムラのある色合いにする  
ことで、新築のガレージにヴィンテージ感をプラス  
することも可能だ

お気に入りのロゴを  
床に描くことも可能



異なる色のMPCの材料を使うことで、お気に入りの  
ロゴなどを床に描くこともできる。ガレージだけ  
でなくバイクショップの床などに施工するのもオス  
スメ! ショップのオーナー様、是非!



## デザインコンクリートで 唯一無二の空間を作る

ガレージを愛車の保管やメンテをするだけの場所として使うのはもったいない。せっかく自分の時間に没頭することができる場所なら、好みの空間に演出すれば、よりガレージライフは充実するはずだ。そんな演出には「カントリーベース」が取り扱う建材「MPC」や「デザコンウォール」を使ったデザインコンクリートが有効だ。これらはガレージの雰囲気作りや世界観を構築するのにもってこいの材料なのだ。

レンガを積んだような壁、巨大な岩を張ったカウンター、ロゴを描いた床など、デザインコンクリートを施工することで、唯一無二のガレージを目指そう！

### デザコンウォールの施工方法

デザコンウォールは一般的なコンクリートモルタルとは違い、乾くのが遅いため、表面を彫って造形したり、着色やスタンプで模様を付けることができる



## [ DEZACON WALL ] デザコンウォール



### デザコンベース&デザコンウォール

デザインコンクリートの施工で使う造形用のモルタル。旧い工場のレンガや巨大な岩、石造りの壁など、実際に置くのが現実でないものも、コンクリートの彫刻や調色によって表現できる

### 壁一面をレンガを 積んだように仕上がる



室内の広い壁一面にレンガを積み上げるのはなかなか大変だ。しかし造形なら実現可能。技術の高い職人の手にかれば、表面にペイントを施したり、ヴィンテージレンガのような風合いにもできる

## イメージした壁を作るモルタル造形

### 普通の壁も 重厚なブロックになる



こちらはショールームの壁。施工する前は一般的な壁だったが、デザインコンクリートで施工することで、ブロックを積み上げたような重厚なデザインに仕上がった

### ガレージ内を ブロック調に



本誌12ページのアイアンハート原木さんのガレージの壁はブロック調。ブロック塀の間にガレージがあるというイメージになっている。こうした実際のものでは表現が難しいものも造形なら可能

### ガレージ内の 雰囲気作りに最適



ガレージ内の一か所だけでも造形を採用すると雰囲気がよくなる。木の壁などにメッシュを張って、その上にコンクリートを重ねるため、造形した壁に棚を付けることもできる

### インダストリアルな 空間作りができる



フラットなガレージの壁をレンガ調にすることで、インダストリアルな雰囲気を演出することができる。あくまで造形なので、壁一面のみに施工して、ほかの壁は違ったデザインにできる

### 巨大な石も 造形で表現できる



巨大な一枚の天然石を使ったようなバーカウンターもデザインコンクリートで作ったもの。これだけのサイズの石を加工するとしたら技術的にも金銭的にも大変だが、造形なら実現できる

### 本物の石を積んだような 門も作れる



ガレージの前に柱やポーチがあったら、そこをデザインコンクリートでアレンジするのもアリ。外壁にも施工すれば、唯一無二のガレージを作り上げることができる！





アイドゥの物件は場所によって趣きが異なり、ここ世田谷船橋は板張りの床や壁が特徴。1階はオレンジ色がかった電球色のライトで雰囲気をより高めている(地下は明るい昼白色)

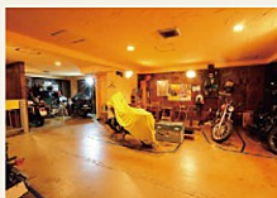
text/T.Amemiya 雨宮武 photo/T.Masui 増井貴光  
問い合わせ/アイドゥ TEL03-5312-1799  
<https://www.yes-i-do.co.jp>

## 保管に悩む「アイドゥ」の ハーレー乗りは 賃貸ガレージに注目!!



### この物件は地下にもスペースが!!

首都圏の空き物件をバイク用パーキングに改装し、都内各地に展開するアイドゥ。そのため物件ごとに独自の個性をもっているのもユニーク。世田谷船橋の物件は1階のほか、地下もガレージになっているためエレベーターが備わっている。



### INFORMATION

アイドゥ 世田谷船橋  
賃料: 2万2000円~3万円  
場所: 東京都世田谷区  
京王線「桜上水」駅より  
徒歩約10分  
小田急線「経堂」駅より  
徒歩約15分

バイク乗りからの共感多数! オススメの賃貸物件あります  
都心部でバイクを所有しようと思えば、その保管場所で頭を抱えることもしばしば。仮に居住しているマンションの共同駐輪場に停めることができて、高級なハーレーだけに今度は盗難対策が悩みの種になる。そんな人にオススメなのが安全性に絶対的な自信をもつ「アイドゥ」の賃貸ガレージだ。24時間の監視体制を敷いているほか、出入り口は複製のできない専用の鍵を使用。加えて、いつ誰が入室したのかすべて記録に残されるほか、大手警備保障会社の「アルソック」と提携しているため、万が一何かあればセキュリティスタッフが現場に急行してくれると

いうわけだ。そこまで厳重なシステムが誕生した背景には、そもそもアイドゥがバイク乗りによって設立されたことにある。大切な愛車を盗難されたことでバイク仲間を失ったという苦い経験から、そんな思いを2度といたくないと、徹底したセキュリティシステムとフォロワー体制を構築。もちろんガレージも、バイク乗り目線で使いやすくなるよう、常にアップデイトされてきた。スペース内を自由に使いたいというルールは、DIY好きが多いであろうバイク乗りにとってありがたいもの。工具やヘルメットなどを置いておけるのも万全のセキュリティと、ライダー目線の使いやすさを重視する姿勢あればこそ。多くのライダーから支持されているのも納得だ。



# // バイク好きが考案したからこそその使いやすさ!! //



## 24時間体制で 万全のセキュリティ

防犯対策から、アイドゥではコピーできないICチップの入った非接触タイプのキー、またはホログラムキーによって出入り口にアクセスする。万が一異常を感知すると通信回線を利用して自動的にガードセンターに連絡がいき、ガードセンターのスタッフが現場に急行してくれるので安心。ガレージの外と中には監視カメラも設置されているほか、誰がいつ出入り口を開閉したかも記録に残るのだ。



## 自由に使えるから 棚の設置もOK

駐車枠内を自由に使うことができるので、ジャケットを壁に吊るせるように加工したり、棚を設置してヘルメットや工具の収納スペースを確保(棚を常設している物件もある)したりなど、好みに使える。装備をすべてここに置いておけば、自転車を手ぶらで来て、自転車を置いてバイクでそのまま出かけることもOKだ。

## 電源も確保できる!!

ガレージには至るところに電源が用意されているため、利用者は1~2カ所のコンセントを使うことができる。保管中はバッテリー充電器につないでおきたい人はもちろん、インカムなどの充電も可能。またDIYで愛車をイジりたいという人は電動工具も使えるので便利だ。



## 安心の設備でガレージライフを満喫できる

もちろん自分で工具を持ち込まなくとも、共用で使える工具も用意されているので万が一の際も安心。また、この物件は屋外にも水道が備わっているので、愛車の洗車も可能だ。加えて、誰も利用できるチェアが置かれた共用スペースも用意されているので、愛車イジりの合間の休憩などで使えるのもうれしいところだ。



## ゆとりある 駐車スペースで 大型車でも楽々



この物件は場所によって区画の大きさが異なり、広いスペースを借りればトライクなどの超大型車はもちろん、複数台の愛車の保管も可能。また、大型車を出し入れすることを考慮しているため、隣のバイクとの接触に気をを使うこともなければ、大型のツアラーで取り回しに困ることもない。

## スペースさえ許せば ガチ整備も可能

エンジンを始動する点検や整備はNGだが、それ以外は自由。セキュリティも万全なので、スペース内に工具を置きっぱなしにすることはもちろん、車体をバラバラにするような重整備も可能。バイクを大切にする好きモノばかりが契約しているため、周りの目を気にせず、心置きなく整備に没頭することができるぞ!!



## 24時間換気で 保管環境も完璧!!



ガレージ内にこもりがちな湿気から大切なバイクを守るため、1時間に15分ごとの換気を行なっている。この物件の地下は特に湿度が高いため、換気扇に加えて複数のサーキュレーターも完備。24時間稼働しているから、サビが出やすい旧車の保管も安心だ。





# 憧れの秘密基地ライフ はじめの一歩!!

バイクカバーを卒業するなら  
コレがオススメ!!

クールライドのバイクバーン

text/T.Ameniya 南宮武 photo/D.Katsunura 勝村大輔  
問い合わせ/クールライド TEL03-5996-1465  
https://cooride.com/

カバー保管に不満があるなら  
バイクバーンに注目!!

本誌の読者諸兄の中にもバイクカバーを使っているという方は多いだろうが、クシャクシャなカバーを引っ張り出してガサゴソと愛車にカバーをかけるのは、なかなか面倒なもの。走り終えてマフラーが熱々なままカバーをかけようとすれば、エキパイにカバー素材が溶けて貼り付いてしまうし、エンジンが冷えるまで待とうと時間をおけば、カバーのことなどすっかり忘れ、翌日玄関から出たときに朝露にぐっしり濡れた愛車に気づく……などなど、不満点を挙げればキリがない。理想はガレージ保管だが、それも住宅事情を考えれば現実的ではない。そんな人に絶大な支持を集めているのがこの「バイクバーン」だ。

カバーと車体が接触しないのでボディのキズを心配する必要もないほか、使い勝手もカーテンを開け閉めするように、シャットとやれば完了。さらにアンカーを打つ必要がないため、据え置き型のボックスガレージと違って簡単に設置場所を移動できるのもメリット。加えて、交換用カバーもラインアップしているの、長期間の使用でも問題ナシ。これは「買い」だ。



3秒で  
収納完了!!

【ジュニア】幅1000×奥2530×  
高1560mm 5万8300円  
【スタンダード】幅1100×奥2800×  
高1640mm 5万8850円  
【ツアラー】幅1340×奥3450×  
高1940mm 7万4030円



細部までこだわっているから  
安心かつ安全なのだ!!



通気性に優れ湿気を防ぐ

3層のウレタンコートを施した防水性の高いカバーの上部にはベンチレーションを備えている。これにより風通しがよく、カバーした状態でも湿気によってバイクがサビにくい

フロントタイヤで固定

上の写真は後ろから収納しているの  
で固定はリアタイヤになるが、位置  
を調整できるプレートの上に、前輪  
を載せて固定するため、設置は簡単。  
アンカーで固定することもできる



南京錠を使えるから防犯性も高い  
フレームのベースパイプには左右2  
カ所に南京錠をかけることが可能な  
穴を備えている。これにより、収納  
状態でロックすることができるので  
盗難抑止効果も高い。着脱も簡単だ



アコーディオン状のフレーム

最大の特徴であるアコーディオン  
のようなフレームは、サビに  
くい亜鉛メッキコートにより耐  
久性を確保している。コの字型  
ブラケットと四角形のフレーム  
で可動部の剛性也十分

【注目すべきポイント】

超簡単に愛車を出し入れできる

ご覧くださいこの圧倒的な使いやすさを!! これ  
がバイクカバーならこんなにも簡単にいかないこと  
はおわりのハズ。カバーが車体に接触しないので、  
走行後それほど冷まらずに収納できるのも魅力。



# 本格ガレージを 組み立て式で 簡単に実現!!

## シェローのBOXシェロー

text/T.Amemiya 雨宮武  
問い合わせ/シェロー TEL03-5738-0388  
http://www.shello.co.jp/



気密性が高いから安心!!

BOXシェローはシャッターの気密性が高いことも特徴で、愛車をホコリや風雨から守ってくれるので安心。加えて、ブロックで床が高くなるため、ホコリがそもそも入りにくいのだ

### バイクの大きさや 置き場所に合わせて 3サイズをラインアップ

[116] 幅1160×奥2630  
×高2070mm 42万200円

[S] 幅1370×奥2630×  
高2070mm 42万9000円

[DW] 幅1530×奥3050×  
高2070mm 49万7200円

※配送料、組み立て設置費は  
別料金



### 収納するとシャッターの 鍵穴が隠れて防犯効果も高い!!

屋内保管に憧れはあっても、自宅は狭いからなうという人にオススメなのがこの「ボックスシェロー」だ。部材から組み立てるので、トラックが入っていけない狭い路地の先にある自宅や、狭いスペースにも設置できることが特徴。基礎はブロックを置くだけなので、基本的に工事不要。その気になればDIYで設置も可能だ。撤去も簡単にできるので、許可さえ下りれば月極駐車場にも設置できる。それでいて、バイクを出し入れするスロープが施錠時はそのまま防犯柵として機能するため、シャッターのみのガレージと比べれば防犯対策も十分といえる。

組み立てがスピーディーに行えるが故に、完成すれば即ガレージライフをスタートできるというのも、うれしいポイントだろう。

### 省スペースにも設置可能な 組み立て式ガレージ



### 【注目すべきポイント】

#### 置き場所を選ばないサイズ

アンカーを必要としないほか、基礎もブロックで撤去も簡単にできるため、許可さえ下りれば月極駐車場にも設置可能。サイズも大きすぎず、狭い場所にも対応する。バイクを入れて裏庭を活用するなど、工夫次第で夢のガレージを実現できる。



**[30万円台]**

見た目のカッコよさにも  
こだわるならコレ

問：グリーンベル TEL0120-417-127  
https://www.green-bell.co.jp/

オシャレなガレージを目指すなら「グリーンベル」の物置に注目。さまざまな種類があるが、なかでも観音開きのドアを備えた「ランカスターバイクガレージ」シリーズはその名の通りにバイク用として特化しているので使い勝手もバツグン。木製だから組み立てはもちろん塗装も簡単。必要なビスや説明書も付いているのでDIYでも製作できる。DIYが苦手なら、施工も依頼できるのでご安心を。

\\ココが魅力!\\

- ・長期間使える安心のクオリティ
- ・作業スペースも確保できる室内空間

エルモシャッター：床タイプ  
【LOD2525HF】

幅2564×奥2564×高2356mm  
56万3200円  
※組み立て、設置費は別料金  
※床補強、大型棚はオプション



エルモシャッター：土間タイプ  
【LOD2925HD】

幅2914×奥2564×高2356mm  
47万6300円 ※組み立て、基礎工事費、土間コン工事費、設置費は別料金

ランカスターバイクガレージ  
幅1830×奥2440×高2325mm  
34万4300円（床なし）  
幅1830×奥3040×高2325mm  
37万5100円（床なし）  
幅1830×奥3660×高2325mm  
43万5600円（床なし）



\\ココが魅力!\\

- ・開口部が広く出し入れも楽々
- ・木製だからDIYで自由にカスタムできる

**[40~50万円台]**

整備もできるゆとりの広さ

問：ヨドコウお客様窓口 TEL0120-882667  
https://www.yodomonooki.jp/

せっかくガレージを手に入れるのなら、室内で整備できる広さも確保したい。比較的手に入れやすい価格帯、そして耐久性の心配もない安心のクオリティで考えるなら、ぜひとも検討したいのが「ヨド物置」の「エルモシャッター」シリーズだ。サイズが豊富にそろっていることはもちろん、奥の内壁には棚を標準装備。床タイプと土間タイプがあるので、設置する環境や好みに合わせて選べるのも魅力だ。

\\ココが魅力!\\

- ・サイズバリエーションが豊富
- ・土間工事不要だから短時間で設置可能
- ・さまざまなオプションを追加できる

**[40~70万円台]**

棚やラバーマットを標準装備

問：デイトナ TEL0120-60-4955  
https://www.daytona.co.jp/

2カ所のシャッター錠とシャッターガード固定用プレートを用意することで防犯性を高めているほか、「ツルシ」のままでも即使用できる収納棚や車体の下に敷くラバーマットを標準装備。もちろん、車両を収納する際に便利なアルミスロープや、窓や通気口付きの壁面パネルなど、オプションも豊富。サイズも多数あるので、用途に合わせて選ぶことが可能だ。

ベーシック シリーズ

幅1370×奥2630×高2087mm  
幅2630×奥3050×高2387mm  
43万4500円～71万5000円  
※配送、設置費は別料金



サイズ展開が豊富なので、バイク+αのタイプを選べばガレージ内で愛車の整備もできる。理想的なガレージライフの楽しみ方だ

\\ココが魅力!\\

- ・コンパクト設計で小スペースに設置可能
- ・トビラを開ければ屋根代わりにもなる
- ・ロック用の穴を装備し防犯性も高い

ロング

幅2900×奥1150×高2060mm  
60万5000円  
※配送、設置費は別料金



モトキュービックスターダート  
幅2500×奥1000×高2060mm  
55万円 ※配送、設置費は別料金

基本的にサイズはスタンダードとロングの2種類だが、特注も可能。ご覧のように2台並べて収納できる仕様もオーダーできる



**[50~60万円台]**

クルマの駐車場を有効活用

問：東亜製作所 TEL0565-32-2208  
http://www.motocubic.co.jp/

クルマの駐車場の奥にありがちなデッドスペースを有効に活用するべく、ガレージを横向きに設置することでバイクの収納空間を生み出せるガレージ。90度回転するスライドベースを備えているのが特徴で、上にバイクを載せてベースを動かせば、狭い場所でも簡単にバイクを収納できる。設置場所のアイデア次第で家のデッドスペースが夢のガレージになる!?

オレだって今年こそ手に入れる!!  
予算別  
ガレージセレクション

ガレージなんて夢のまた夢……と、あきらめるのはまだ早い! 何もお金をかけたスゴイガレージでなくとも、雨風を凌げるだけで十分。それに予算的に無理をしてガレージを建てたところで、楽しむ余裕がなければ意味はないのだ。だからこそ、自分のライフスタイルに合ったガレージを見つけよう!

text/T Amaniya 監修



## バイクロッジ シリーズ

TYPE001 幅1700×奥2700×  
高2300mm 127万6000円

TYPE002 幅2100×奥2700×  
高2300mm 139万7000円

TYPE002プラス 幅2100×  
奥3000×高2300mm  
149万6000円

TYPE007 幅1800×  
奥2800×高2250  
110万円



**[110~140]** 万円台

## 好みの色にオーダーできるデイトナのトップモデル

問：デイトナ TEL0120-60-4955 <https://www.daytona.co.jp/>

スチール製シャッターのように開閉の際にガシャガシャと音が出ないアルミ製シャッターを採用。また頑丈なフレームを採用することで重量級のハーレーを収納してもびくともしない屈強さを実現した。壁面の色はダークブルー、ブラック、シルバー、レッドブラウンの4色をラインアップし、母屋や収納するバイクの雰囲気に合わせて好きな色を選択できることも魅力だ。

明かり取り用に備えられた窓は、突然の雨でも浸水しにくい滑り出し式を採用。オプションで専用網戸も用意されている



### ＼ココが魅力！／

- ・高強度75mm角鋼管フレーム採用で頑丈
- ・4色のカラーバリエーション
- ・窓と2口コンセント、スイッチを標準装備



**[210]** 万円台

## オプションで小屋を追加できる本格派のキットガレージ

問：グリーンベル TEL0120-417-127  
<https://garage-style.com/>

手動式オーバードアが特徴のガレージ。バイクを収納する際の使い勝手はもちろん、ドアの開閉スペースを確保する必要がないので設置の際にも便利。加えてオプションでガレージ横に小部屋を設置できる。ここで紹介している価格は、組み立てや塗装など、すべて自分でやる前提だが、これだけの規模のガレージをこの価格で実現できることが最大の魅力だろう。

ビットガレージ12  
幅3654×奥3654×高3834mm  
176万9900円



専用オプション小屋  
幅2436×奥2436×高3052mm  
39万9300円

### ＼ココが魅力！／

- ・DIYで自在にカスタムできる木製のキットガレージ
- ・バイクとクルマを収納可能な大型サイズ
- ・ガレージ横に小部屋を増設できる(オプション)



収納棚やテーブル、ベッドに展開できるソファも装備。加えてポータブル電源と2枚のソーラーパネルも備わっているので電力も供給できる

レジェンダリーガレージ  
幅2400×奥5000×高2600  
700万円

### ＼ココが魅力！／

- ・ガレージと書斎がほしい人に最適
- ・リビングとガレージをガラス戸で仕切ったレイアウト
- ・キッチンと薪ストーブを備えたウッド張りのリビング



中央部のガラス戸でリビングとガレージを完全に分けた作りになっているものの、リビングから常に愛車を眺めることができるのもうれしい



シンクとガスコンロ、さらに冷蔵庫も完備されたキッチン。そのわきには薪ストーブが設置され、夢の秘密基地ライフを満喫できる

**[700]** 万円台

## 居住スペースに薪ストーブを備えた、まさに秘密基地!!

問：ダイナオガレージファクトリー TEL0538-55-6655 <https://dainao.net>

開閉可能なガラス戸で中央を仕切り、2部屋構造としているのが最大の特徴で、リビングスペースとガレージスペースを個別の空間にすることで、男のロマンといえる“秘密基地”をこれひとつで完結させることができる。ウッド張りのリビングにはシンプルなキッチンと薪ストーブを備えているほか、ソファを展開すればベッドにもなる。夢のガレージに存分に“籠る”ことができるぞ。



全車種対応  
ZON オリジナルフェアリング

MADE IN JAPAN



●本体価格：275,000円（税込み）

「車種別専用ステー製作」付き

●フルセット価格：440,000円（税込み）

（フェアリング + レンズカバー + ウィンドシールド  
+ 専用ステー）



F R Pの弱点である欠け・ひび割れ・ひずみのリスクを最小限にする為、淵は3層、フラット部は2層で成型されたフェアリング。

淵にリブを入れ、正面から見てもスマートな印象にするために、サイドを若干スリムにデザイン。

ヘッドライトの形を一から構想し直し、繋ぎ目の少ない現在の形にたどり着いた。

お問い合わせ

**CUSTOM WORKS ZON**（カスタムワークスゾン）

TEL：0748-52-6410

Mail：info@cw-zon.com

※業販大歓迎です！お気軽にお問い合わせください。





# LONG RIDER ON THE LONG JOURNEY

WESTRIDE AND CO.  
ISSUED BY AUTHORITY OF REGISTERED



**SUGAR VALLEY**



ご来場してくれた皆さま、  
本当にありがとうございました!!

# 稲妻フェスティバル INAZUMA FESTIVAL 2024 REPORT

text/T.Amemiya 雨宮武  
photo/T.Masui 増井貴光



もはやおなじみの弊社主催のビッグなお祭り「稲妻フェスティバル」を12月8日に開催しました！例年通り開場前から長蛇の列ができ、開場と同時に目当てのショップにダッシュする、稲妻ならではの約束の儀式も見られて我々もひと安心(？)。ハーレーダビッドソンが会場内で「ブルースカイミーティング」を開催したこともあり、駐輪場はハーレー乗りが大集結。バイク好きも満足いくお祭りになったと思います！今回来れなかった人は、次回ぜひ！

今年は稲妻フェスティバル会場に隣接したエリアで「ハンバーガーフェスティバル」を開催。こちらは入場無料で、40店舗もの飲食店が軒を連ねたとあって多くの人で大盛況!!



おなじみのブランドも  
数多く出店!!

会場の一角にH-Dが開催しているブルースカイミーティングのエリアがお目見え。そのほか恒例のビンストライブや本誌でおなじみの「ダイナオ」のブースもあって注目を集めていた



THE FLAT HEAD



WEST RIDE



IRON HEART

ここに紹介しているハーレー乗り人気のブランドのほか、アメリカンカジュアル好きにおなじみのブランドや雑貨、革小物など、多種多様なショップが並び、格安のセール品を放出。あらゆるショップが多くの人で埋め尽くされた

さまざまな  
カスタムバイクも展示!!



「セレクトッド」や「フェイテック」、「アウトキャスト」のハーレーのほか、「2%er」のSRカスタムや、「ファーストアローズ」、「車坂下プロダクション」による注目バイクがズラリ!





# 愛車で来てくれた方々をスナップ!!



2010 FXDL  
あつしさん



2024 FXBBS  
金子雄輔さん



XL1200S 632 akiraさん



2011 XL883L たえちゃんさん



XL1200NS えのっちゃんさん



2006 FXST 鈴木貴教さん



2011 FXDL KEIGOさん



2008 FLHTCU EVOトシさん



2007 FLHR まきまんさん



2017 CVO FLHTKSE 山松運輸さん



FXBR shouRequiemさん



2018 FXFBS イノウエマサユキさん



2001 FLSTC TAKE壱さん



2013 FLSTF 中島さん



2010 FLHX NOBUさん



2007 ROADHOPPER ひろし&まるさん



FLHX 野原新一さん



2019 FLDE 敏雄さん



2017 FLHTK HIDEさん



2015 FLHX YASUさん



2008 FLHX MASARUさん





XL1200L あみさん



FXBR ユウキさん



2018 CVO FLTRXSE 41さん



2013 FXSB 友樹さん



XL1200V TAIさん



2007 XL883 ナミさん



2022 FXBRS Masaさん



2019 FLTRXS キヨさん



2022 CVO FLTRXSE BLITZMANさん



2015 XL883N 加藤信康さん



2000 FXDWG Kouさん



2023 FXBR ギンちゃんさん



1989 FLHTCU 殿さん



1998 FLSTS ヒロさん



2020 FXST シュータさん



2002 XL1200S TATSUYAさん



2013 FXS しんじさん



2009 FLHTCU Takaさん



XL1200R 長田裕次郎さん



2022 FXBBS  
Taka③さん



XL883C  
遠藤さん





2012 CVO FLHTCUSE7 DENさん



2008 FLTR ユキニーさん



2023 FXLRST KANさん



2022 FXBRS Jomさん



2024 FLTRX やすうさん



2003 FLTR ななしさん



2016 CVO FLHXSE エースさん



FLHX かっちゃんさん



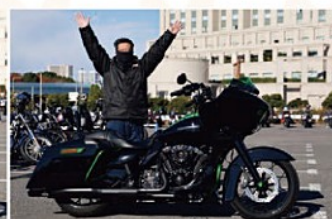
2013 FLHX ひとしさん



2021 FXLRS トシさん



2023 FXBR のぼ～るさん



2020 FLTRXS おぬーさん



XL1200S  
マッチさん



2006 FXDB  
長田成哉さん



2016 FLTRXS OZAWAさん



1980 FLH ナベさん



2011 XL883 Minakoさん



2020 FXBRS デニさん



2016 FLHTCUTG UP JOHNさん



2021 RA1250S ハヤトさん



1983 FXRT Jさん





2018 FLTRXS かっちゃんさん



2020 FLHXS 親方さん



2024 FLTRX タッキーさん



2020 FLTRXS まーさん



FXDB トラさん



XL1200X 田島一雄さん



FLHTCU 柿ちゃんさん



2015 FLHTCU ゆーわさん



1997 FXSTS  
じゅんさん



1975 FX1200  
motoさん



2011 FLHTC KAZUさん



2022 FXBRS 島本当樹さん



2009 FLHTCU フシキヤスオさん



1991 XLH1200 ランプさん



2003 FLSTC ケンヤさん、ユナさん



1986 FXSTC カズヒデさん



2010 XL1200N 高瀬幸久さん



2020 XL883N HAJIMEさん



FXDLS 高柳徹さん



2008 XL1200 ヒデさん



2003 XLH883H RIKOさん





1996 FLSTF  
アッチャンさん



2009 XL1200  
Ozira164さん



2009 FLSTSB 伊藤一志さん



1972 SHOVEL HEAD クリネコさん



2015 CVO FLHXSE からあげくんさん



2002 FLHRC ふじさん



1977 FLH サトちゃんさん、カッちゃんさん



1984 FLH 荒幡さん



1981 FXB mino★panさん



1998 XL1200C Hamanさん



2003 XL883 Nonさん



2020 FXLRS ねこちゃんさん



1989 EVOLUTION モンさん



1980 FLHC Takuさん



2011 XL1200X カヤネさん



1998 FLSTS カミヒラさん



2011 FLHX NAOさん



1955 PAN HEAD ヨシさん



2011 FXDWG 下町のナポレオンさん



2010 FXSTC Rock☆maNさん



2005 FXSTB JOSHさん



# FREE RIDE

text/S.Sato 佐藤周平 photo/Y.Higuchi 樋口勇一郎  
問い合わせ/フリーライド TEL0277-44-2286 <https://www.instagram.com/skullflight/>

真冬のライディングウェア

バイクを降りても  
暖かさはキープされる

冬季の長距離走行、高速走行を前提としたモーターサイクルダウンジャケットは、ライダーズジャケット感覚でコーディネートが可能。ダウンの保温性や軽さを活かしつつも、取り外し可能なムートンボアや補強を兼ねたレザーのキルティングパッド、サイドレースなどのタフなディテールをミックス。細身ながらも立体的なシルエットとストレッチ性で窮屈さを感じさせないブーツカットデニムとの相性も抜群。ストレスフリーで、エイジングまで楽しめるのだ。



MOTORCYCLE DOWN JACKET

8万5800円 ブラック

定番のオールブラックモデル。表面に撥水加工を施したグログランファブリックを用いているので、ダウンの大敵である雨もシャットアウトしてくれるので安心

ソデ口の部分にもレザーが張ってあるので強度は◎。フロントはダブルジップで乗車時も窮屈感はない



MOTORCYCLE DOWN JACKET

8万5800円 グレー

新色のベージュグレーが新たにラインアップされたモーターサイクルダウンジャケット。エリのムートンボアは取り外し可能で、温度調整できる

サイドレースでサイズ調整が可能。エリのボアは取り外し可能。負荷がかかる強度が必要な部分はレザーを使用







## ダウン&チャップスは 冬の最強コンビネーション

冬季の長距離走行、高速走行を快適に乗りこなすための機能性を熟知する「フリーライド」が、モーターサイクルダウンジャケットとともに推奨するのが、ライダーズチャップスだ。コーディネートのアクセントになるのは言わずもがな、防水透湿性に優れた機能素材、ウォーターフィールドと高機能保温材のシンサレートを組み合わせることで、オールウェザー仕様の防寒モデルに仕上げている。そこにハイテクレザーグローブを組み合わせればまさに最強。



### Ultimate Bone Glove

2万680円

ボーンモチーフの立体パデッドと桐生の職人による刺しゅうがアクセントになった冬季用グローブ。撥水加工のオイルドレザーと高機能素材のサイトのコンビ



ミトン部分は取り外し可能。グローブ内部のボアと合わせて極寒時でも快適



### Riders Chaps

2万2176円

各部に冬季の長距離走行、高速走行を考慮したライディングパターンを落とし込んだブーツカット型のチャップス。パラセット加工を施した厚手のビケを採用



ライニングには防水、透湿性のある「ウォーターフィールド」と保温材「シンサレート」を備える



### SS Pants Type6

1万8480円

長距離の高速走行を想定した設計になっている。ロングセラーのブーツカットパンツ。タイトながら立体的裁断で仕上げることで、ライディングポジションの際も窮屈さを感じない



立体的裁断でヒザを動かしやすい。バックポケットは2重でグローブなどをラフに差し込める



# Death's Head Cascade



*Langlitz  
Leathers*

Built in Portland Oregon, USA



**LANGLITZ JAPAN**  
<http://www.langlitzjapan.com>

*Call* 052.734.6918

LANGLITZ TOKYO 03-6427-2768  
LANGLITZ NAGOYA 052-734-6912





# 『乱暴者 (あばれもの)』

制作年: 1953年  
制作: コロムビア映画  
原題: The Wild One  
監督: ラズロ・ベネディック

バイクがらみの映画作品として、最もアイコン的な写真となったこの絵面。H-Dの歴史の中、数多くのバイクショップを廃業に追い込んだ問題作として語られているが、それも1950年代の時代性というものか。結果的にこの作品に触発されて、さまざまなカルチャーが生み出されるに至った。おそらくこの作品なくしては現在のバイクシーンはなかっただろう

## EPISODE 11 原点を意識せずとも、結果、 原点となった金字塔的作品

昨年末に日本でも公開され、絶賛公開中の『ザ・バイクライダース』の劇中、「ヴァンダルズ」という集団が結成されるキッカケのひとつに1953年の映画『乱暴者』について触れる場面があった。1965年という時代設定のヴァンダルズの創始者の視点では、それはリビングに置かれた小さなブラウン管のTVを通して観られたものだったとされているが、すでにその時代設定でも、『乱暴者』の公開からは10年以上の時間が経っているというもの。それは非常に身近な感覚の、リアルな描写だったように思う。

そもそもこの映画『乱暴者』は、1947年7月4日、実際にカリフォルニア州ホリスターという小さな町で開催された「AMA (全米バイク協会)」が主催する、「ジプシー・ツアー」というイベントの最中に発生したバイク乗り同士のいざこざが暴動じみた騒ぎに発展したことに着想を得たとされるもの。

1947年当時、第2次世界大戦に従軍した復員兵たちの中には報奨金によってバイクを購入、アメリカ国内を流浪していた者たちも少なくなかった。戦争にまつわるPTSD (心的外傷後ストレス障害) といった問題が社会的に話題となることもなかった時代、戦勝国であったアメリカ国内でも混乱というものは間違いなく存在したのだらう。それが50年代に入り、戦時下に主婦層が家庭を空け、パートタイムに動しんだことなどから発生した労働環境問題、いまだというネグレクトとも繋がる環境下で育った若年世代は、当時「断絶の世代」と問題視されるようになり、そこに『乱暴者』が公開された。

単にバイクが登場する映画として捉えられただけでなく、それはティーンネイジャーたちの反抗心に火を点ける

# Bikers CINEMA PARADISE

芸術的な価値はどうあれ、ハーレー談義のネタにあるいは物理メディアのコレクションとして、ガレージの棚の飾りか肥やしにピッタリな、そんな映画をテキストにゴジョーカイするぜ！

text/T.Kurokawa 黒川鉄仁



マーロン・ブランド演じるジョニーを中心に集まるB.R.M.C.の一群。当時としてヴィンテージを意識したわけでもないのに、ごく自然な感覚で観られるのは不思議だ

1947年7月4日のホリスターでの暴動、地元新聞とライフ誌に掲載されたようですが、後に政治的に利用されたようにして、「バイク乗り＝社会の脅威」というレッテルに繋がる



メアリー・マーフィーが演じるヒロインとロマンティックな場面は、映画としての質を高めた演出だとも思う。この作品の後、マーロン・ブランドはスターダムへと登りつめる

るきっかけにもなった。ビートニク、ロックンロールの黎明期、世の中のカルチャーが大きく変わり始めた時代、『乱暴者』という映画の存在は1955年『暴力教室』や『理由なき反抗』に先駆けた存在でもあり、そのインパクトは強烈だったようだ。そして、実在したヘルズ・エンジェルスの創始者であるソニー・バージャーも、マーロン・ブランド演じるナイーブな感性のジョニーよりも荒くれ者の敵役、チノにシンパシーを得ていたともいう。

ジョニーの敵役として登場する敵勢力の頭となるチノ。リー・マーヴィン演じるこのキャラクターにシンパシーを抱くバイカーも少なくない。1953年当時としては比較的新しいハイドラグライトに乗っている。ちなみにカラー画像では黄色と青のボーダーで写っている



免にも角にも50〜60年代、この『乱暴者』でのアウトローたちの姿は、何かの啓示のように観えたのだらう。そして結果的に、その影響はアメリカだけでなく、イギリスではロッキーズやグリニャーに影響を与え、またバイクだけに留まらず、ティーンズのポップカルチャー全般に影響し、ザ・ビートルズの『サージエント・

ペパーズ』のジャケットに映り、スーパースター・クワトロが曲にし、日本ではワイルドワンズなどというグループも生まれれば、梅宮辰夫にちゃっかりジョニーを意識させたボクスターの東映『不良番長』なんて映画にまで繋がっている。

とりたてて誰が意図したワケでもないだろうが、後の現実世界に大きな影響を残したこの映画『乱暴者』。神様の悪戯かと思えるほどに、その存在は偉大なんだよなあ。



# 銘品 図鑑

世には銘品と呼ばれる優れたプロダクトが、数多く存在している。そんなマスターピースを鉄馬乗りの目線でピックアップしていく。ハーレーライフをより充実させてくれる相棒になってくれることだろう。

# U.S.ARMED FORCES CWU-45/P

Vol.25

text&photo/S.Sato 佐藤周平  
問い合わせ / ミスタークリーン TEL090-2206-1755 <https://kurikurivintage.shop-pro.jp>

アメリカ全軍で使われる  
名作フライトジャケット

1950年代初頭より、当時としては画期的な化学繊維を用いたインターミディエイトゾーン（中間の温度域）向けのフライトジャケットとして象徴的な存在となった「MA-1」。今回ピックアップしたのは、そんな名作の後継モデルであり、「MA-2」というニックネームをもつ「CWU-45/P」である。

その始まりは、意外なことにUSエアフォースではなく、USネイビー。1973年に米国海軍が、ナイロンから難燃素材である「ノーマックス」にシエルを置き換えた新型のインターミディエイトゾーン向けのフライトジャケットを開発。ノーマックスは摂氏400℃の熱でも1分間は耐えられる性能をもち、パイロットが墜落や火

災に巻き込まれ

た際に少しでも生存率を上げることを目的として採用された。

これはハーレー乗りにとってもメリットが大きく、今回押している理由のひとつだ。

当初はCWU-45/Pとネーミングされておらず、「コールドウェザー・フライヤーズシステム・ジャケット」の略称で「J・C W F S」と呼ばれた。1975年から当ジャケットが米国空軍でも採



## CWU-45/P

2万2000円

1973年にUSネイビーが開発し、その後、エアフォースやアーミーなどの全軍で採用された歴史をもつ名作。MA-1の後継モデルで、ショート丈というシルエットはよく似ているが、リブから襟になり、ナイロンから難燃素材であるノーマックスに改良。2003年製





Point

## 豊富なポケット

座ったままでもアクセスしやすいポケットの配置は、ハーレー乗りにとってもアドバンテージがある。MA-1から継続される腕のシガレットポケットは言わずもがな、フロントにマジックテープ式のフラップ付きポケットがあり、収納したものが落ちにくい作りも魅力



Point

## ミルスベック

1973年に開発されたCWU-45/Pは、いまでも現役で使われており、ヴィンテージ市場でもタマ数が多い。しかし民品なども多いため、より機能性を求めるのなら、ミルスベックを狙いたい。近年相場が上がっているが、まだ手の出しやすい価格帯

# フライトJKTの完成形となる銘品。

用されると、その後USアーミーや海兵隊などの全軍で使われるようになり、強きアメリカのミリタリーを象徴する存在となった。1977年のモデルチェンジよりCWU-45/Pのネーミングが付き、これはAモデルと呼ばれている。

その後、数年毎にマイナーチェンジを重ね、1983年にモデルチェンジされたCモデルでは、開発当初から採用されていたアクションプリーツが廃止された。ハーレー乗りとしてはあつた方がよいデイトールだが、コクピット内で引っかけのケースが多発したため、安全面から廃止されてしまったようだ。ヴィンテージで探すなら、年代判別ができるデイトールのひとつであるし、あえてアクションプリーツ付きを探すのも一興。ただタイトなシルエットではないため、よほどタイトなサイズを選ばなければ、Cモデル以降でも十分な運動性がある。

現在も現役で使われているフラ

イトジャケットのため、ヴィンテージ市場でも在庫はあり、さらにオリーブだけでなく、ベージュのカラーバリエーションもあるため、探してみるのもおもしろい。近年はショート丈のジャケットが流行っている影響で値上がりしているが、それでもまだ手の出しやすい価格帯であり、その性能を考慮すれば、コストパフォーマンスが高いといえるだろう。

このCWU-45/Pは、マイナス10℃～10℃に対応するインタミディエイトゾーン向けの保温性であるが、1978年にはほとんど同じデザインで、ライトゾーン用の「CWU-36/P」も採用されている。MA-1と「L-2B」の関係性と同じで、後者には中綿と防風フラップが付いておらず、夏季向けのサマーフライトジャケットという立ち位置だ。ハーレー乗りのライトアウターとしても最適なジャケットなので、CWU-45/Pとうまく使い分けるのもオススメである。

鐵一馬一乗一りの銘品図鑑



Point

## アクションプリーツ

1973～1982年ごろまでのCWU-45/Pには、アクションプリーツが配されており、ハーレー乗りにとってはうれしいポイント。コクピット内で引っかけのケースがあり、事故防止の観点から廃止されたそう。年代判別する際の材料にもなる

ミルスベックとして支給されたフライトジャケットには、各部隊のワッペンなどでカスタムされている個体も散見される。CWU-45/Pは、シンプルなデザインなので、カスタムされていても派手さがなく、コーディネートしやすい

## カスタム



Point



## SALES POINT



いま再注目されている「エボ」を搭載

1984～1999年まで採用されていた排気量1340ccの「エボリユーション」エンジンを搭載。「ツインカム」以降との違いは多岐に渡るが、特筆すべきはバルンサーを採用していないことだ



最新の技術で再構築した「スプリングーフォーク」

H-Dが1948年まで採用していた前時代的なスプリングーフォークを装備。これは当時の部品を複製したものではなく、コンピューターを駆使して再設計した現代版。フォグランプなどの豪華装備も特徴だ



フリンジつきのシートとバッグを装備

1940年代のハーレーをイメージしたサドルシートを採用。シートとサドルバッグには当時のオプションパーツに見られたコンチヨやフリンジをあしらって、豪華な印象を強調している

# いまが買いドキ!? ちょい旧ハーレー調査隊

今月の調査対象

FLSTSヘリテイジ スプリングー

スプリングーフォークを装備していた1948年以前のヴィンテージハーレーならではの、現代のモデルにはない美しい佇まいはとても魅力的だ。しかし、相当な年代モノだけに自分で実際に所有するのは気が引けるというのも事実。そこで調べたところ「FLSTSヘリテイジ スプリングー」の雰囲気がとてもよかった。というワケで「クラブハーレー調査隊」の諸君、ヘリテイジ スプリングーがいま実際にどうなのか調査してほしい。よろしく頼むぞ。

350万円

年式: 1998年モデル

走行: 17623km

※Beat&C世田谷店にて販売中



エボの中でも人気の高いモデル。旧さを感じさせない超極上な一台です!!

FLSTSの平均価格

273万6500円

※「バイク王」が2021年11月～2024年10月末までに販売した車両本体価格の平均値

販売店からの声

● 今月の調査は「FLSTSヘリテイジスプリングー」です！  
 ● なるほど、そう来たか……。  
 ● ……どんなモデルなんですか!?!  
 ● いにしえのスプリングーフォークを現代に複製した「FXSTSソフトテイルスプリングー」が初めて登場したのは1988年。でもそれは、カスタムが好きな層を狙ってチョップパー風のスタイルを採用していたんだ。歴史の長いハーレーだけに、昔ながらの純正スタイルを好む層も少なくないワケで、そんなファンに向けて1997年に登場したのがこのモデル。前後16インチホイールや深く覆いかぶさるデュープフェンダーを採用して、スプリングーフォークを標準装備していた1948年以前のスタイルを蘇らせたんだ。では、さっそく調査を始めよう！

—— 週間経過 ——  
 ● ……おなじみの「バイク王」さんによると、現在の平均価格は【273万6500円】だそうです。  
 ● ……実際はどうなの？  
 ● ……これが難しいんですよ……。このモデルは2003年まで販売されているので、「エボリユーション」

Reserching



Used Harley of The World

text/T.Amemiya  
 雨宮武  
 photo/T.Masui  
 増井貴光

隊員A宮

ハーレーの歴史やカスタム系のネタが得意分野だという真性のバイクオタ。愛車は69カマロとXR1000

隊員N尾

ハーレーそのものより、実は周辺の文化やファッション系のネタに通じる隠れミーハー。愛車はXL883改1200

volume.72  
 FLSTS



調査協力SHOP  
 Beat&C 世田谷店

東京都世田谷区  
 等々力2-6-2  
 TEL03-6432-3480  
<https://www.8190.jp/wish/ds/beat>  
 営業時間:  
 10時30分～19時、  
 10～19時(土、日、祝)  
 定休日:火曜

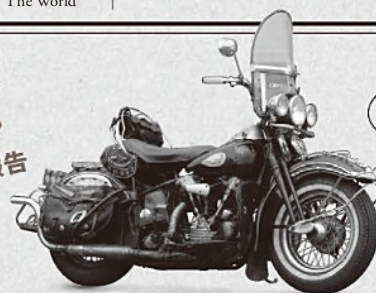


## チョッパー風ではない

## 正統派スプリンガーモデルが誕生!!

1948年までハーレー社が採用していたスプリンガーフォークは、ストローク量が少なく、路面からの衝撃がスプリングだけで収まらず、最悪フォークが折れるトラブルもあった。そこで十分な強度を得るためにコンピューターを駆使して再設計。材質も柔らかく、密度の高い軟鋼を使用することで折れ

にくした現代のスプリンガーフォークを開発。1988年に登場した「FXSTS スプリンガー ソフトイル」に初めて採用されたが、それはチョッパーテイスト色が濃いモデルだった。そこで1997年に登場したのが「FLSTSヘリテージ スプリンガー」。1940年代の純正スタイルを再現した、正統派モデルだ。



1940年代のハーレーをイメージ

### 【1997~2003】FLSTSヘリテージスプリンガー

フォグランプとホーン、マーカーランプでクラシック感を強調



小径ホイール用にスプリンガーフォークを再設計



16インチ用 (FLSTS)

21インチ用 (FXSTS)

前後16インチホイール & ホワイトリボンタイヤ



コンチョとフリンジで装飾したシート & サドルバッグ

ヴィンテージモデル風のサドルシート

トゥームストーンテールランプを装備



左右2本出しのフィッシュテールマフラー

前後にディープフェンダーを採用

## 「ツインカム」に世代交代して以降も

## 販売は継続された

ヘリテージ スプリンガーといえば「エボリューション」エンジンのモデルという印象が強いが、ソフトイル全モデルにツインカムエンジンが搭載された2000年以降も販売は継続された。また、その翌2001年にも若干の仕様変更を受けた。このモデルのアイコンでもあった外装パーツに太いストライプが入ったデザイン、そしてシートとサドルバッグのフリンジが廃止され、新たなデザインに刷新されたのだ。ヘリテージ スプリンガー販売期間中に行われたモデルチェンジの中で見ればごく小さなものだが、フリンジがなくなったことでだいぶスマートな印象に変貌している。



ツインカム元年の2000年はフリンジあり!



2000年モデル

サドルバッグのデザインを変更

シートのフリンジを廃止

フェンダーとタンクのグラフィックを変更

マフラーはテーパータイプに

2001 ~ 2003年モデル

### 調査結果

プレミア度:	★★★★★
お買い得度:	★★★★★
審美眼必要度:	★★★★★

エボリューションからツインカムと世代をまたいで販売されたモデル。現在はエボに人気が集まっており、平均価格も100万円近く差がある。とはいえツインカムも絶版のスプリンガーフォーク装備に加え、最後のキャブレター車ということもあって200万円台オーバーも珍しくない。今後はツインカムもプレミアム価格になっていくことも考えられる

ン」と「ツインカム」という2種類のエンジンが存在していますが、エボで大体290万円前後、対してツインカムは200万円前後と価格差が大きいんですよ。中でもエボは「95周年記念車」がプレミア価格になっている場合もあって、400万円を超える個体も。A…もはやエボリユーションも立派なヴィンテージ価格だねえ。N…人気もあるから、新規で輸入された個体も多く、現在の市場はエボのほうが豊富なくらいですよ。A…そのおかげか、オリジナル度の高いエボが市場に増えたようだよ。コンディションを含めて現在はエボのほうが選びやすい状況といえる。逆にいえば、お買い得価格のツインカムで状態のいいものがあるれば「買い」かもしれない!



# ローライダーS&ST オーナーが大集合!!



人気モデルの  
生みの親

## ダイス・ナガオ氏が ファンの集いに参戦!!

人気の「ローライダーS」と「ローライダーST」を手がけたH-D社で唯一の日本人デザイナー、ダイス・ナガオ氏と実際のオーナーたちによるツーリングが実現! その模様をお届けしよう。

text/T.Morita 守田二草  
photo/S.Ise 伊勢悟



楽しいね~



最新のローライダー ST を駆って、新宿のハーレーダビッドソン ジャパン本社を出発したナガオ氏。首都高のビル群を抜けて、東名高速道路を走り、小田原厚木道路を経て箱根ターンパイクへ。ワインディングを楽しみながらバイカーズパラダイス南箱根を目指した

愛車の生みの親と、その  
オーナーたちが共に走る!!

ハーレーダビッドソン社でチーフデザイナーを務めるダイス・ナガオ氏は、唯一の日本人デザイナー。「アイアン 883」や「ローライダー S (ダイナ)」などの人気モデルを手がけてきたことでも知られている。2020年には「ソフテイル」に生まれ変わったローライダー S を、22年には新作カウルを装備して登場したローライダー ST もデザイン。世界的に大ヒットし、日本でもそのオーナーによる「LRS & LRS T オーナーズクラブ」が爆誕! 定期的に全国各地でイベントを行っている。

昨年12月7日、日本視察に来日したナガオ氏と一緒に走るショーツーリングが開催された。集合場所は静岡の湯河原峠にある「バイカーズパラダイス南箱根」だ。当日は全国からローライダー S & ST オーナーが集結。ナガオ氏を囲んでランチ&交流会が行われた。この日集った全員は、ナガオ氏が手がけたモデルを通じて知り合った仲間たち。ファンのサインや写真撮影を求める声にナガオ氏も快く応じていた。

その後、箱根ターンパイクから伊豆スカイラインを周遊するショートツーリングも行われ、少し肌寒い冬空の下であったが、オーナーたちの笑顔であふれた。



## ローライダーS&STオンリーの クラブが箱根に集結!!

「LRS&LRST OWNERS CLUB OF JAPAN」は、ローライダーS、ローライダーSTオーナーならば、誰でも参加できるフラットでフランクなグループ。全国でツーリングやミーティングなどを開催している。この日はナガオ氏の来日に合わせて、ショートツーリングが実現! バイカーズパラダイス南箱根にオーナーらが集合し、ナガオ氏を囲んでのランチと交流会、さらには撮影会も行われた



### 皆と一緒にランチを堪能

ライダーのコミュニティ施設バイカーズパラダイス南箱根では、館内にカフェが併設されており、焙煎したての絶品なコーヒーと軽食を楽しめる。この日は名物メニューのピザとカレーでランチ。寒さの中、走ってきたナガオ氏と参加者たちで温かい食事と会話を楽しんだ



### 突如始まった サイン会(!?)

ローライダーSやローライダーSTオーナーにとって、ナガオ氏は愛車の生みの親。会場に到着早々、ナガオ氏のまわりにはサインを求めるファンが集まった。サインやツーショット撮影に快く対応。ファンにとってハレのデザイナーはレジェンドであるウィリー・G・ダビッドソンと同様にリスペクトの対象だ



### ショートツーリングも楽しんだ

湯河原峠にあるバイカーズパラダイス南箱根を起点に、亀石峠を周遊して戻る約50キロほどの距離を走行。県道50号の熱海箱根峠線を南下し、十国峠、熱海峠を越えて伊豆スカイラインを通り、亀石峠で折り返すコース。冬支度の始まった山々の景色を眺めながら、ワインディングを楽しんだ







HARLEY DAVIDSON

# X350 Sporty Touring Style



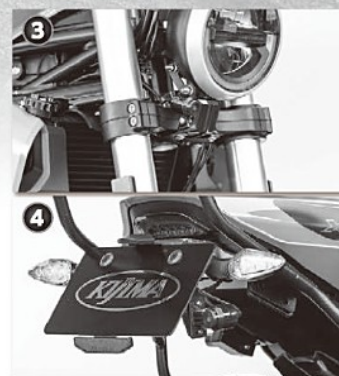
## ① マウントバスター

HD-04691 ¥7,480  
スマートフォンホルダーなどを設置し易いマウント用のバー  
パイプ径: 22.2mm / 有効長: 100mm / 最大積載量: 1.0kg  
材質: スチール製 色: マットブラック



## ② TECH11 オーバルエッジミラー

203-8090 ショートシャフト ¥12,100  
203-8091 ロングシャフト ¥12,100  
アルミダイキャスト製ボディと平織りの艶消しカーボンプレートとのコンビシット仕様のミラー。X350への装着は純正ミラーアダプターを介して付属のM10逆ネジをご使用ください。



## ③ ドラレコカメラステー フロント

HD-06710 ¥3,080  
対応ドライブレコーダー:  
キジマ製AD720/1080J・ミツバサンコーワ社製  
材質: スチール 色: ブラック

## ④ ドラレコカメラステー リア

304-5190 ¥2,750  
フェンダーレスキット装着時など、テールランプやカウルとのクリアランスが少ない車両向け。  
対応ドライブレコーダー:  
キジマ製AD720/1080J・ミツバサンコーワ社製  
材質: スチール 色: ブラック



## サイドスタンドエクステンション

HD-03134 ¥7,700  
ステップの強に隠れてしまう純正のエクステンションからさらにエクステンドサイドスタンドの出し入れ操作性が格段に向上いたします。



## ヘルメットロック

HD-05155 ¥4,400  
あとと便利なヘルメットロック。ショッピングなど少し離れた際に重宝します。



## アシストリアキャリア

HD-082601 ¥31,900  
大容量バッグの積載時に本鎖発揮するアシストリアメインの積載をタンデムシートとし、はみ出た部分をアシストするキャリア。



## フェンダーレスキット

HD-01397 ¥17,600  
リアまわりをスッキリカスラムするフェンダーレスキット。

## Smart Display SD01



かんたん操作でスマホの地図アプリや音楽再生、画像表示、通話操作ができるオートバイ用ディスプレイオーディオ！  
便利なスマホの機能を使いながら振動・脱着・雨や熱などのトラブルから高価で大切なスマホを守ります！

防水仕様のインサートIPS液晶モニターを採用。視野角が広く、日差しににくい高輝度IPS液晶の採用で日中でも見やすい。本体への電圧供給はUSB2.0でも可能なので使いやすい！

インサートディスプレイは取り付けやすい構造のタッチ/クリック操作でスムーズな操作が可能です。

付属マウントは純正アクサマウント仕様に、重量を考慮し、しっかりと固定できます。(クランプマウントは22/25/28/31 対応)



## USBポートキット USB-A

304-6303 ¥6,600  
パイプ径22.4mmにクランプ可能なUSBポートキット。ポートの向きが90°可変。狭い場所やハンドルへ合わせてご使用いただけます。



## オイルフィルター マグネットイン

HD-08708 開発中 ¥1,650  
対応純正品番: 260146090020  
【サイズ】外径67.9mm 高さ65.5mm  
【色】ブラック  
※フィルターレンチは68mm 14角をご使用ください。



モーターサイクル総合開発メーカー  
株式会社 キジマ  
〒123-0841 東京都足立区西新井 4-16-3  
Tel.03(3897)2167 Fax.03(3897)2138

最新情報満載！  
キジマ公式メディア  
www.tk-kijima.co.jp

キジマカタログ2024-2025  
好評発売中！  
A4カラー443ページ  
定価 ¥2,200 (税込)



○掲載商品の価格、仕様等は改良の為、予告なく変更する場合があります。○掲載商品の表示価格には消費税が含まれております。○掲載商品は全国有名代理店にてお求め頂けます。○業者の方で最新商品ニュースをご希望の方はTEL・FAXにてお問い合わせ下さい。○製品に関するご質問・ご不明点等ございましたら下記までお気軽にお問い合わせ下さい。TECHNICAL TELEPHONE SERVICE (TEL.03-3897-2228 受付時間 月～金 10:00～18:00 祝祭日除く)

全年度最新オートバイ・部品・アクセサリー・情報誌にてお買い求めください。  
個人の所有物は当社通販サイトからもご購入いただけます。







ライダーに愛されて25年 その機能美は健在。  
愛車をがっちりガードします。  
信頼のブランド“ボックスシェロー”

### BOX SHELLO 116 大好評ミニマムガレージ

本体外寸: W1160 x H2070 x D2630 定価: 本体 420,200 円 (税込)

### BOX SHELLO 定番のサイズ

本体外寸: W1370 x H2070 x D2630 定価: 本体 429,000 円 (税込)

### BOX SHELLO DW どんなバイクも入ります

本体外寸: W1530 x H2070 x D3050 定価: 本体 497,200 円 (税込)

### 共通仕様

付帯装備: スロープ・防犯バー・ラバーマット・スタンドプレート  
鍵: シャッターディンプル鍵・防犯バー / スロープ左右中3ヶ所(南京錠別売)  
組立設置費: 46,200円(税込)~ ※ アンカー工事費別、要事前ご相談  
送料: 11,000円(税込)~

ボックスシェロー

検索



3重ロック



防犯バー



スロープ



### BOX SHELLO お問い合わせ・ご購入先

スミタスパートナー株式会社	011-374-6229	〒060-0807 札幌市北区北7条西5-5-3-4F
有限会社デポネットワーク	022-393-8841	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2-5-14
正剣株式会社	027-371-8673	〒370-3102 群馬県高崎市箕郷町生原1183-2
文化シャッターテクノ株式会社	0120-236-149	〒346-0005 埼玉県久喜市本町4-9-12
丸栄工業株式会社	048-783-8555	〒352-0058 埼玉県上尾市大字上野995
株式会社トップエクステリア	054-258-2310	〒421-0115 静岡県静岡市駿河区みずほ1-35-2
株式会社バルモ	06-6921-4708	〒534-0021 大阪府都島区都島本通3-6-21
株式会社ライズグループ	092-718-0707	〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-10-14 1F

SHELLO<sup>®</sup>  
PORT OF THE SPIRIT

BIKE PARK

シェローバイクパーク(SBP)

shellobikepark.com



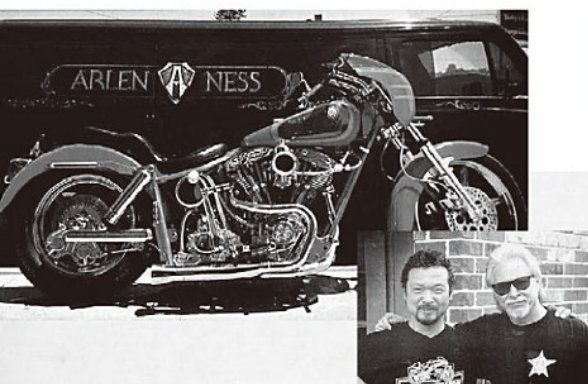
シェローインフォメーションセンター

03-5738-0388

<http://www.shello.co.jp>



# RED-SHOVEL RISING



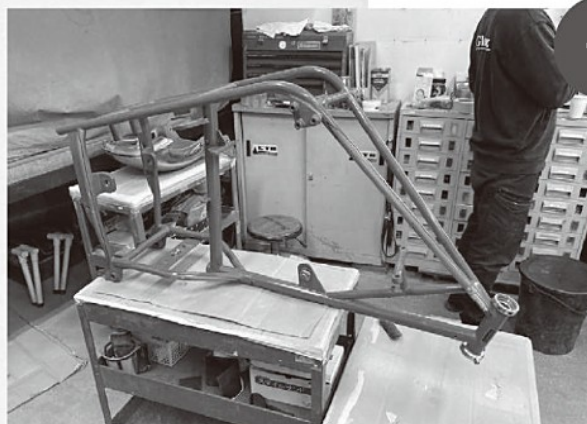
text&photo/M.Watanabe 渡辺こと  
取材協力/サンダンスエンタープライズ TEL03-5450-7720 <https://www.sundance.co.jp/>  
グランツ TEL042-625-7511 <https://glanz-paint.com/>

## RED-SHOVEL RISING

**今回はエアブラシが登場。  
修復作業は続くよどこまでも**

一見すると遅々として作業が進まないように思える当コーナー。ついぞ先日、とある読者の方から「いつも楽しみにしてます」という奇特なご意見を頂戴することになったのだが、「はたして毎度、毎度、フレームの写真ばかりが載っているこんなページの何が面白いのやら」と執筆者自身のワタクシが素直に喜べない相変わらずの進行状況となっている。

そう、今回で連載11回……というコトは本誌『クラブハレー』で1年間のリーチとなる状態なんであるが、今回も内容はフレーム



vol.  
11

**なんも進んでないように見えて、実はジワジワ作業中っす**

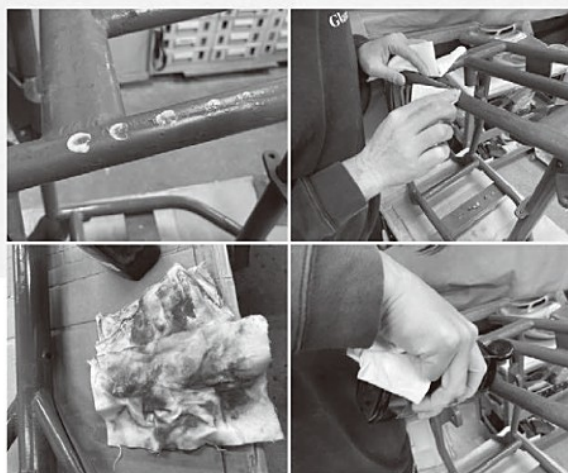
毎度、毎度、フレームの写真ばかりの当ページでございますが、ゆっくりジワジワと進行中。今回は車体の底にあたる箇所をタッチアップすべく下逆さまでの作業でございます。しかし、変わり映えしねえ画ヅラだなあ

のペイント修復。時代劇の『水戸黄門』での由美かおるの入浴シーンの如く毎回画ヅラが続いているのだが、剥がれた部分をタッチアップをしつつ、その箇所のシンナーがペイントに反応し、塗膜がシワシワとなり、再びタッチアップをし……という作業を繰り返しているのが現状である。

まあ、年末恒例の

『NHK紅白歌合戦』の中でチータこと水前寺清子サンが「365歩のマーチ」にて「さくんぼ進んで二歩さがるう〜♪」などと昭和の時代には歌っていたもんだが、いまのレッドショベル再生記はまさにそんな状態。いまも歩けど歩けどシアワセが歩いてこないどころか、フレームの塗膜シワシワ地獄にハマっている次第だ。

で、今回はそんな現状を打破すべく、前号の予告通りにいよいよエアブラシでの修復作業に突入することになったのだが、コレがなかなかシロウトには難しい作業。その手順をば説明するとレッドショベルの配色どおりに配合された塗料をエアブラシの塗料カップに



フレームをならすべくコンパウンドの「ブライト0」を用意。親父にも殴られたことのないアムロの如く、いうコトを聞かない塗膜の性根をコイツで叩き直します

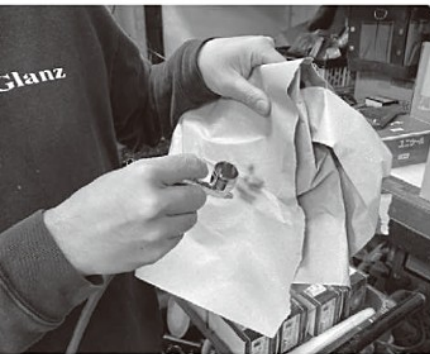


まるでケーシー高峰やデビュー当時のナンチャンのホホのようにボコボコとなったフレーム下部。まずはコイツをツルツとキレイに整えマス

塗膜が剥がれすぎないように、まずは慎重に作業を敢行。「ブライト0」を塗り、ウエスでフキフキするだけでブッチャーの「血拓」のような状態になってしまった



## RED-SHOVEL RISING



まず初挑戦のエアブラシの使い方を受講。トリガーをグッと押し込むとエアが吹きだし、それを手前に倒す角度で吐出量を調整します

タッチアップ後、シワシワになる塗膜をやっつけるべくエアブラシが登場。愚零闘武多の毒霧の如くコイツを吹きつけて補修します



## RED-SHOVEL RISING

注意、トリガーをグイッと押し、愚零闘武多の毒霧の如くブシューッと吹きつけるだけといえただけなのだが、エアの調整や吐出量を誤り、吹けつけ過ぎなどをすれば塗膜がシワシワになるどころか、たちどころにエア圧でパキッと塗料が剥がれてしまう問題が発生してしまうのである。

ちなみにこのエアブラシというヤツはペン先のようなハンドピースに取り付けてあるトリガーを押すと、まずはエアだけが飛び、そのトリガーをグイッと手前に倒す



グラントツの中島パイセンがエアブラシのお手本を披露。その名の通りエアを吹きつけつつ作業するので乾燥時間もかなり早いっす

と塗料が吹きだすという構造になっているのだが、この微妙なサジ加減がシロウトたるワタクシめにはナカナカに難しい。手本を見せ

てくださいった「グラントツ」の中島パイセンが吹きつけると微妙に塗料を吹きつけつつ噴射されているエアで同時に塗装面を乾かすというプロならではの技でキレイな仕上がりにな



乾燥を待ちきれないマコナベのためにヒートガンの使い方も講義する中島パイセン。カリスマ美容師のような立ち振る舞いっす

タッチアップを繰り返し、シワシワに浮いた箇所は再び1200番のペーパーで磨いてやることに。地味な作業がひたすらに続きます

マツタケ変わったように見えませんが……

ろはペーパーがけをし、塗装が剥がれたら再びエアブラシを吹き付けという感じで今回の作業を繰り返したのであるが、まさにこの状況は無限地獄。「二体なんの罰を受けているのやら」と思いつつ一日中エアブラシを吹き続けたのが本音なのであるが、コイツもどこかキリのいいところで終えなければ先の作業が一步も進まないのは確実だろう。

まあ、ほかにもフレイムのオレンジ色のグラデ部分や剥がれたピンスト部分を修復しなければなら

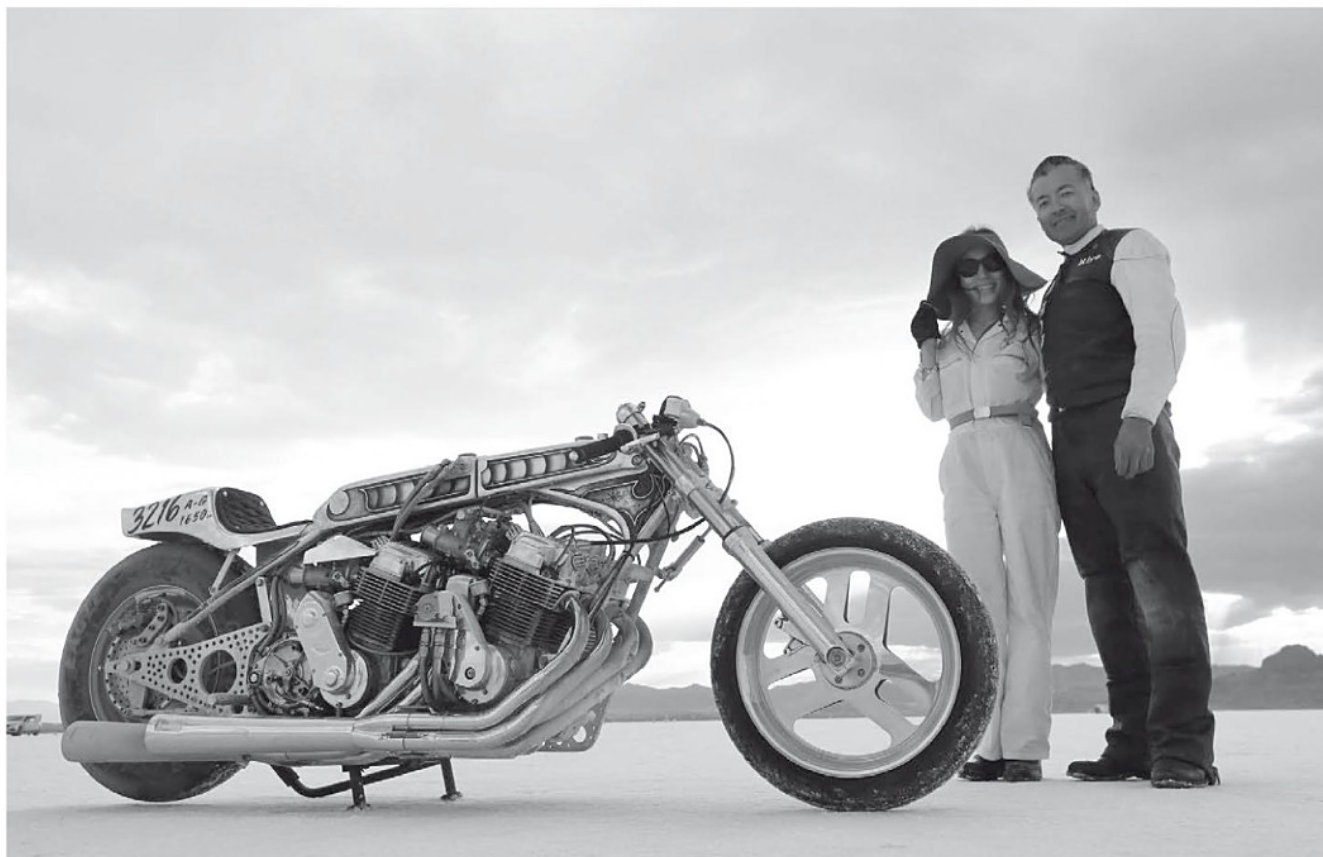


このページ、最初のカットとまったく変わってないように思えるが、一步は前進したレッドショベルフレーム。闘いはまだ続きます



# 旅とハーレーと日々の風景 LIFE at THE BLACKTOP

旅の途中や日々の撮影、アメリカでの経験など、日常で感じたハーレーシーンを  
自分なりの目線で紹介したい。ロングラン、カスタム、レースなど盛りだくさんで走ります！



| Episode 116 |

## Bonneville to Yokohama

「キヨズガレージ」を経営するキヨさんと初めて逢ったのは、2000年にロサンゼルス「ガレージカンパニー」を訪ねたときだった。当時は観光で訪米していたキヨさんが、ガレージカンパニーにちやうど立ち寄ったタイミングだったと思う。数年後に再度訪ねると、ガレージカンパニーでキヨさんがメカニックとして働いていた。その後2014年だったか、「ホットロッドカスタムショー」で再会。そのときは立ち話をした程度だった記憶がある。

次の機会は、17年の夏に訪れた。10年からボンネビルで開催される「スピードドライアルズ(BMST)」には通っていたものの、ボンネビルで最もメジャーなレースである「スピードウェイ」には行ったことがなかった。そんなときレーサーの宮城光さんから連絡がきて、スピードウェイに同行しないかと誘いを受けた。この年は、スタージスにも行く予定だったが、LAに戻るちょうどボンネビルへの出発とタイミングが合うこともあってふたつ返事で引き受けた。実はLAに着くまで宮城さんがどんなバイクでスピードウェイに参加するのか聞いていなかった。クルマを借り、いわれたアドレスへ到着してみると、そこがキヨズガレージだった。しかもキヨさんが製作した「GEKKO(月光)」で走ることをそこで初めて聞かされる。チューニングしたホンダ「CB750フォア」のエンジンを2基搭載した1620ccのホットロッドなランドスピードレーサーだ。翌日には宮城さん、キヨさんと奥様のKatさんとともにボンネビルへ。完



# LIFE at THE BLACKTOP

by TAKA MASUI



Sunny Storm

KatさんはホンダCB175（1963年モデル）をベースに製作された「晴嵐」でエルミラージュでのSCTAドライレイクレコードを約169キロで獲得。僕が行けなかった24年のスピードトライアルズでAMAとFIMのレコードも樹立した。ヴィンテージの小排気量モデルとしては驚くべきスピードだ



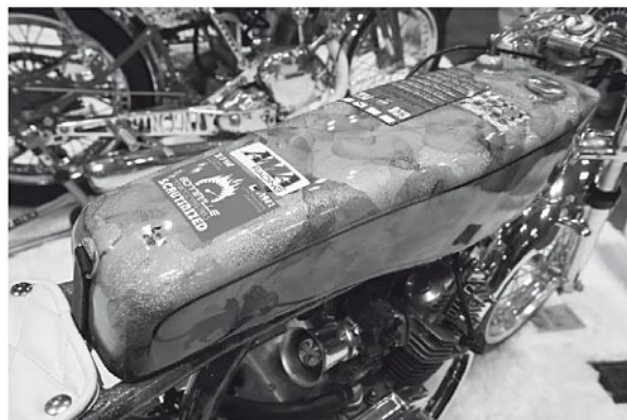
Kiyo and Kat from California

LAからHCS2024のために来日したKiyo's GarageのキヨさんとKatさんご夫妻。キヨさんは、2024年にエルミラージュで開催されたレースに、チョッパーとして見ても美しいナックルヘッドを搭載したランドスピードレーサー「秋水」を駆って時速225キロで最高速レコードを獲得している



RIP Sam Okamoto

17年のスピードウィークでお世話になったSam岡本さんが12月にLAで永眠された。笑顔を絶やさない方でマツダ「ミアータ」のランドスピードレーサーでボンネビルに挑戦。ルート66のエッセイ集を出版されていたこともあり、もっと話を聞きたかった。ご冥福をお祈りいたします



Bonneville land speed records

CB750Fourのエンジンを2基搭載した「月光」は、エルミラージュで276.9キロ、ボンネビルで18年に258.9キロを出している。当時はストックに近い外観だった「晴嵐」は、美しくカスタムされBMSTにデビューし、FIMの世界記録とAMAのアメリカ国内記録を塗り替えた



フォトグラファー  
増井貴光

二輪メディアを中心にマルチに活躍するフォトグラファー。アメリカ・ユタ州のボンネビルで開催されるランドスピードレースに通い出して14年。2017年に写真集「bonneville」をbueno!booksより出版

全にアウェイだったスピードウィークだが、彼らや「チャボ」の木村さん、そしてここで出会った新しい友人たちのおかげで撮影も上手いき、かなり楽しく過ごすことができた。

24年のホットロッドショーの会場を歩いていると見たことがある雰囲気、バイクを見つけた。床には白いカーペットがひいてある。近くに行くと7年ぶりのキヨさん夫妻を発見。何も情報がなかったのだから驚いた。話すと24年は、スピードウィークだけでなくBMSTにもエントリーし、Katさんは「AMA」と「FIM」の最高速レコードも獲得したとのことで再度驚いた。僕は、今年のレースは事情があつて行かなかったのだが、それをかなり後悔してしまつた。さらに二人からは「僕がいると思つて楽しみにしていたのに」とも言われてしまつた。この話をBMSTを走つた仲間になると、「だからタカさんは、行かなきゃいけないですよ」と追い討ちをかけられた。25年は、2年分のつもりでスピードウィークとBMSTの両方に参加したいものだ。

最後に、17年のスピードウィークでお世話になったSam OkamotoさんがLAのご自宅で亡くなった。謹んでご冥福をお祈りいたします。



( 今回のテーマ )

# 極めて個人的な趣味で選ぶ HCS2024の注目カスタム

text&photo/T.Amemiya 雨宮武

FROM  
EDITORS  
H-D

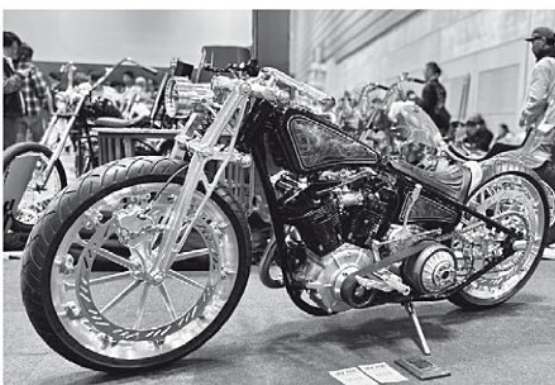
偏愛主義

Harley-Davidson Partiality



## このドラッグレーサー、ちょっと美しすぎない？

チョッパー屋「シウクラフトワークス」のドラッグレーサー。  
細部まで美しく作り込んだ仕上がりは、まるで往年のアレンネス



## 前後「リムオンディスク」のケンズ流ナックル

「ケンズファクトリー」には珍しい (!?), ナックルヘッドベースの一台。独創的な足まわりはハイテック系カスタムの極み



## 何なのこのエンジン!? 只者じゃないカフェレーサー

スポーツスター好きなら見逃せない「スポーティガレージ」は、  
アイアンの腰下にナックルの腰上を組んだ謎すぎる一台を展示



## これは乗ってみたい!! と思わせるバンヘッド

個人的に最も刺さったのは「ジョイライド」製作のショベルパン。  
パフォーマンスを感じさせる仕上がりで、純粋に乗ってみたい!!

HCS2024で最も私に刺さったのは「ジョイライド」製作の一台。いわゆる往年の4速フレームをベースにしたパフォーマンス方向に振ってレーシーに仕上げたカスタムは初めて見たかもしれない。いわゆる国産旧車をベースに現代のかつスポーティにカスタムしていくのにも通じる方向性ではあるが、かなり好み。精神的にサーキットでハーレーを走らせている実力派ショップだけに、そのポテンシャルも確かなはず。こん

ハレー専門誌の編集者ではなく、一人のバイク乗りの意見として受け止めてもらいたいんだけど、個人的に「カスタム」はかなり好きな部類だが、正直トレンドとかにはまるで興味が無い。自分の中での流行り廃りはあるが、世の中のそれとはまったく別モノ。「第32回ヨコハマホットロード・カスタムショー2024」(以下、HCS2024)に並んでいたバイクは、ある意味いまの世間のトレンドを反映したカスタムといえるが、どんなに技巧がスゴかろうと、所詮はバイク。カッコいいことも大切だが、同時に乗ってみたい!と思えるものでなければ私の心は揺さぶられない。今回ここで紹介しているハーレーは、そんな私をとぎめかせた車両たちだ。

カスタムショーを見て  
想像を膨らませるのが楽しい

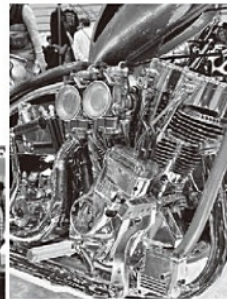
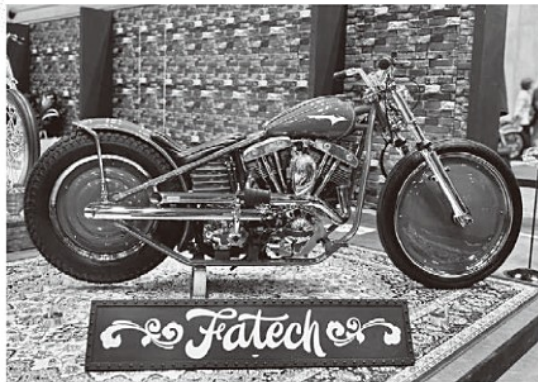




✎ [EDITOR]

雨宮武 Amemiya Takeshi

いわゆるエンスー的なバイクとカスタムが大好きな本誌副編集長。基本的にスポーティに走れるバイクを好みつつも腕にはまったく自信なし



こんなショベルヘッドに惹かれる!!

「フェイテック」のボバーはジョー・ベトラリが駆ったレーサーを彷彿とさせる仕上がり。シウンのチョッパーはデロルト製キャブ2連装で走りを意識した作り込みがクール

／ガチで乗ってみたい!!／



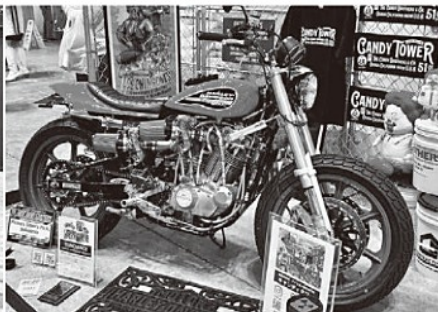
乗り味が気に入らすぎるナックル

ほぼフレームむき出しという軽量でソリッドな車体のダートレーサーは「ハマーサイクル」による一台。エンジンはナックルベースの単気筒仕様なのか!?



フラットトラックこそ  
正統派のアメリカンスポーツ

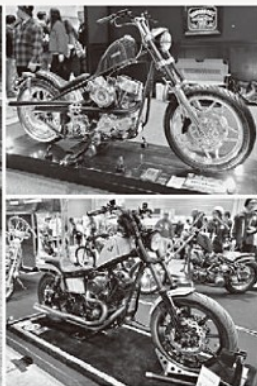
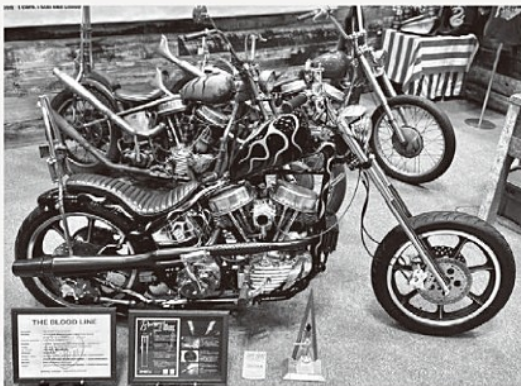
アメリカン雑貨を扱う「キャンディタワー」が展示したのは「サンダンス」のスーパーXR-DT「スコッティ」。「チーターカスタムサイクルズ」はフレームから製作したビューエルプラスト。どちらもかなり刺激的だ



最近、猛烈に  
フリスコが  
気になります!!

パフォーマンスを  
匂わせるのが  
最近のトレンド!?

食い気味に覗き込んでしまったのがフリスコスタイルのチョッパー。最近ではパフォーマンス志向が人気なのか、足まわりにレーシーなパーツを使用したものが目立った



最近の個人的なトレンドでいえば「フリスコ」も気になる。正直チョッパーはいままで自分の選択肢になかった分野だが、走りを意識したカスタムを見て以来、抱いていたイメージが変わった。とにかく興味津々。もし自分が乗るならジッドフレームは腰をいわしてしまいうだし（見た目は好みなのだが）、「ソフテイル」系モデルをベースにするのが現実的だろうか。だとしたらエンジンは「ショベルヘッド」ではなく「エボリューション」!? なんて感じで、リアルに自分が所有することを想像してしまふ。やはり乗って面白くなければ! 私51歳になり、あと何年バイクに乗れるだろう...: なんてことも頭によぎるようになった。だからこそ、カッコいいことはもちろん、ヤセ我慢せずに楽しめるバイクに惹かれるのだ。

また、「チーターカスタムサイクルズ」のビューエルもヤバかった。プラストのエンジンが巨大に見えるほどにコンパクトに仕上げた車体は走りも刺激的に違いない。その点でいえば「サンダンス」のスーパーXRはずっと気になる存在。いつかは「C&Jフレーム」の走りを体験してみたいものだ。

なパンヘッドでスーパースポーツを追いかけたらさぞ痛快だろうなあ。個人的にはこのスタイルでセパレートハンドル仕様だったらさらにツボに刺さりそうだった。





( 今回のテーマ )

# トラブルから始まった ツーリングで タイの人たちの優しさを知る。

旅先で助けてもらった経験は  
ずっと覚えているもの

2010年1月、タイ・バンコクで行われた「バンコクモーターバイクフェスティバル」に合わせて、チェンマイからバンコクまでをハーレーで走ろうという企画に招待してもらい、僕とカメラマン仁田さんとふたりでこのツーリングに参加した。僕はこのイベントの仕掛人であるリーさんやアメリカ、ヨーロッパのメディアのスタッフとハーレーを借りて走り、仁田さんは先導するハイエースから走るようすを撮影するという取材スタイルで挑んだ。

前回もこのページで触れたが、この旅は出発早々トラブル続き。まず成田空港への到着が遅れ、飛行機に乗り遅れそうになる。チェンマイに到着後、ハーレーを借りてすぐに道に迷う。などである。今回はこのトラブルをどう切り抜けたかから書いていこうと思う。

空港から出発したツーリングの参加者一行は高速道路を走り、市街地に入った。目の前の信号が変わったので、とつさに僕はスピードを緩めたが、前を走る集団やうしろを走っていたハイエースまで、僕を追い越して、走り去ってしまった。突然のことで、あつけにとられていたが、だんだんこれはかなりヤバイ状況なのでは……。と理解し、信号が変わると(変わる



沼尾哲平

Numao Teppei

愛車のスポーツスターは、人生2台目のハーレー。いまは通勤と取材で乗るのがメインになってしまっているが、本当はひとりでロングツーリングに出かけたい



チェンマイからバンコクを目指して走るツーリングに参加。下の人物はBMF主催者のひとり、この企画に招待してくれたリーさん



山岳地帯ではジェットコースターのような下り坂からの強烈なヘアピンが現れることもザラ。皆慎重に走るかと思いきや、結構なスピードで進入していく……



道路が整備されていない街の中を走ることもあった。砂煙がすごくて、サングラスの隙間から入った砂が目に入ってしまったにパニックに



ナイトバザールでゲテモノ食いに挑戦。タガメにイモムシ、しっかり食べました。味は覚えていないけれど、もういいかな～



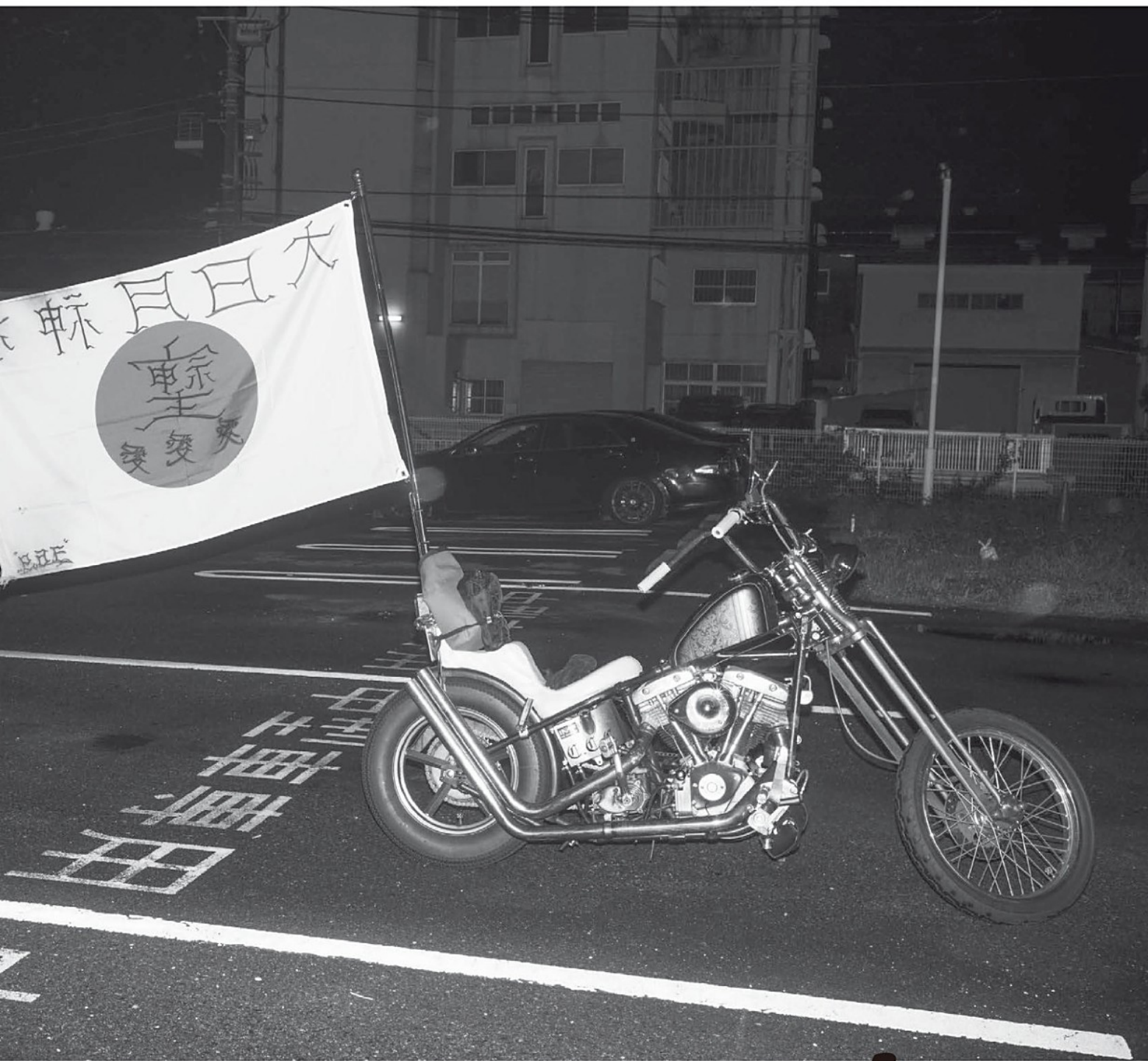
ツーリングには僕のほかにアメリカやヨーロッパのバイク誌が参加していた。車両は現地のH-Dバンコクが用意してくれたファットボブ

までが結構長かった……、すぐに集団を追いかけたが、ときすでに遅し。もう目視できないところまで走って行ってしまった。当時はいまのようにスマホが高性能ではなかったし、空港で借りたポケットWi-Fiを使わないと通信できなかった。しかもそのときスマホは携帯していたけれど、Wi-Fiは荷物とともにハイエースの中。通訳の方に連絡を取る術がなかった。

め、電話がありそうな商店のようなどころに入った。ただ、看板にはまったく意味が分からないうちで、英語さえもないので、本当にそこが商店なのか、ただの民家なのかわからなかったが、店内(?)に座っていたおばさんに電話を貸してほしいと身振り手振りをお願いした。当然日本語はおろか英語も通じないし、スマホの翻訳機能も使えない。手元にある小銭を見せて、通訳の名刺に書いてある携帯番号を見せてなんとか電話をかけた。切羽詰まっていた状況を察してか、おそらく迎えに来てくれと伝えてくれたのだ

ろう。30分ほどして、ハイエースが迎えに来てくれ、合流することができた。電話代を払おうとすると、おばさんは「困ったときはお互いさま」といったかどうかはわからないが、笑っていらないうちでジェスチャーをした。突然現れた言葉が通じない外国人に怪しむことなく接してくれたおばさんには感謝しかない。あのとき適当にあしらわれていたら、皆に合流できずに異国の地で彷徨い続けることになったかもしれない。トラブルから始まった旅だったが、タイの人たちの魅力に触れた忘れられない経験となった。





## 元田敬三

1995年、路上 (street) にて話しかけて撮らせてもらうスタイルで撮影をスタート。いまだ変わらず、主にフィルムカメラで撮影中。近年、ハーレーに乗りながら路上 (road) にて気になる人や風景を発見したら急停車！ カメラは人と出会うためのパスポートなのだ

# Moto Da HEAD

ライカとハーレー

## 第 04 回 「君が代」

地元逗子の古書店「ととら堂」にて写真展を予定しているのだが、今回のテーマは海岸線の国道134号線。ソフテイルで走っては出会ったバイカーや風景を撮影した写真を展示している。ライカとハーレーがあればいつでも物語ができあがるのだ。今日はどんな出会いがあるのだろうか、とただ路上を走る。

text&photo/K.Motoda 元田敬三





数年前、逗子にある古書店「とら堂」で写真展を開催した際にチョッパー2台が写った特大の印刷紙プリントを購入していただいたMさんから久々に連絡があり「『ロコハマナイト』に行きませんか?」と誘われたので行ってみることにした。

9月、第1土曜日の夜、あいにくの小雨の中、磯子へ向けて走る。途中のコンビニでMさんと待ち合わせ。数年ぶりに会うMさんは年代物の「W1」に乗ってやってきた。真面目そうな見た目といいマッチングだ!

磯子の港近くの「ローソン」までしばしツーリング。到着すると小雨のためバイクは数台しか集まっておらず、広い駐車場は閑散としていた。

2時間経つてもバイクは増える

ことはなく、23時ごろ、ああ、このままお開きかなと思ったその瞬間、一台のシヨベルが異様な雰囲気ですでに駐車場に入ってきた!

小雨の闇の中、日の丸を風になびかせて参上したのだった。まさに琴線に触れる瞬間だ! 周りで談笑していたライダー達は見えてはいけないうるものを見たような面もちで目を逸らすのだが、僕はすぐさまその「日の丸ライダー」に駆け寄り写真を撮らせてもらった。

日の丸ライダーは僕に必死に何か話しているが、その声はまったく耳に入ってこなくて、僕はファインダーに集中する。闇にストロボが発光し、日の丸がクッキリと浮かび上がる度に鳥肌が立つてくるのだった。

不思議なサタデーナイトから数日後、晴天の午後にソフテイルで江ノ島まで走る。江ノ島橋でなんとも存在感のある深緑色のアメリカンとすれ違った。すぐさまUターンして追跡。停車したところを話しかけた。そのアメリカンは戦闘機「零戦仕様」なのだという。タンクには君が代の歌詞が書いてあるではないか! なんとまたここでもタブーの出現となった。

ハーレーには星条旗がよく似合う、偉大なキャプテンアメリカ。そんなハーレーと日の丸が出会ったとき、それは暗い過去と直結してしまう。まだ戦後は続いているのだろうか……。



# bitubo

ITALIAN QUALITY FOR H-D

もっと走りたくて足回りに！

## フロント FRONT

純正サスのインナーパーツを交換するだけで高性能化。カーブで圧倒的な安心感を体感してください！  
(プリロード、減衰力調整可)

## リア REAR

車種ごとにグレードの異なる製品を調整幅や性能で選択可能。外観もH-Dにマッチするデザインが嬉しい。  
(プリロード、減衰力調整可、一部車高調整可)

安心の  
アフターケア体制

Technix

O/H&チューニング提携

カラー クローム ブラック ブラック/クローム

適合 ショベルから最新のM8モデルまで幅広くラインナップ

最短翌日午前配達！ 24時間インターネット注文受付中！

ネオファクトリー 検索

NEO FACTORY®

のめり込む人生を応援するWEBメディア

# Dig-it

[ディグ・イット]

クラブハーレー編集部も  
記事を書いているから、  
ぜひ見に来てね！



<https://dig-it.media/>

ディグ・イット

検索



Latest issue 最新号



バイクパーキング

ido  
アイドゥ

BIKE  
PARKING

# 【Sクラス】のセキュリティ! バイク専用月極パーキング

盗難補償付・首都圏36拠点・国内最大規模※1

あなたのバイクは大丈夫ですか?  
【Sクラス】のバイクには  
【Sクラス】のセキュリティを!

セキュリティに  
自信があるから **盗難補償付**

〈アイドゥ〉の  
セキュリティ度は **99.999%**※2  
——【Sクラス】セキュリティ——  
【Sクラス】セキュリティと名のれる  
バイク専用駐車場は  
〈アイドゥ〉以外ありません。

ライダーの事を一番に考えた徹底した  
セキュリティとフォロー体制で  
**24年間盗難0件の実績**※3

私が〈アイドゥ〉代表の池田です!

安心してバイクライフを思う存分楽しみたい!そんな  
人のために「バイクパーキング〈アイドゥ〉」はバイク  
乗りの仲間たちによって'99年に設立されました。  
私はもちろん、スタッフもみなバイク好き!  
私たち〈アイドゥ〉が、バイクライフを応援します。

〈アイドゥ〉の【Sクラス】セキュリティとは

自社開発の独自制御システムによる24時間セキュリティ

無料の盗難補償付! パーキング外の補償制度もあります(任意)

防犯監視カメラ付(24時間稼働)

シャッターの閉め忘れ防止付、駐車場内の様子が見えない

大型バイク専用のため区画や通路の幅にゆとりがある

新宿区 市ヶ谷・神楽坂 24,000円

渋谷区 代々木・初台・参宮橋 18,000円・20,000円・23,000円

渋谷区 渋谷松濤 24,000円

世田谷区 三軒茶屋・上馬 22,000円

駒沢公園・自由が丘 20,000円

池尻大橋 22,000円

船橋・経堂・桜上水 22,000円・23,000円・28,000円

豪徳寺・松原・下北沢・代田 15,000円・19,000円・22,000円

目黒区 祐天寺 21,000円

杉並区 井荻(下井草)・石神井 15,000円・17,000円・18,500円

高円寺・中野・阿佐ヶ谷 15,000円・19,000円・21,000円

荻窪 21,000円

大田区 南六郷・雑色 17,000円

蒲田 18,000円

馬込 20,000円

中央区 日本橋・箱崎・水天宮前・茅場町 19,000円・21,000円

森下日本橋 19,500円・21,000円・30,000円

品川区 西五反田・不動前 18,000円・20,000円・22,000円

荏原・馬込 20,000円

文京区 江戸川橋・飯田橋 20,000円・22,000円

駒込・田端 18,500円

小石川・後楽園・春日 22,000円

台東区 上野・元浅草・御徒町 19,500円

浅草・三ノ輪 19,000円

根津・上野 19,500円

江東区 菊川駅前・両国 19,500円

清澄白河 20,000円

亀戸平井 12,000円・15,000円・20,000円

江戸川区 葛西・浦安 13,000円

小松川・東大島・平井 15,000円・17,000円・20,000円

NEW OPEN  
調布 PART1(柴崎) 15,000円・17,000円・25,000円

調布 PART2(布田) 15,000円・17,000円・18,000円

三鷹市 吉祥寺・三鷹台 18,000円

川崎市 新丸子下丸子 17,000円・18,000円

横浜市 横浜・戸部 15,000円・19,000円

船橋市 西船橋 12,000円・15,000円

※料金は税抜き価格です。  
別途消費税を申し受けます。

新パーキングオープン

バイクパーキング〈アイドゥ〉はセキュリティ重視のため所在地の住所を表記していません。

気になるパーキングがありましたら  
電話かメールでお気軽にお問い合わせください。

ホームページ&専用ダイヤルで  
最新の「空きパーキング情報」をご確認いただけます。

電話でのお問い合わせは

☎ **03-5312-1799**

メールでのお問い合わせは

**bp@yes-i-do.co.jp**

〒107-0052  
港区赤坂7-5-15  
赤坂協栄マンション301  
株式会社 アイドゥ

ホームページで「ウェイティング」「下見申し込み」ができます。

**www.yes-i-do.co.jp**

右のQRコードを対応端末で読み取って携帯サイトにアクセス!

携帯サイト **www.yes-i-do.co.jp/sp/**





# CLUB HARLEY INFORMATION

アナタのハーレーライフを充実させる  
編集部オススメのイチオシ商品を一挙公開～!!

text/M.Terano 寺野正樹

## Information

### 革ジャンブランドがプロデュースする エンジニアブーツ

FourSpeed LEATHERS

**FOURSPEED Engineer Boots**  
5万5000円

ライダースジャケット製作の全工程をひとりでやるこだわりのブランド「フォースピードレザーズ」から、シャープなトゥ、インソールが固くなく最初から歩きやすい、かつ安くコストパフォーマンス、自分で「作りたい」と思う条件でデザインしたエンジニアブーツが登場。革のプロがプロデュースしているだけにクオリティはバッチリ! 履き心地も期待できそうだ。



問/フォースピード TEL0263-87-6435 <https://www.4speed.co.jp/>

### さらに使いやすくなった 電動エアポンプ

KIJIMA

**スマートエアポンプJP03**  
7150円



メンテナンスはもちろん、ロングツーリング時にもあると便利な電動エアポンプ。「キジマ」からリリースされたスマートエアポンプは、従来比1.3～1.5倍の吐出量を実現したほか、5種類のモードでそれぞれ空気圧を管理、設定した圧力で自動停止するなど使い勝手抜群。かつ、モバイルバッテリー機能も備えているので災害グッズとしても役に立つ。



問/キジマ TEL03-3897-2167 <https://www.kijima.info/>

### WILDMANがドロートした クールなジェットヘルメット

CLAY SMITH

**CSY-4015 JET HELMET**  
2万6400円

日本を代表するビンストライパー、「ムーンアイズ」のWILDMAN ISHI氏が描いたイラストが施されたヘルメットが「クレイスマス」から発売。数年前に海外向けに製作したものをモディファイしたというデザインは、氏の流麗なブラシワークがモノトーン配色と相まって重厚なフィニッシュ。帽体はSG規格認定品なので安心して被ることができる。



問/オリオンエース TEL042-444-0075 <http://www.orionace.com/>

### バイクでもアウトドアでもいける ディアスキンポーチ

RoughTail Outdoor stuff

**ディアトレイルスマートポーチ**  
1万8700円

革製品でおなじみのラフテールの新ブランドが、日常でもアウトドアでも使える革製品を生み出す「ラフテールアウトドアスタッフ」。第1弾となる鹿革を使ったスマートポーチが現在makuakeを通じてサポーターを募集中。日本製の品質の高さと、チョークバッグから着想を得たデザインの製品がいまならまだ先行割引で入手可能!

※クラウドファンディング中



問/ラフテール TEL029-212-3766 <https://www.roughtail.jp/>



## ジョイントスが現在 エントリー受付中!

JOINTS CUSTOM BIKE SHOW 2025

### 4月13日(日)@ポートメッセなごや

中京地区を代表するカスタムショウ「ジョイントス」が今年は4月13日(日)にポートメッセなごやで開催。現在、ビルダーブースをはじめ、ペンダー、ビンストライブ、車両展示ブースなどそれぞれエントリーを絶賛受付中。この機会に自慢の愛車や技を披露してみたいはいかが? 詳細はHPを。



問/ジョイントス事務局  
<https://www.joints.jp/>

## ハーレーダビッドソン ジャパン 新代表に玉木一史氏が就任

NEWS

### 新代表就任

ハーレーダビッドソン ジャパンは、2025年1月1日付けで、2024年12月31日をもって退任・退職した野田一夫氏の後任として、新代表に玉木一史氏が就任することを発表した。玉木氏は自動車業界において20年以上、さらに日本国内のみならず、インドネシアや米国などの海外市場での経験も豊富で、直近ではマセラティジャパンの取締役兼執行委員ゼネラルマネージャーとして、同ブランドの売上げおよび市場拡大を牽引し、ディーラーネットワークの刷新にも貢献。今年1月からハーレーダビッドソン ジャパンのチームを率いて、すべての営業・マーケティング活動、並びに国内ディーラーネットワークの運営を担当。また玉木氏はシンガポールを拠点とするハーレーダビッドソンアジアパシフィック副社長ディミトリス・ラプティス氏の直属としても職務を遂行する。新しい体制で日本はもちろんアジア全域でハーレーの魅力を発信してくれるはず。今後のハーレーの動きから目が離せない!

問/ハーレーダビッドソン カスタマーサービス  
TEL0800-080-8080  
<https://www.harley-davidson.com/>

## 人気のレザーサドルバッグが リニューアル

デグナー

### 1.PRSB-9C 6万4900円 2.PRSB-9D 6万4900円

京都発のライダーズブランド「デグナー」の定番人気商品、レザーサドルバッグ2種が、よりシンプルかつ重厚な雰囲気のリニューアルして新発売。基本デザインはそのままに、ヘルメットホルダーやショルダーベルトを排除し、また金具をシルバーからくすみがかかったアンティークシルバーに変更された。



問/デグナー  
TEL075-501-7137  
<https://www.degner.co.jp/>

## モバイルバッテリーとしても使える 車載バッテリーチャージャー

デイトナ

### ディスプレイバッテリーチャージャー ポータブル電源対応

1万6280円

集合住宅の駐車場など電源がない場所でもバイクのバッテリー充電ができる画期的なモバイルバッテリー。コンパクトサイズながら容量は多く、充電状態、終了時間がひと目でわかるディスプレイ付き、バッテリーの状態に合わせた5ステップ充電方式など使い勝手も考慮されている。



問/デイトナ  
TEL0120-60-4955  
<https://www.daytona.co.jp/>

## 車検もOK! リアまわりを スッキリさせる

トライジャ

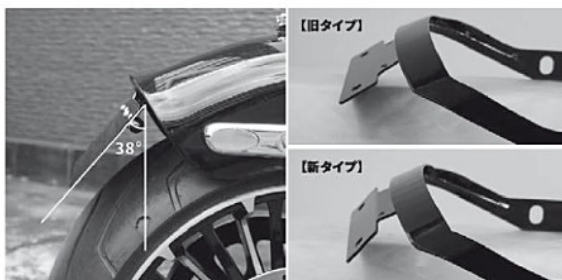
### 1.リアナンバーステー

4万9800円

### 2.ウインカーステー付きリアナンバーステー

5万2000円

数々のカスタムパーツを展開する「トライジャ」から、ブレイクアウト用「リアナンバーステー」、「ウインカーステー付きリアナンバーステー」が新発売。どちらも車検対応となるのがうれしいポイント。どうしても野暮っとなりがちなナンバーがすっきりまとまるので、シンプルなりアまわりを目指すなら必需品だ!



問/トライジャ  
TEL072-970-3110  
<https://trijya.com/>



# ALL LINE UP

## GRAND AMERICAN TOURING



### ULTRA LIMITED

454万5200円～

全長：2600mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：740mm  
最低地上高：135mm 車両重量：416kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：BW 130/70B18 63H（フロント）、  
BW 180/55B18 80H（リア） エンジン：ツインクルド ミルウォーキーエイト114  
排気量：1868cc 最大トルク：160Nm/3000rpm 最大出力：87HP/5020rpm



### ROAD GLIDE LIMITED

454万5200円～

全長：2595mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：735mm  
最低地上高：130mm 車両重量：423kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：BW 130/70B18 63H（フロント）、  
BW 180/55B18 80H（リア） エンジン：ツインクルド ミルウォーキーエイト114  
排気量：1868cc 最大トルク：160Nm/3000rpm 最大出力：87HP/5020rpm

HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP



ブラックトリム



クロームトリム

### STREET GLIDE

369万3800円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：715mm  
最低地上高：140mm 車両重量：368kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 M/C 61H（フロント）、  
180/55B18 M/C 80H（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト117  
排気量：1923cc 最大トルク：175Nm/3500rpm 最大出力：107HP/5020rpm



クロームトリム



ブラックトリム

### ROAD GLIDE

369万3800円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：720mm  
最低地上高：145mm 車両重量：380kg レイク・トレール：26°・173mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 M/C 61H（フロント）、  
180/55B18 M/C 80H（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト117  
排気量：1923cc 最大トルク：175Nm/3500rpm 最大出力：107HP/5020rpm

## CRUISER



### LOW RIDER ST

316万5800円～

全長：2365mm ホイールベース：1615mm シート高（非積載時）：720mm  
最低地上高：150mm 車両重量：327kg レイク・トレール：28°・145mm  
燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：110/90B19 62H BW（フロント）、  
180/70B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト117  
排気量：1923cc 最大トルク：168Nm/3500rpm 最大出力：105HP/5020rpm

## GRAND AMERICAN TOURING



### ROAD KING SPECIAL

363万2200円～

全長：2420mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：695mm  
最低地上高：125mm 車両重量：366kg レイク・トレール：26°・175mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 61H（フロント）、  
180/55B18 80H（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト114  
排気量：1868cc 最大トルク：158Nm/3250rpm 最大出力：93HP/5250rpm



HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## CRUISER

**BREAKOUT 117**

334万1800円～

全長：2370mm ホイールベース：1695mm シート高（非積載時）：665mm  
 最低地上高：115mm 車両重量：310kg レイク・トレール：34°・145mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：130/60B21 63H BW（フロント）、  
 240/40R18 79V BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト117  
 排気量：1923cc 最大トルク：168Nm/3500rpm 最大出力：102HP/5020rpm

**LOW RIDER S**

294万5800円～

全長：2365mm ホイールベース：1615mm シート高（非積載時）：710mm  
 最低地上高：145mm 車両重量：308kg レイク・トレール：28°・145mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：110/90B19 62H BW（フロント）、  
 180/70B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト117  
 排気量：1923cc 最大トルク：168Nm/3500rpm 最大出力：105HP/5020rpm

HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## CRUISER

**FAT BOY 114**

316万5800円～

全長：2370mm ホイールベース：1665mm シート高（非積載時）：675mm  
 最低地上高：115mm 車両重量：317kg レイク・トレール：30°・104mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：160/60R18 70V BW（フロント）、  
 240/40R18 79V BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト114  
 排気量：1868cc 最大トルク：155Nm/3250rpm 最大出力：94HP/5020rpm

**FAT BOB 114**

300万800円～

全長：2340mm ホイールベース：1615mm シート高（非積載時）：710mm  
 最低地上高：120mm 車両重量：306kg レイク・トレール：28°・132mm  
 燃料タンク容量：13.2ℓ タイヤサイズ：150/80-16 71H BW（フロント）、  
 180/70B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト114  
 排気量：1868cc 最大トルク：155Nm/3500rpm 最大出力：93HP/5020rpm

HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## CRUISER



ブラックトリム



クロームトリム

**HERITAGE CLASSIC**

315万4800円～

全長：2415mm ホイールベース：1630mm シート高（非積載時）：680mm  
 最低地上高：120mm 車両重量：330kg レイク・トレール：30°・140mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：130/90B16 73H BW（フロント）、  
 150/80B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト114  
 排気量：1868cc 最大トルク：155Nm/3250rpm 最大出力：94HP/5020rpm

**SPORT GLIDE**

275万8800円～

全長：2325mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：680mm  
 最低地上高：120mm 車両重量：317kg レイク・トレール：30°・150mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：130/70B18 63H BW（フロント）、  
 180/70B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト107  
 排気量：1745cc 最大トルク：139Nm/3500rpm 最大出力：82HP/5020rpm



HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## CRUISER



## SOFTAIL STANDARD

235万1800円～

全長：2320mm ホイールベース：1630mm シート高（非積載時）：680mm  
 最低地上高：125mm 車両重量：297kg レイク・トレール：30°・157mm  
 燃料タンク容量：13.2ℓ タイヤサイズ：100/90B19 57H BW（フロント）、  
 150/80B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキー・エイト 107  
 排気量：1745cc 最大トルク：144Nm/3250rpm 最大出力：86HP/5020rpm



## STREET BOB 114

270万3800円～

全長：2320mm ホイールベース：1630mm シート高（非積載時）：680mm  
 最低地上高：125mm 車両重量：297kg レイク・トレール：30°・157mm  
 燃料タンク容量：13.2ℓ タイヤサイズ：100/90B19 57H BW（フロント）、  
 150/80B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキー・エイト 114  
 排気量：1868cc 最大トルク：155Nm/3250rpm 最大出力：94HP/5020rpm

HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## SPORT



## SPORTSTER S

199万8800円～

全長：2270mm ホイールベース：1520mm シート高（非積載時）：765mm  
 最低地上高：90mm 車両重量：228kg レイク・トレール：30°・148mm  
 燃料タンク容量：11.8ℓ タイヤサイズ：160/70R17 73V（フロント）、  
 180/70R16 77V（リア） エンジン：レボリューションマックス 1250T  
 排気量：1252cc 最大トルク：125Nm/6000rpm 最大出力：121HP/7500rpm



## NIGHTSTER SPECIAL

188万8800円～

全長：2265mm ホイールベース：1545mm シート高（非積載時）：715mm  
 最低地上高：120mm 車両重量：225kg レイク・トレール：30°・137mm  
 燃料タンク容量：11.7ℓ タイヤサイズ：100/90-19 57H（フロント）、  
 150/80B16 77H（リア） エンジン：レボリューションマックス 975T  
 排気量：975cc 最大トルク：95Nm/5750rpm 最大出力：89HP/7500rpm

HARLEY-  
DAVIDSON X

## Harley-Davidson X500

83万9800円～

全長：2135mm ホイールベース：1485mm シート高（非積載時）：820mm  
 最低地上高：153mm 車両重量：208kg レイク・トレール：24.5°・100mm  
 燃料タンク容量：13.1ℓ タイヤサイズ：120/70-ZR17/58W（フロント）、  
 160/60-ZR17/69W（リア） エンジン：水冷直列2気筒  
 排気量：500cc 最大トルク：46Nm/6000rpm 最大出力：47HP/8500rpm

キャストホイール

ADVENTURE  
TOURING

レースホイール

## PAN AMERICA 1250 SPECIAL

258万6800円～

全長：2270mm ホイールベース：1585mm シート高（非積載時）：低850mm・高875mm  
 最低地上高：175mm 車両重量：258kg レイク・トレール：25°・108mm  
 燃料タンク容量：21.2ℓ タイヤサイズ：120/70R19 60V（フロント）、170/60R17 72V（リア）  
 エンジン：レボリューションマックス 1250 排気量：1252cc  
 最大トルク：128Nm/6750rpm 最大出力：150HP/8750rpm



## CVO



### CVO STREET GLIDE

562万9800円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：715mm  
最低地上高：140mm 車両重量：380kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 M/C 61H（フロント）、  
180/55B18 M/C 80H（リア） エンジン：ミルウォーキーエイトVVT121  
排気量：1977cc 最大トルク：183Nm/3500rpm 最大出力：115HP/5020rpm

## HARLEY-DAVIDSON X



### Harley-Davidson X350

69万9800円～

全長：2110mm ホイールベース：1410mm シート高（非積載時）：777mm  
最低地上高：143mm 車両重量：195kg レイク・トレール：24.8°・100mm  
燃料タンク容量：13.5ℓ タイヤサイズ：120/70-ZR17/58W（フロント）、  
160/60-ZR17/69W（リア） エンジン：水冷直列2気筒  
排気量：353cc 最大トルク：31Nm/7000rpm 最大出力：36HP/8500rpm

## HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## CVO



### CVO ROAD GLIDE

562万9800円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：720mm  
最低地上高：145mm 車両重量：393kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 M/C 61H（フロント）、  
180/55B18 M/C 80H（リア） エンジン：ミルウォーキーエイトVVT121  
排気量：1977cc 最大トルク：183Nm/3500rpm 最大出力：115HP/5020rpm



### CVO ROAD GLIDE ST

544万2800円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：720mm  
最低地上高：130mm 車両重量：380kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 M/C 61H（フロント）、  
180/55B18 M/C 80H（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト121 ハイアウトプット  
排気量：1977cc 最大トルク：193Nm/3750rpm 最大出力：126HP/5020rpm

## HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## TRIKE



### ROAD GLIDE 3

466万1800円～

全長：2615mm ホイールベース：1670mm シート高（非積載時）：700mm  
最低地上高：125mm 車両重量：528kg レイク・トレール：26°・101mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：MT130/60B19 M/C 61H（フロント）、  
P215/45R18（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト114  
排気量：1868cc 最大トルク：159Nm/3000rpm 最大出力：87HP/5020rpm



### TRI GLIDE ULTRA

544万2800円～

全長：2670mm ホイールベース：1670mm シート高（非積載時）：735mm  
最低地上高：125mm 車両重量：561kg レイク・トレール：26°・100mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：MT90B16 72H（フロント）、  
P205/65R15 92T（リア） エンジン：ツインクルド ミルウォーキーエイト114  
排気量：1868cc 最大トルク：159Nm/3000rpm 最大出力：87HP/5020rpm



HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## ICONS COLLECTION



### HYDRA-GLIDE REVIVAL

367万1800円～

全長：2415mm ホイールベース：1630mm シート高（非積載時）：685mm  
 最低地上高：120mm 車両重量：332kg レイク・トレール：30°・145mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：130/90B16 73H BW（フロント）、150/80B16 77H BW（リア）  
 エンジン：ミルウォーキーエイト114  
 排気量：1868cc 最大トルク：156Nm/3250rpm 最大出力：94HP/5020rpm



1956年モデルと同じグラフィックで仕上げた、いかにも限定車らしい高級感あふれる塗装、そしてほぼ同年代のデザインをモチーフにしたタンクバッジで往年の雰囲気を追求。フリンジなどの装飾を施したシート、そしてサドルバッグもこのモデルならではの装備で、クラシカルなムードを強調している

HARLEY-DAVIDSON 2024 ALL LINE UP

## ENTHUSIAST COLLECTION



### LOW RIDER ST

345万1800円～

全長：2365mm ホイールベース：1615mm シート高（非積載時）：720mm  
 最低地上高：150mm 車両重量：327kg レイク・トレール：28°・145mm  
 燃料タンク容量：18.9ℓ タイヤサイズ：110/90B19 62H BW（フロント）、180/70B16 77H BW（リア） エンジン：ミルウォーキーエイト117  
 排気量：1923cc 最大トルク：168Nm/3500rpm 最大出力：105HP/5020rpm

木目を生かしつつ、徐々に色が濃くなるサンバーストカラーは、楽器によく用いられるもの。そんなロックシーンを彷彿とさせるカラーをまとったコレクションで、タンクメダリオンはレコード盤、フェンダーにはピックをモチーフにしたグラフィックと、音楽好きの心をくすぐる演出が随所に施されている



### TRI GLIDE ULTRA

603万1300円～

全長：2670mm ホイールベース：1670mm シート高（非積載時）：735mm  
 最低地上高：125mm 車両重量：561kg レイク・トレール：26°・100mm  
 燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：MT90B16 72H（フロント）、P205/65R15 92T（リア） エンジン：ツインクルド ミルウォーキーエイト114  
 排気量：1868cc 最大トルク：159Nm/3000rpm 最大出力：87HP/5020rpm



### ULTRA LIMITED

498万5200円～

全長：2600mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：740mm  
 最低地上高：135mm 車両重量：416kg レイク・トレール：26°・170mm  
 燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：BW 130/70B18 63H（フロント）、BW 180/55B18 80H（リア） エンジン：ツインクルド ミルウォーキーエイト114  
 排気量：1868cc 最大トルク：160Nm/3000rpm 最大出力：87HP/5020rpm





大きな車格のサドルバッグ付きツアラーで競う、アメリカらしい痛快さで人気の「キング・オブ・ザ・バガーズ」。そんなレースの雰囲気落とし込んだ魅力的なモデルが「EDITION 1」シリーズだ。ボディにはH-Dレーシングカラーを彷彿とさせるホワイトとレッドのストライプを配し、加えてエアディフレクターやオーディオなどで快適性も向上している。主にアジア圏で販売され、日本では90台の限定発売となる。足まわりなどの仕上げは下写真のブラックトリムのほかクロームトリムも選択可能だ



## EDITION 1 ROAD GLIDE

404万5591円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：720mm  
最低地上高：140mm 車両重量：380kg レイク・トレール：26°・173mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/60B19 61H（フロント）  
180/55B18 80H（リア） エンジン：ミルウォーキー・エイト117 排気量：1923cc  
最大トルク：175Nm/3500rpm 最大出力：107HP/5020rpm



## EDITION 1 STREET GLIDE

404万5591円～

全長：2410mm ホイールベース：1625mm シート高（非積載時）：715mm  
最低地上高：140mm 車両重量：368kg レイク・トレール：26°・170mm  
燃料タンク容量：22.7ℓ タイヤサイズ：130/560B19 61H（フロント）、  
180/55B18 80H（リア） エンジン：ミルウォーキー・エイト117 排気量：1923cc  
最大トルク：175Nm/3500rpm 最大出力：107HP/5020rpm



Rockford Fosgate社製500wハイパワーアンプ  
&STAGE2フェアリング スピーカーを搭載

ミッドフレーム エアディフレクター  
(ナイロンプラック)を装備



スポーティなルックスを強調するミッドフレームのエアディフレクターのほか、Rockford Fosgate社によるサウンドシステムを採用（アンプ+STAGE 2スピーカー）して、ツーリング時の快適性も追求した特別仕様だ



## EASY ORDER SYSTEM

国内では見ることのないブランドや、昔から馴染み深いブランド、様々な製品がガッツクロームショップでご購入いただけます。カタログの図方や自分の愛車への適合、こんなパーツを探してる、注文方法などなどお電話、メールにてお気軽にお問い合わせ下さい。お見積もりも可能です！



## GUTS CHROME WEB

### 海外お取り寄せ専用オーダーページ!!

メーカーを選択(V-TWIN, DSI, W&W, TuckerRocky, Kuryakyn, S&S)し、品番を入力するだけで円換算された金額(税込)が簡単に確認いただけます。  
※各メーカーの在庫状況はお問い合わせください。

## 新着アイテムはこちらから!!



各SNSでも  
各種商品やセール情報を  
発信中!!



## LUCAS オイル 各種



詳細はこちらからも  
ご覧いただけます!!



### Recommended items

#### ■オイル単品

[L10700] 20W50 ハイパフォーマンスエンジンオイル	¥2,684
[L10702] 20W50 シンセティックエンジンオイル	¥4,290
[L10712] SAE50 ハイパフォーマンスエンジンオイル	¥2,684
[L10043] 80W90 ヘビーデューティーギヤオイル	¥3,520
[L10790] プライマリー/XLギアチェーンオイル	¥3,520

## DRAGSPECIALTIES オイル 各種



詳細は  
こちらからも  
ご覧いただけ  
ます!!



### Recommended items

#### ■オイル単品

[3601-0767] エンジンオイル シングルグレード50	¥1,859
[3601-0773] エンジンオイル マルチグレード20W50	¥1,782
[3601-0775] エンジンオイル 100%化学合成20W50 シルバー	¥2,937
[3603-0070] トランスミッションオイル 80W90	¥2,431
[3603-0072] ビッグツイン プライマリーオイル	¥2,002

## Mobil オイル



詳細はこちらからも  
ご覧いただけます!!



世界で絶大な信頼を誇るブランド「Mobil1」から販売される化学合成油です。高温に強く高年式の大排気量エンジンに特におすすです。

#### ■Mobil 1 フルシンセティックオイル 20w-50

[112630]	¥4,629
----------	--------

## Castrol オイル



詳細はこちらからも  
ご覧いただけます!!



2ストから4スト、小〜大排気量まで馴染み深いブランド「Castrol」のハーレーダビッドソン用化学合成油です。

#### ■Castrol Power 1 フルシンセティックオイル 20w-50

[15D28D]	¥3,546
----------	--------

## ADLERT TIRE



詳細はこちらからも  
ご覧いただけます!!



#### ■ADLERT CLASSIC

[DC-015] 5.00-15	¥24,145
[DC-016] 5.00-16	¥24,145
[DC-018] 4.00-18	¥21,945
[DC-01845] 4.50-18	¥21,945
[DC-019] 4.00-19	¥24,145
[DC-021] 3.00-21	¥19,415

## WESTCO バッテリー 各種

#### ■WESTCO バッテリー

[9800-4000] 2001-06年 VRSCモデル	¥26,070
[9800-4010] 1991-96年 ソフトテイル/ダイナ	¥33,330
[9800-4020] 1979-96年 XL、1984-90年 ソフトテイル、1973-94年 FX/FXR	¥33,330
[9800-4030] 1997-03年 XL、1997年以降 ソフトテイル/ダイナ、	
[9800-4030] 2007年以降 VRSC(07年 VRSCR 除く)	¥32,230
[9800-4040] 1997年以降 ツアラー-FLHR/FLHT/FLTRトップ&ターミナル	¥40,700
[9800-4050] 1980-96年 ツアラー FLHR/FLHT/FLT	¥37,730
[9800-4060] 2004年以降 XL	¥26,070



詳細はこちらからも  
ご覧いただけます!!



## Store Information 4,000以上の在庫ラインナップ!! もし在庫に無い海外メーカーの商品でもお取り寄せ可能です!!

### オンラインショップでのお買い物がオススメです!!

ガッツの  
オンライン  
ショッピングなら  
特典盛りだくさん!!

今すぐ

ガッツクローム で検索!

- ① 初回登録で500ポイントGET!
- ② 商品代金100円毎に1ポイント進呈!
- ③ 毎週土曜日はポイント2倍!
- ④ 毎月①の付く日はポイント5倍!
- ⑤ ¥15,000以上のご注文で送料無料!
- ⑥ 夕方15時までのご注文も即日発送!

### メルマガ購読でさらにお得な 会員限定キャンペーン情報をGET!!

合同会社ガッツクローム  
〒175-0091 東京都板橋区三國2-22-2  
TEL.03-5904-5188  
FAX.03-5904-5189  
HP http://www.gutschrome.jp/  
Mail shop@gutschrome.info







# Dr. Tekill & Mr. Hyde®

THE EXHAUST  
JAPAN



第32回 ヨコハマ ホットロッド・カスタムショー 2024 ありがとうございました



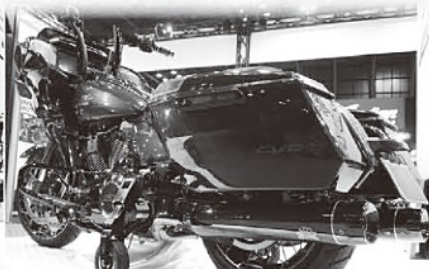
## Dr. Tekill & Mr. Hyde®

### THE EXHAUST

#### ハーレーダビッドソンオフィシャルパーツ



300ワイドカスタム車両



CVO Road Glide

#### 車検対応 100%合法 世界シェアNO.1の電子制御マフラー

オランダの技術とドイツのデザインを融合して作られたジキル&ハイドマフラー。世界40カ国で販売。年間売上本数2万本を誇る。

品質・音質・デザイン全てが集約されたジキル&ハイドマフラーは4年間の保証、完全な合法性を提供します。各パーツを選択し、あなただけのエキゾーストを手に入れてください。

#### 3種類の走行モード

電子制御調整システムにより、ハンドルに取り付けたボタンスイッチを押すだけで切り替えることができます。

ドクタージキルモード(全開) ダイナミックモード(半開) ミスタージキルモード(全開)



Sportster XL1200CX Roadster カスタム車両

## 全国ハーレーダビッドソン正規ディーラーで絶賛販売中



Dr. Tekill & Mr. Hyde®  
THE EXHAUST  
ジキル&ハイド Japan

車検対応合法 電子制御音量可変式マフラー

**JMCA**  
全国二輪車用品連合会  
EURO3・EURO4・EURO5規制対応  
欧州連合指令(EU指令)適合

**100% LEGAL**  
車種・年式・型式・駆動機型式により  
車検対応の確認を販売店にてご確認ください

国土交通省 事前認証制度  
日本車両検査協会  
VIA排出ガス検査  
近接加速騒音検査に合格

安心の  
4年間

長期保証  
輸入販売代理店にて日本の技術スタッフが  
責任をもってサポートさせていただきます

世界  
NO.1

年間出荷台数2万本  
オンラインカスタマイズシステムを駆使して  
3000以上のパーツから、世界にひとつだけの  
自分だけのエキゾーストシステムを構築可能



簡単にスマホで見積りができます  
<https://configurator.jekillandhyde.com/jp>





# CLUB HARLEY

Ride the HARLEY-DAVIDSON.

2025年2月号 Vol.295

次号は、**2月14日**にお会いしましょう!

## Staff

### Publisher

武井宏員 Hirokazu Takei

### Editor in Chief

松島睦 Atsushi Matsushima

### Vice Editor

雨宮武 Takeshi Amemiya

### Editorial Staff

沼尾哲平 Teppei Numao

### Designer

大橋政信 Masanobu Ohashi

佐藤 寛 Hiroshi Sato

遠藤智子 Tomoko Endo

金子久美子 Kumiko Kaneko

東條晶子 Akiko Tojyo

### DTP Section

東草多 Sota Higashi

### Advertising Division

桜井大輔 Daisuke Sakurai

山下徹也 Tetsuya Yamashita

岩田和也 Kazuya Iwata

### Sales Division

大田慶一郎 Keiichiro Ohta (実業之日本社)

金野淳 Jun Konno (実業之日本社)

### Special Thanks

ハーレーダビッドソン ジャパン

発行人 武井宏員

編集人 松島睦

発行 株式会社ヘリテージ

〒162-0805

東京都新宿区天神町8 神楽坂ビル7F

編集部 TEL03-3528-9797

発売 株式会社実業之日本社

〒107-0062

東京都港区南青山6-6-22

emergence 2

販売部 TEL03-6809-0495

印刷・製本 大日本印刷株式会社

無断転載・複製を禁じます。

©HERITAGE Inc.

## 編集後記

### アメミヤ

出かける前に充電しても、帰るころにはバッテリーが上がっている状態だった最近の愛車。レギュレーターが逝ったのかと充電&発電系を点検してもらったところ異常なし。で、バッテリーを新品に交換してもらったら絶好調に。以前のは、もしかして“ハズレ”のバッテリーだったのかなあ



### ヌマオ

今年6号目を製作予定の『BASE』の取材で金沢に行ってきました。2日間の取材が終わわり、皆で近くの食堂へ。昨年震災に見舞われた能登の近海で獲れた魚介が豪華に載った丼を注文。めっちゃうまかった〜。地場のものを食べたり、BASEを通じて能登の復興に関わってみたいです





荒々しい鉄馬には武骨な時計がよく似合う。

# G-SHOCK THE TOUGHNESS

【ザ・タフネス】

激しい振動を伴うハーレーのライディングには、屈強な腕時計が必要だ。  
そんなハーレー乗りの腕もとにぴったりのG-SHOCKを抽選で1名にプレゼント。  
今回は初代G-SHOCKのデザインとカラーを継承する一本をご紹介します！

photo/Y.Amino 網野貴香

## 初代G-SHOCKのデザインを受け継ぐ アイコンックモデル

### アンケートに答えて G-SHOCKをゲットしよう！

#### 〔応募方法〕

下記のQRコードからアンケートフォームにアクセスし、アンケートに答えていただいた方を対象に、抽選で1名様にG-SHOCKをプレゼント！

### G-SHOCKプレゼント アンケートフォーム



#### 〔応募期限〕

2025年2月9日（日）

#### 〔個人情報の取り扱いについて〕

お預かりした個人情報は、当社関連サービスの提供、イベント・販売情報のご案内、統計情報分析等のために利用いたします。

なお、サービス提供および媒体掲載に際し提携委託先に提供する場合もございますが、法令に定める場合を除き、ご本人の同意なく、お知らせした目的以外での利用および第三者提供はいたしません。

その他、個人情報の取扱いに関する詳細は、当社プライバシーポリシー（<https://heritage.inc/policies/privacy-policy>）をご参照ください。



耐衝撃構造／20気圧防水機能／  
ストップウォッチ／タイマー／マ  
ルチアラーム・時報／フルオート  
カレンダー／12/24 時間制表示  
切替／LEDバックライト／報音  
フラッシュ機能／電池寿命約5年

サイズ：48.9×42.8×13.4mm  
質量：52g

## DW-5600RL-1JF

1万4300円

時代とともに進化し続け、世界中のファッションistaやアスリート、そしてハーレー乗りにも愛されるG-SHOCK。今回はその原点である初代モデルのカラーを採用した“DW-5600RL-1JF”を紹介する。

フェイスデザインに採用されている、赤、青、黄色はG-SHOCKのブランドカラーであり、それぞれ赤は挑戦し続ける情熱、青は高い防水性、黄色は

ショックレジスタント、つまり耐衝撃性を意味する。

そんなG-SHOCKのアイコンを備えた原点的モデルを忠実に再現したこのモデルは、大定番であるだけに、どんなファッションにも採り入れやすい。もちろんハーレー乗りとの親和性も抜群。

かつて身に着けていた経験がある人も、初代モデルが逆に新しく感じる人も満足する一本だ。





# 山奥に潜む木造ガレージは 西部開拓時代がコンセプト



## 自然のデザインを 活かした木材を採用

### [Point]

外壁は丸太をスライスし、耳を残した「ライブエッジ」と呼ばれる木材を重ねて使用。当時は、木材の耳を整える手間が少ないためチープな素材として用いられた手法だが、自然の形を活かしたデザインがクラシカルな雰囲気を演出する。

Hiroyuki Takahashi

高橋広之さん

千葉県

text&photo/Y.Kinpara 金原悠太  
取材協力 / TT&CO. TEL03-6638-8698  
<https://www.ttandco.com>

## ロマンが詰まった 大人の森遊び

大人の秘密基地……、ガレージ特集ではありふれた表現かもしれないが、大自然に囲まれた千葉県の山奥にボツンと佇むこの手作りガレージにはそんな言葉が何より適切だ。ヘルメットメーカー、「TT&CO」代表の高橋さんが、愛車置き場として仲間と作り上げた巨大な木造ガレージ。以前も別の森でガレージプロジェクトを繰り広げていたが、そのことから生活が変化したことをきっかけに、新たな森を切り開いて建てた50坪の新居地。つまり森の秘密基地プロジェクト第2弾というわけだ。

ガレージは西部開拓時代を舞台とした映画に出てくるような馬小屋や売春宿がイメージソース。クリント・イーストウツドの映画を好む高橋さんらしいセンスが現れたコンセプトである。中央の天井が高く、左右に中2階がある間取りの設計図を高橋さん自身が引き、骨組みはプロの大工に依頼。耳が不ぞろいのライブエッジ（材木）を駆使したこだわりの外壁は高橋さんのDIYで仕上げられた。

「中央の大きな通路の左右に馬6匹分のスペースと中2階には干し草の餌を取納できる馬小屋のような間取りで作っています。映画の中では、1階がバーで2階が売春宿になっているような怪しい小屋、





**MOTOR**  
**HARLEY-DAVIDSON**  
**CYCLES**

CAVE, TRUCKS,  
TRACTORS,  
LEAD THE WORLD  
IN THE MOTOR BUSINESS

**MOTOR**  
**HARLEY-DAVIDSON**  
**CYCLES**

NO BACKING





## 西部劇の馬小屋をイメージして両脇に中2階を設置

**[Point]**

中央にバイクを並べるスペースとリフトを設置し、両脇に中2階を設けた作りはクリント・イーストウッドの西部劇映画に出てくる馬小屋がモチーフ。右側1階は加工機械やクルマの駐車スペース、左側1階にはキッチンスペースを作り、2階はパーツなどをストックしている。

## 1941 EL

山道の散歩バイクとして、現在レストアプロジェクト進行中のELナックルヘッド。フロントフェンダーは仮だが、純正の外装を活かして、フランダースのハンドルまわりやマフラーなど、ボバーを意識したクリーンな姿で蘇らせる予定だとか。クラシカルな山奥の木造小屋にはトラディショナルなナックルヘッドがよく似合う



## 1986 FXRD

86年の1年間のみ生産されたFXRD Super Glide Deluxe。FXRTフェアリングを備える外装はオリジナルで、エンジンはアンドリュースのハイカムをインストール。サンダーヘッダーマフラーやミクニのキャブレターなど、クルーザーのパワフルな走りを意識したライトカスタムで仕上げられている



TT&CO.代表の高橋さん。仕事を離れてゆっくりと時間を過ごす場所としてこのガレージを製作したはずだが、バイクやクルマいじりに加え、DIYの棚作りや薪割りなどやることが尽きないのだとか。この冬ついにアメリカ製の暖炉を導入した

高橋さんのモータライフが、TT&CO.のプロダクツの原点。こちらは70sの名作オフロード用フルフェイスをリプロダクトした新作「モトモト3」



ガレージ内に70年ダッジ「チャレンジャー」とフォード「アーリーブロンコ」を格納。外のシボレー「C10」は荷物を運ぶ働くクルマとして、ガレージ作りにも大活躍



森の秘密基地プロジェクトはエンドレス、大人の趣味人のロマンに終わりはなさそうだ。

木造ガレージの製作は昨年4月からスタート、大枠ができてからも日除けの屋根やバスルーム／トイレ、暖炉を設置するなど、ディテールは絶え間なく進化を続けている。大自然に囲まれた何も無いところに手作りで作り上げたガレージだけに伸び代は無限大。アイデアが浮かぶ限り、高橋さんの手が休まることはないのだろう。車両置き場をメインの役割として作ったはずだが、2つのリフトにはそれぞれクルマとバイクが1台ずつセットされ、さらにナックルヘッドが作業の順番を待っているようす。ガレージの外では、これからDIY作業の効率を上げるため木工加工室を作り、夕陽が綺麗にさすように部分的に木の伐採も計画中なのとか。

それを自分なりの趣味部屋にしたイメージです。また、アメリカのバイク繋がりの方のクラブハウスの遊び方からインスピレーションを得ています。仲間と乗り物をイジる日もあれば、宴会場になることもある。仕事とは一線引いて、趣味のバイクやクルマ、山遊びをゆっくり楽しめる場所を考えていたのですが、好きなモノや環境に囲まれているので、ゆっくりするどころかやりたいことが尽きなくて……(笑)





高橋さんはもともとカスタムビルダーとしてのキャリアをもつだけに、基本的な整備は自分で行っている。自分だけのガレージでリフトに載せてバイクをいじる優雅な時間だ

整備中のパンショベル。ネックのガセットやリアアクスルまわりのデザインが特徴的なアレンネスのフレームにチューンドエンジンを搭載するフリスコスタイル



## 好奇心が止まらない、だから森遊びはやめられない

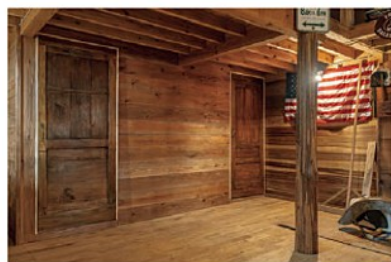


ガレージに入ると目に飛び込んでくる超大型看板は、アメリカのハーレーメカディーラーで使用されていたもののようだ。梁が剥き出しになった天井のデザインにも注目したい

工具や加工機械はカスタムビルダー時代からの名残もあるため、プロショップ並（溶接機は準備中）だが、最近は車両いじりに加え、小屋のDIYが忙しいのだとか。材木加工道具はMAKITAで統一



山奥の大自然に囲まれた巨大な木造ガレージ。不ぞろいな材木を重ねたハンドメイド感あふれる外観の雰囲気は、すでに年季を感じることが、時間の経過とともにさらに味わい深さを増すに違いない



友人が集まることも多いため、トイレとバスルームを設置。1800年代のイギリス製のアンティークを使用した木製ドアがお気に入りなのだとか







## 目印は赤いドア!? トラックみたいな入口

赤いドアが玄関に思えるが実は物置で、左側のアルミサッシがガレージの入口。さらにその奥が自宅となっている。「赤いドアにポストまで付けてしまったので、訪れる人に玄関だと勘違いされてしまうんです(笑)」と照屋さん

Takashi Teruya

**照屋貴さん**

沖縄県

text/T.Morita 守田二草  
photo/S.Ise 伊勢悟

# 好きなモノを すべて詰め込んだ とおきの秘密基地



**2006  
FLHRCI**

47歳のときに大型2輪免許に挑戦。何かがハーレーを乗り継ぎ、いまの愛車にたどり着いた。エイプバーなどで「チョロスタイル」にカスタムし、沖縄で開催された「GATE2 FEST 2017」でベストクローム賞を獲得した

週末の夜、妻とハーレーと  
趣味の物に囲まれて過ごす

映画『トップガン』の影響で普通2輪免許を取得。カワサキの「ニンジャ」に乗っていたがブームが去ると乗らなくなってしまうという照屋貴さん。友人の勧めで、47歳のときに大型2輪免許にステップアップ。昔、バイク屋で働いていたという父親の影響で、ハーレーに乗ることになった。

「親父は『いろいろなバイクに乗ったけど、一番ダメなバイクはハーレーだ』と言っていたんです。部品が高いいし、なかなか届かないって。でも『一番楽しかったバイクもハーレーだ』とも。なぜか聞くと『ドッシリした車格、迫力あるマフラー音、走っているときの振動は最高で、いまでも忘れられない』って、そのときの親父の顔をいまもハッキリ覚えています」

その後、ウルトラやスポーツスターを乗り継ぎ、13年ほど前に現在のロードキングにたどり着いたが、「自分にとっては、いまのバイクがファーストハーレー」というほど気に入っている。

そんな愛車のためにガレージを建てるキッカケとなったのは5年前。現在の住まいとなる中古物件を手に入れたことが始まりだ。

「前の持ち主が貸店舗としてガーデンカフェにしていたスペースが25坪ほどあったんです。そこをり



## すぐに取り出せるよう 分かりやすく収納

**[Point]**

多趣味で何かと物を集めがちな照屋さんは、ちょっとしたメンテやカスタムも自分でやってみるタイプ。工具やパーツなども買いそろえている。よく作業で使う工具やパーツはトレーなどを使って、紛失しないように保管。ゴチャつきやすい工具やパーツは大型のキャビネットに入れて見えないようにしているが、中身を明記する「ラベリング」収納で、使いたいものがすぐ取り出せるように工夫している。

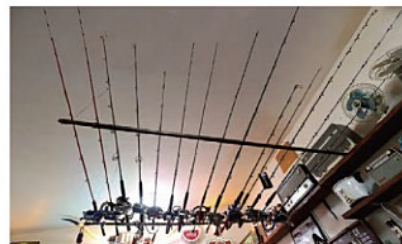


## 数多くのギターやアンプを収納

照屋さんいわく「50の手習い」で、中学生のころに一度挫折したギターに挑戦。この1～2年、ガレージで練習している。エレキギターやアンプなどもそろえた。「まだちゃんと弾くことはできませんが、これも趣味に加わりそうです(笑)」

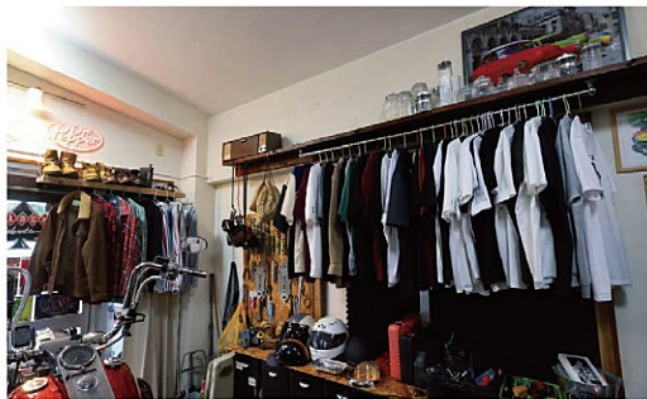
## 簡単なラックで釣り竿を天井に保管

海釣りが大好きで、「めっちゃ釣りに行ってます」と豪語するだけあり、所有する釣り道具も豊富。ガレージの天井のスペースを生かして収納ラックを自作した。伸縮竿2本を棚とワイヤーで固定した簡易的なラックだが、収納力バツグン！ 14本の釣り竿を効率よく保管している



## 至るところにアンティークのコレクションが!!

アメリカ雑貨やアンティークが好きで、ガレージに似合うものを買集めてはディスプレイ。エイジング加工されたヴィンテージ風のスチール缶は、小物の収納やスツールとしても活躍する便利グッズ。また、幼いころに見たことがある昭和家電や商工電化製品もコレクション。ジャノメ製足踏みミシン台の上には、SBM製2型ハンドル式レジスターを設置。足付きのブラウン管テレビはNEC製で、チャンネルは昔懐かしのダイヤル式。ナショナル製コンソール型ステレオは、33～78回転対応のレコードプレーヤー、FM/AMの2バンドチューナー、外部入力も1系統も付属している豪華仕様となっている



## バイク関連のウェアやギアをまとめて収納

壁に備え付けた棚を活用し、ハンガーラックを製作。バイクに乗るときのウェアはインナーからアウター、ヘルメットやブーツまで収納している。温暖なので装備は比較的軽い。身支度してからそのままバイクで出かけることもできる

「週末の夜はリビングのテレビを子供達に占領されるので、妻とユークチューブやネットフリックスを観ながら、お酒も飲める大人の遊び場として使っています」

「フォームしてバーでも開業しようかと思っていたのですが、リフォーム代が予算オーバーになってしまったので断念して、バイクのガレージにしました(笑)」

バイクを置くだけではスペースが余るため、カスタムできるようにジャッキや工具、コンプレッサーなどを配置。それでもスペースが余るため、趣味で集めた古い家電や楽器、釣り道具などをディスプレイして楽しんでいる。



Tomoyuki Ueno  
**植野智之さん**  
静岡県

text&photo/D.Katsumura 勝村大輔  
取材協力/ダイナオガレーションファクトリー  
TEL0538-55-6655 <https://dainao.net/>

# 自宅前に設置した 自分だけの空間

## 2021 RA1250S Pan America Special

トラブルが少ないという評判を聞いて購入した21年式のパンアメリカススペシャルは、リアにボックスを搭載し、ハンドルをアップ仕様に変更した。乗りやすさを重視したカスタムとなっている



## 1975 Shovel Rigid Chopper

21年にオーダーし、翌年納車されたという75年式のエンジンを使ったリジッドチョッパー。製作は地元静岡の「OLD MAX」。エンジンの調子もよく、見た目以上に乗りやすいそうだ

以前はビュエルに乗っていたという静岡県在住の植野さん。当時は自宅1階に設けられたビルトインの小さなガレージスペースに収納していたそうが、その後車体の大きなハーレーに乗り換えるタイミングで、ガレージがほしくなり、いまから10年ほど前に「ダイナオ」のガレージをオーダーすることにしたそう。

自宅前にあつた4台分の駐車スペースの1台分をガレージスペースとし、幅3・5m×奥行4・5mというサイズをチョイスした。このサイズは設置する場所のスペース的な問題もあるが、中に入りたいバイクやアイテムから逆算して決定したそう。

現在ガレージにはパンアメリカとリジッドチョッパーが収まっている。合わせてコンプレッサーや工具などもしっかりとそろっており、ガレージ内でもかなり本格的な整備も行うことができる。ちなみに整備をする際は1台を外に出して中央にバイクを置いて行うようにしているという。中央のみ編成風のフロアなのはそのためだ。

ガレージにはクーラーも設置し、夏場でもガレージ内は快適。さらに奥にはソファを設置。ここに座って愛車を眺める時間が至福のひとつなのとか。

大きなハーレーに合わせてオーダーした広いガレージ





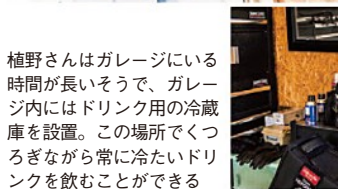
ガレージ左側の棚にはモデルガンやサバゲー用のウエアなどミリタリー系アイテムや釣竿などを収納。ちなみに棚やロッドホルダーなどはDIYで設置している



ガレージ右側には棚を設置。バイクパーツやケミカル類だけでなく、植野さんの好きなミリタリー系のアイテムなどを数多く収納している。奥にはツールチェストを設置している



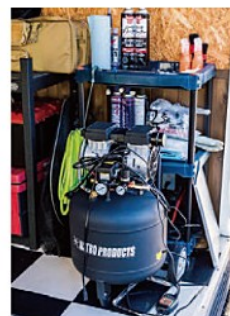
入り口のシャッター上にはヘルメットを収納している。季節や乗るバイクに合わせてこの3つを使い分けているそうだ



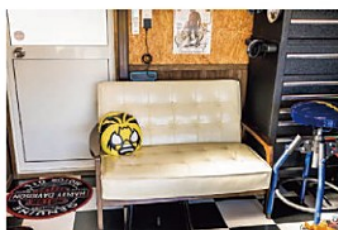
植野さんはガレージにいる時間が長いそうで、ガレージ内にはドリンク用の冷蔵庫を設置。この場所でくつろぎながら常に冷たいドリンクを飲むことができる



ガレージ内壁はOSB合板張りになっており、DIYで棚やフックなどを装着しやすくなっている。また壁面の下から1mほどは、オプションで腰壁を設置している



ガレージにはエアツールを使用するためのコンプレッサーを完備。またキャスター付きのツールワゴンには作業の際に重宝するそうだ



ガレージ奥の出入り口の脇には、2シーターのソファを設置し、ガレージ内でくつろぐことができるようになっている

## 大好きなものに囲まれたガレージで過ごす幸せ

シャッターを閉めてしまえば、ガレージの中は外の喧騒から隔絶され、植野さんの好きなものだけを詰め込んだ空間となる。ソファに座って愛車を眺めているのが至福の時間だという



## 自宅前の駐車スペースに設置

ガレージサイズは3.5m×4.5mで、バイクのガレージとしては大きめの部類に入る。前面にアルミシャッターを装着し、側面には明り採りの大きな窓を設置。さらに出入り口を背面に設けている



## バイク整備の際は1台を外に出して中央で行う

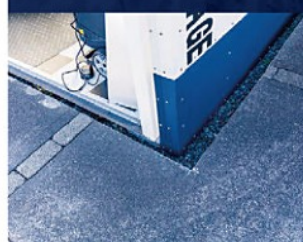
広いガレージとはいえ、ハーレー2台が収まった状態では若干手狭となる。そこで整備をする際には1台を外に出して、中央に置いて整備をするそうだ。ガレージ内にはフロントホイールを固定するクランプスタンドや、リアのメインテナンススタンドも完備しており、ここでひと通りの作業が可能な環境となっている



ガレージフロアは市松模様のフロアカーペットとなるが、中央の整備スペースのみ滑り止めの縞板風カーペットを設置。作業を行うスペースとして区別している

## 【Point】

## ガレージフロアとアプローチの段差を少なくするために



ガレージは自宅前の駐車スペースに設置しているが、ガレージフロアとの段差を解消するために、既存のコンクリートをカットし、地面を掘ったうえで、ブロック基礎の上に設置している。そのため周囲のコンクリートとガレージフロアの段差がほとんどない状態となっている。





自身のライフスタイルに  
欠かせないバイクと  
サーフ道具が美しく並ぶ



敬愛するサイクルゾンビーズのチェイスが手がけるロサンゼルス版のHWYのアートワークなどをディスプレイ。頻繁に通う「ジャックスガレージ」のシルクスクリーンには木枠を付けて飾った



# 西海岸カルチャーが詰まった夢のガレージ

生まれも育ちも湘南という生粋のローカルである寺谷さんは、サーファーであり、アイアンスポーツに乗る大のバイク好きでもある。アメリカナイズされた湘南ライフを送り、このスタイリッシュな見た目で、実は堅い教職に就くなど、そのギャップもおもしろい。そんな寺谷さんが構えたマイホームは、海まで自転車通勤という絶好のロケーションにある。

「小さくてもいいから絶対にガレージがほしいという夢があったので、一軒家が太前提。仕事には車で通っているの、駅近で海にもすぐ行けるロケーションを探し続けていて、ようやく見つけた30歳という節目もあったので購入しました。自分のライフスタイルで欠かせない要素がサーフィンとハーレー。そのふたつが収納できる大きさがあれば十分。4畳という小さなスペースですが、サーフボードが4枚、バイクはもう1台は停められるんですよ。

湘南は魅力的な場所ではあるのですが、海から近いので塩害対策がマスト。そこも含めてガレージは欠かせないんです。あとこれだりとしては外にシャワーを付けて、サーフィン関連のものはすべてガレージに収納。これだけで家をきれいにキープできます（笑）」

Atsushi Teraya  
**寺谷淳さん**  
神奈川県

text/S.Sato 佐藤周平  
photo/T.Momo 百々智広

湘南ライフには欠かせない  
バイク&サーフガレージ



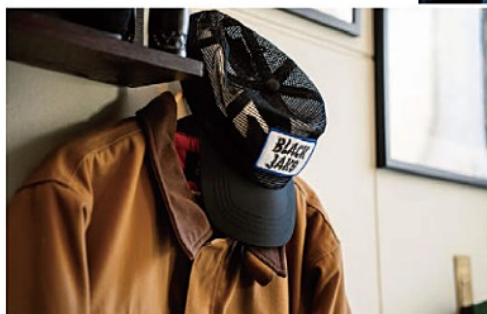


## 小スペースでも収納力が **[Point]** 高い長方形の間取りに

当ガレージは、玄関横のスペースを上手く活かしており、4畳と決して広くはないが、奥行きのある長方形にすることでサーフボード4枚、バイク1台を余裕で収納できるスペースを確保。バイクがナローなアイアンスポーツなので、さらに増車しても問題なし。湘南エリアは塩害があり、湿気も多いので、シャッターがあり、さらに換気扇も付けている。家の中に砂をもち込まないようシャワーも完備。



現在は所有するサーフボード4枚と、愛車であるアイアンスポーツが収納されている。そのほかにもウェットスーツやタオル、バイクパーツなどがセンスよく並んでいる



ツーリングなどで着ていたアウターは汚れてしまうことも多いため、クローゼットではなく、ガレージ内にかけている。バイク乗りマストなキャップは、ジャックスガレージのもの

奥の扉を開けると、玄関横にあるシューズクローゼットにアクセスできる作りになっているのもポイント。奥にはヴィンテージのアメリカンフラッグがある



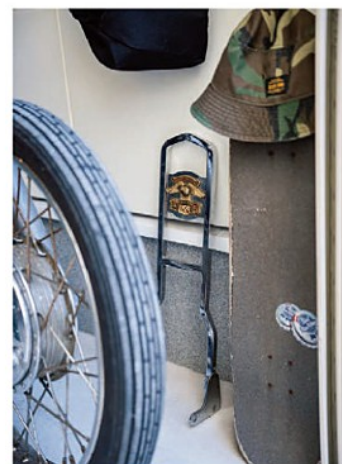
愛車のタンクに合わせたファイヤーパターンの棚は、アフターサーフで使うタオルなどを隠す役割を果たす。友人が遊びに来たときに振舞えるように小型の冷蔵庫も完備



## 1977 XLH1000

2年ほど前に購入したアイアンスポーツは、カリフォルニアの有名ビルダーがカスタムしたもの。ファイヤーパターンのタンクは前オーナーがペイントを施したそうだ

壁の塗装から、アートワークの飾り付けまで基本的にDIYで行っている。愛車もカリフォルニアのビルダーが手がけていたものであり、敬愛するカルチャーが西海岸にある



愛車のカスタムも考えており、いまはシシーバーなどのパーツを集めている。タンクとフェンダーを探しており、見つけ次第、まずはガレージの壁に飾りたりそう



ウェットスーツなどのサーフィン関連の小物類もガレージに収納している。仕事前でも波がよければ海に行くそうで、寺谷さんのライフスタイルには欠かせない存在だ





Koichi Tanizawa  
**谷澤幸一**さん  
愛知県

text&photo/D.Katsumura 勝村大輔



**自宅脇に設置した  
海上コンテナを活用**



## 海上コンテナを流用した 物置をガレージに改装予定

愛知県在住で、工務店を経営している谷澤さんは、自宅脇のスペースに20フィートの海上コンテナを2つ設置し屋根をかけることで、事務所兼資材倉庫として活用している。そんなコンテナの一角を、

現在所有している89年式ソフトウェアベースのチョッパーを格納するガレージとして活用しているというわけだ。

コンテナは砂利敷きの地面に埋めたブロック基礎の上に設置し、その周囲にはコンクリートを敷設。さらにコンテナの開口に

部に縞板を溶接したスロープを設置し、バイクの出し入れをしやすくするように工夫している。



コンテナの横にある白い扉は、奥にあるもう一本のコンテナを改装した事務所に通じているだけでなく、屋根のかかった部分は資材置き場兼作業スペースとなっている



ガレージ部分の入り口は海上コンテナの扉をそのまま流用している。ちなみに鍵をかけることもできるので、防犯面でも重宝しているそうだ

### 出し入れを快適にするワンオフのスロープ [Point]



コンクリートの打設で若干解消した周囲とコンテナフロアとの段差は約10cmほどあり、そのままではバイク出し入れは困難。そこでこの段差に縞板を溶接したスロープを敷設し、快適にバイクを出し入れできるように工夫した。実はこのスロープは使い勝手を考慮して幅や角度をリニューアルした2作目なんだとか。



コンテナの内壁面はウッド張りとなっているため、ここにフックを設置することで、ヘルメットやウエア、ハンドルなどのパーツを壁に収納している



### コンテナ内は想像以上に広い空間

スロープを設置したことで、乗ったままガレージ内に乗り入れることができるようになった。コンテナ内は外から見るよりもかなり広く、バイク一台であればかなり広々と使うことができる



コンテナ自体は砂利の上に置いたブロック基礎に設置し、コンテナの周囲や前面をコンクリートを打設。これによってコンテナ内のフロアと周囲の段差は少なくなっている



バイクの出し入れをするコンテナ開口部の上には、谷澤さんの手で屋根をかけ、出し入れの際に雨に濡れないように工夫している

### 1989 FLST Heritage Softail



すでにスプリングが装着された状態で3年ほど前に入手したという89年式のソフトウェアは、現在も徐々にカスタム進行中。10代のころはバイクに乗っていたが、このハーレーで久々のカムバックとなったそうだ

### 今後はコンテナ内をガレージとしてリノベ予定

現在は資材置き場となっているコンテナ内の一角をガレージとして使用しているのだが、今後は徐々にコンテナ内をリノベーションし、ガレージとして活用できるようリノベーションをしていく予定だ



# 家作りのプロが提案する アメリカンガレージライフ

Shonosuke Joe  
**城匠之介さん**  
福岡県

text&photo/K.Matsumoto マツモトカズオ  
取材協力/株式会社サニースポット  
TEL0948-43-8258  
<https://sunnyspot-home.jp/>



こちらのキュートな小屋はゲスト用のトイレ。内装にはアメリカから仕入れた部材を使っておしゃれな空間に。こういった、さりげない空間にも手を抜かない



ガレージ横にはアメリカンフェンスで囲まれた広い空間を確保。休日はこちらでBBQなどを楽しむ。市販のテーブルの天板を一枚板に載せ替えて雰囲気を変えているのも◎



68年のエアストリーム内観も外観もリビルトされており、コンディションは抜群。現在のオフィス&ショールームが建つ前はこの空間がオフィスであり、お客さんとの打ち合わせスペースだった





## 緑の広がる田園地帯に建つ アメリカンハウス&ガレージ

福岡県嘉麻市。福岡市からクルマで1時間ほどの筑豊と呼ばれるエリアにある町だ。そんな田園地帯が広がる県道沿いに突如現れる、アメリカンな建屋とエアストリーム、そして敷地に並ぶ旧きよき時代のアメリカ車たち。一見して洒落たクルマ屋かと見紛うこの場所は、福岡を中心にアメリカンハウスの建築を展開する工務店「サニースポット」の本拠地だ。

敷地内にはガレージ、事務所兼ショールーム、そして代表である城さんの自宅が建っている。建屋の雰囲気はもちろん、パームツリーやアメリカンフェンスなどもまた、カリフォルニアを連想させる異空間の演出に役買っている。

城さんはここ嘉麻市に育ち、福岡の老舗建設会社に就職。営業マンとして実績を上げていたが、自らの手で家作りをしたいと大工に転身。8年の修行を積んだ後に独立し、その最初の仕事として建てたアメリカンな雰囲気の家が反響を呼び、同じ仕様の家を建てたいという問い合わせが舞い込むようになったという。現在はアメリカンハウス専門の工務店としてその名を知られる存在であり、福岡のみならず一昨年前からは沖縄にも進出。本拠地福岡と沖縄を往復する多忙な日々を送っている。



### ポップな壁面に 込めたメッセージ

**[Point]**

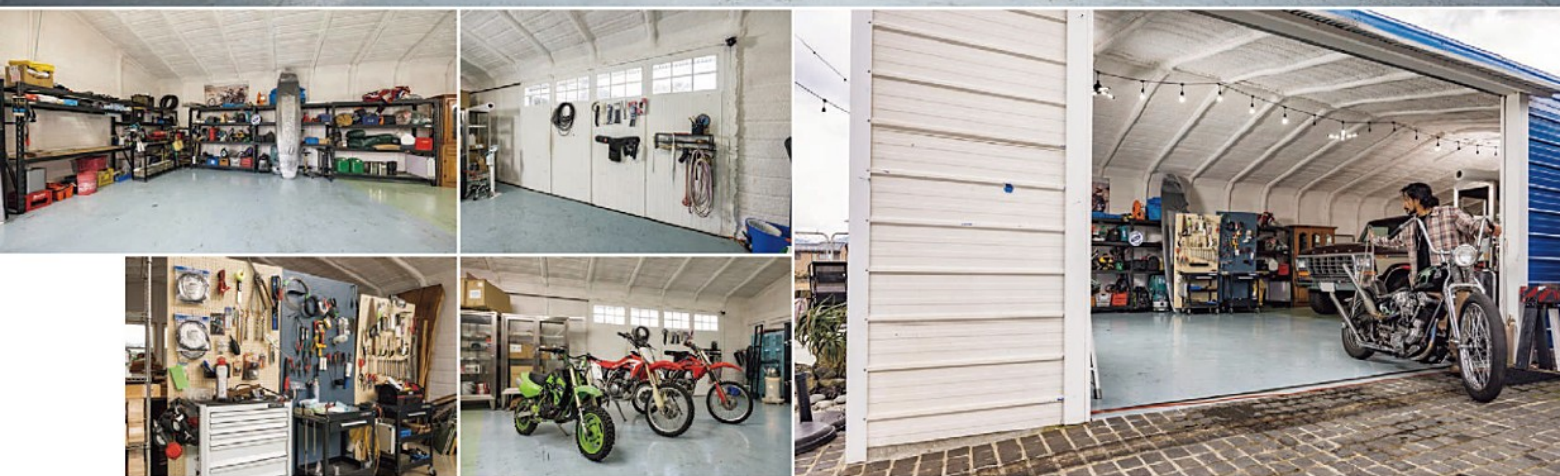
ガレージの壁に描かれたイラストは城さんの従兄弟がデザインしたもの。城さんのアイアンチョッパーに腰かける女性の姿と、「信念をもって、自分のやりたいことだけをして人生を生きる」というメッセージが記されている。仕事も趣味もやりたいことを貫いている、城さんを象徴するような金言だ。







## 趣味も仕事も楽しむ男の秘密基地的空間



重量物にも耐えるヘビーデューティな棚を巧みに組み合わせ、作業台としても活用。スライドドアは木材を買ってきて自作、ツールを収納するラックも設けた。ツールキャビネットには有孔ボードを取り付けて利便性を高めるなど絶妙なアイデアも。ハーレー以外にも高校のときから所有する「KSR」や、「CRF」などを所有している

### 2棟連なったガレージを巧みにアレンジ!

[Point]

向かって左がガレージ、右がショールームを兼ねたショップ兼オフィス。実は2棟とも同じアメリカンスタイルガレージがベースになっている。嘉麻市は冬に雪が降る日も少なくないほか、夏の暑さ対策を考慮して内装には断熱材を入れて室内の温度調整に対応する。



城さんが独立後、すべての工程や手配などを棟梁として手がけた初めての物件がこちらの自宅。この家で家作りを学び、またサニースポットのファンを増やした記念碑的な物件である



こちらは最近竣工したばかりのサニースポットが建てた物件。まるでアメリカ映画から飛び出してきたかのような佇まいは、まわりの物件と一線を画す存在感。アメリカ車がよく似合う!





## 1941 EL

「このバイクは以前からインスタで見てて、カッコいいなーと思ってたんです。それがたまたま売りに出て、即決で手に入れました。基本的にはアメリカから来たときのままで、ステップだけ自分でミッドにしました」



## 仕事にもプライベートにも大活躍のスチールガレージ

そんな城さんの疲れを癒してくれるのが家族、そして大切な愛車たちだ。バイク歴は高校のころにスタート。「Dトラッカー」やモトクロスなどを乗り継いできた。「ハーレーには乗りたかつたけど、高い買い物だし、ちゃんと家を建てて、家族に迷惑をかけない状態になつてから買おうと決めてたんです。8年前に家を建てることのできてようやく手に入れました」初ハーレーは65年のアイアンズポーツチョッパー。アイアンは現在、もうひとつの拠点となる沖縄に移動してあり、オフの日は沖縄で走りを楽しんでいるという。そして最近手に入れたのが41年のELチョッパーだ。



余裕をもってガレージに収まる愛車たち。奥の78年のブロンコはエアストリームを引っ張ってキャンブに連れていってくれる頼もしい相棒。手前に写るダッチ「ラムバン」は最近手に入れたお気に入りだ

ジだ。スチール製のインダストリアルな空間で、外観をコントラストの効いたブルーとホワイトでペイント。内観はウレタン吹付断熱が施されている。ガレージの奥は城さんが買った付いた家具などのストックヤードとして使用されているが、それでもなお広々とした空間が残る、そこにクルマやバイクが余裕をもって納められている。ここでちよつとした大作業をしたり、ときには自身のバイクの整備やカスタムを行うこともある。「若いころはお金もなかったから自分で修理してたんです。そんな時代があつたから、いまま余程のことがない限りは自分でやりますね。いまだにそれが楽しいんです」と、レンチを握りながら話す城さんは、お客さんにもバイクにも真摯に向き合う。そんな「棟梁」が作るアメリカンハウスは、きつと素敵な家に違いない。

カウンターではコーヒーやソフトドリンクをオーダーすることができる。オリジナルのカップには猿たちが家作りを楽しんでいるオリジナルのコミカルなイラストが描かれている



店内に入ると真っ先に目に飛び込んでくるのが一枚板のカウンター。こちらはカフェスペースでもある。ガレージの壁画をデザインしたサニースポットオリジナルのアパレルも販売



もちろん販売も行っているが、同時に家作りのためのショールームも兼ねている。「この照明を使いましょう」「このタイルにしませんか？」など、お客さんに提案する場でもある



アメリカの雑貨や家具を中心に、さまざまな輸入アイテムが並び店内は思わず目移りしてしまう品ぞろえ。最近ではヨーロッパの雑貨も取り扱うなど、守備範囲を着実に広げている



ショップサインが目立つ店構え。こちらの建屋はショールーム&ショップ兼オフィスで、店名は「サニーサイド」。ポーチ部分の作りやアメリカから仕入れたというドアがUSA感を引き立てている





バイク王

## ②豪華賞品が当たる! 新春大抽選会

1/4(土) ~ 1/31(金)

### 企画②

### 豪華賞品が当たる! 新春大抽選会



**開催期間** 2025年1月4日(土) ~ 1月31日(金)

**内容** 期間中にご来店にてお見知りいただいた方の中で豪華賞品が計10名様に当たります。

#### 賞品

- [TANAX] スマートライドモニター AIO-5 Lite (1本)
- [TANAX] スマートライドモニター XR-2(1本)
- [ARCHISITE] アクションカメラ insta360 X3(1本)
- [デイトナ] ドライブレコーダー M802WD(3本)
- [デイトナ] ヘルメット取付型ドライブレコーダー MP30 GPS(4本)

#### 対象条件

- ・実施期間中にご来店にてバイク購入のお見知りをいただいた方がご参加いただけます。
- ・期間中はおひとり様1回のお見知りまでを対象とさせていただきます。
- ・お見知りの際に個人情報(ご住所・お電話番号)のご記入を必須とさせていただきます。
- ・期間終了後、事務局よりご当選者様のお電話番号宛てに当選連絡をさせていただきます。
- ・事務局からの最初の当選連絡から1週間以内にご連絡が取れない場合は、当選の権利が無効となり繰り上げ抽選をさせていただきます。

バイクを  
買う



あなたの欲しい  
バイクが見つかる!

バイクを  
売る



最短30秒! お試し査定!

免許  
取得応援



新人ライダーも安心!  
最大33,000円の購入費用サポート!

用品  
を探す



バイク用品、カスタムパーツは  
バイク王ダイレクトにおまかせ!



# ①初売り特選車争奪戦!

1/4(土)11時～1/19(日)19時

合計  
**500台**  
大放出

現金販売価格・税込

**¥98,000～**



※画像はイメージです。

## 企画①

初売り特選車争奪戦! 合計500台大放出!



### 販売期間

2025年1月4日(土)11時～1月19日(日)19時

### 設定台数

全店で500台以上

第1弾 2025年1月4日(土) 11時～ ※300台

第2弾 2025年1月10日(金)11時～ ※200台(追加)

### 販売条件

- ・最寄りのバイク王販売実施店舗へのご来店で、全国の初売り特選車の購入申し込みが可能です。
- ・購入申し込みは先着順になりますので売約済みとなる場合がございます。
- ・車両のお取り置きや通販での購入申し込みはできません。
- ・特価車両のため、他の販売キャンペーンや特典との併用はできません。
- ・ご成約いただいた車両は最寄り店舗へのお取り寄せが可能です。配送料はスタッフへご確認ください。
- ・車両購入の締結時にはバイク王会員登録(無料)をお願いいたします。

バイクのことなら

**BIKE王**

365日受付中!

販売・買取

**0120-50-8190**

お申し込みの際、「クラブハーレーを見た」とお伝えください。

バイク王

検索

(株)バイク王&カンパニー:東京都世田谷区若林3-15-4

(株)バイク王&カンパニーは東京証券取引所スタンダード市場に上場しています。(証券コード3377)





YOKOHAMA

# HOT ROD CUSTOM SHOW 2024

最新秀逸カスタム目白押し!

昨年末12月1日に開催された「ヨコハマホットロッドカスタムショー」。  
今年も国内外のカスタムビルダーの手で作られた秀逸なカスタムが集まった。  
その中から注目すべきカスタムをピックアップしていく。

text&photo/T.Numao 沼尾哲平 photo/K.Matsumoto マツモトカズオ  
取材協力/ムーンアイズ TEL045-623-9662  
<https://yokohamahotrodcustomshow.com/>

ゲストビルダーとメーカーの **ライドインショー!**



ショーのスタートは恒例のライドインショー。昨年のアワードバイクに加えて海外ゲストのバイク、スポンサーのバイクなどが参加し、会場中央の花道をカスタムカー & バイクがエキゾーストノートを響かせて走る姿に会場は大いに盛り上がった





ホットロッドショーに合わせて来日したハーレー本社デザイン部門、ブラッド・リチャード氏がタンクにサイン

## ハーレーブースでは ジョイライドとコラボした レーサーが初公開!



ジョイライド西田さんとハーレー本社のデザイナー・ダイス・ナガオさん、カメラマン伊勢さんによるトークショーが行われた

西田さん、ダイスさん、ブラッドさんに加え、H-D社のアジアパシフィックVP・ディミトリス・ラプティスさんも加わりフォトセッション



「ジョイライドスピードショップ」が手がけたローライダーSTのパフォーマンスカスタム。バンク角を稼ぐため車高アップや、バックステップ化するなど、レース走行を想定した仕様

ウエストコーストチョップバーズをオマージュした「ヴィダモーターサイクル」。エンジンのエングレービングなど見所満載



カラーを同じくする2台のナックルを展示した「スタンス」。スプリンガーを組んだこちらはアウトローな雰囲気



「ケンズファクトリー」のシングルクレドルフレームのナックル。ガーターフォークやホイールなど、自社パーツで組んだオリジナリティあふれる一台

「インディアンオレンジ」のショベルは、ソリッドカラーにフレイムスのペイントが特徴的

## 国内外から集まった秀逸な 最新カスタム



「バイクガレージココロ」の上部がスkeletonになったスプリッドロッカーを備えたショベルチョッパー。フレームワークの美しさはさすが



フリスコの名手である「コズミック」が製作したエポ。絶妙なバランスで作られたボディラインが秀逸

「フェイテック」の新作は、メタルワークが秀逸なアーリーショベル。磨き上げられたエンジンが目を引く一台



「バドロータス」が作ったアーリーショベルのサス付きチョッパー。サイケデリックなペイントがCOOL





# ASTERISK



ベストオブショーモーターサイクルを獲得した「アスタリスク」アーリーショベル。フロントにリフスプリングを組んだクラシカルかつモダンな雰囲気仕上げられている



「ファーストアローズ」が持ち込んだのは、陸王RQベースのトラックレーサー。ただならぬ雰囲気を醸し出す盆栽とともに展示

京都で内燃機業を営む「サカイボーリング」が製作したアイアンスポーツのドラッグレーサー。レースでは好成績を残しているマシン



「ホットチョップスビードショップ」もドラッグレーサーを出品。スタイリングの秀逸さはもちろん、速く走ることを追求した機能美に注目！

「チェリーズカンパニー」の真骨頂であるフルスクラッチ。ガーターフォークやホイール、フレームなど、見どころ満載



「ストゥーブモーターサイクルズ」のフリスコはナックルを搭載。前上がりチョッパーらしい車体とコンパクトなポジションが特徴的

## 国内外から集まった秀逸な 最新カスタム



メタルワークのスペシャリスト「アウトキャスト」が友人である「セブンスヘブンアートジュエリー」の馬場さんのために製作。各部秀逸な金属加工が光る一台



「チーターカスタムサイクルズ」はビューエルの単気筒モデル、プラストをベースに製作したフラットトラックレーサーを出品。極限までコンパクトに仕上げている



鮮やかなグリーンが目を引く「シウクラフトワークス」のドラッグレーサー。実際にドラッグストリップを走るところが見たい直球な一台

「セブンモーターサイクルズ」のアーリーショベルチョッパー。タンク、フェンダー一体のフレームの作り込みの美しさはさすが

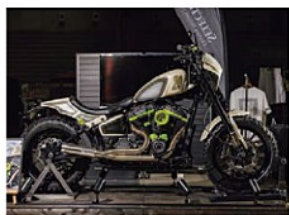


中国から出品した「LS.モータサイクルズ」は走行時と停車時で見た目が変わるギミックを備えた一台。パープルのカラーも目を引く





「ヒューモングスカスタムサイクル」のフリスコは最高のバランスで仕上がっている。シックなペイントがボディラインの美しさをより際立たせる



「セレクトッドカスタムモーターサイクル」とパフォーマンスパーツブランド「クラウド」のコラボカスタム。詳しくは本誌122ページで



技巧的なメタルワークで細部まで隙なく作り込まれた「キッドカスタムファクトリー」のリジッドショベル。コンパクトなポジションが魅力

「ローカルサイクルス」らしいサイケなカラーリングのアイアンショベル。攻撃的なトラックスタイルとボディカラーがマッチ



韓国「シェイクピストン」が持ち込んだのは70年代スタイルのショベルチョッパー。ワイドトリプルツリーにデュアルライトが個性的！



アメリカから「キョズガレージ」がボンネビルで走行したナックルレーサーを出品。リアルなレース車両に注目が集まっていた



「ハマーサイクル」のダートマシンはナックルを単気筒化し、走行に関わるパーツを残して限界まで軽量化した本気のヴィンテージレーサー



アウトドアブランド「オールドマウンテン」がフォードとともに出品したのは「チャボエンジニアリング」の木村さんが製作したグースネックのサイドバルブ



ノーマルフレームを活かしつつ、ボディワークでらしさを見せた「ヒデモーターサイクル」のショベル。高い技術力が光る



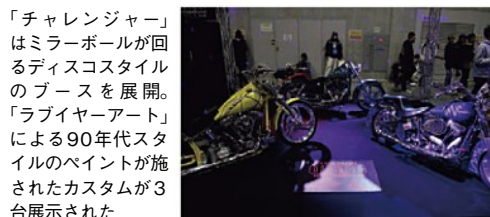
アメリカ・インディアナポリスの「ヘイマンファブリケーション」は、なんとカーボンパーツを多用したM8をキャブ化し、リジッドフレームに載せた

## CH PICK!

クラブハーレーピックはこちらの一台!



今回のクラブハーレーピックはアパレルブランド「チャレンジャー」が出品した代表田口さんのスポーツスター。ブースのコンセプトである「90年代」を反映させたパーツチョイスとペイント。さらにまるでFLのようなスタイリングにグッと来たので選ばせてもらった



「チャレンジャー」はミラーボールが回るディスコスタイルのブースを展開。「ラビィヤーアート」による90年代スタイルのペイントが施されたカスタムが3台展示された



80～90年代のカスタムパーツを中心に組み上げ、90年代当時に流行したスタイルを作り上げている





お悩み  
解決!

大阪府柏原市にショッ  
プを構えるトライジャ  
は、独創的なカスタ  
ムのほか、カスタムパー  
ツの開発にも力を入  
れている



新設! /

TRIJYA HP

YouTube



LINE



instagram



Facebook

# TRIJYAの モノ造り道場

今年のホットロッドカスタムショーのトライジャブースでは、  
ドイツ本国から「ジキル&ハイド」のCEO、エリック・ピーターズさんが駆けつけた。  
そこで日本のアフターマーケットマフラー市場の状況と、  
マフラー開発の最先端や今後の展開についてうかがった。

text&photo/D.Katsumura 勝村大輔  
問い合わせ/トライジャ TEL072-970-3110 <https://trijya.com/>

／ 今回のお題 ／

## ジキル&ハイドのCEOに聞く、 日本のマフラーカスタム事情と これからの展望



今年もホットロッド  
カスタムショーで  
しっかりアピールさせて  
いただきました!



——トライジャとの取り引きがスタートしたきっかけは？ またト

——今後のアフターマーケットマフラーの市場はどうなっていくと予想しますか？

エリックさんはクオリティを重視する人が多い印象ですね。これはドイツと状況が似ていると思います。日本は環境意識の変化や車検制度から合法マフラーを求めるのに対して、ヨーロッパ、特にドイツではスピードカメラに音量測定ができるタイプがあり、音量が大きすぎればカメラで撮影されて一定期間登録できなくなります。いずれも非合法マフラーを選択しにくい状況であることは変わりません。

——日本のマーケットはほかの世界各国と比較して、どんな印象ですか？

来日中のジキル&ハイドCEO  
エリックさんにインタビュー





## CEOエリックさんに直撃!

ヨコハマホットロッドカスタムショーに合わせて来日したジキル & ハイドCEOエリック・ピーターズさん。今回はそんな忙しい合間を縫って、直接エリックさんにインタビューする貴重な機会を得ることができた。ちなみにトライジャのブースでは多くのユーザーと一緒に「J&H最高〜!」の合言葉を連発していた。

## ほとんどの車種に対応!

ジキル & ハイドのマフラーは、ツインカムエンジン搭載車以降から最新のM8エンジン搭載モデルまで、ほとんどの車種に対応する豊富なラインアップも魅力。また、最新モデルが登場した際に対応製品のリリースが早いことも特徴で、これはAIを使った開発や、効率のいい生産体制を確立しているからこそ実現できるもの。またエ

キパイの色をはじめ、サイレンサーの形状や色、エンドキャップの形状や色などを細かく選択可能。愛車に合わせたエキゾーストシステムをチョイスできる。



## 開発は「サブリナ」が担当



ジキル & ハイド本社の開発部門では、「サブリナ」と呼ばれるAIがあらゆる状況を想定した走行テストを行って開発を進めている。右上の写真でバイクに乗っているのがサブリナで、人間のようにスロットルやシフトを操作。このAIを使った独自のテストを導入したことで、製品開発スピードが早くなり、ニューモデルにもすぐに新製品をリリースできるようになったそうだ。

ライジャを選んだ理由は？  
**エ**…いまから4年ほど前に岡本さんからアプローチがありました。そのときは岡本さんが自分たちでエキゾーストを開発しようとしていました。そこからいろいろ話をするうちに意気投合したという感じですね。岡本さんはやるというところは絶対にやるし、幅広いコネクションをもってます。ビジネスを知っているプロフェッショナルで、日本人では珍しいしつかりとした主張もできる数少ない人物なので、ビジネスパートナーとしては最適な人物です。私はかねがね「ミステイクは学びのチャンスなので、失敗を恐れずにどんどんチャレンジしよう!」と彼とも話しています。岡本さんは文字通りともにチャレンジしていくことができる関係といえると思います。

——J & Hとトライジャの間で普段どんなコミュニケーションをとっていますか？ 現場からのフィードバックもあるんですか？  
**エ**…ディーラーは我々以上にユーザーの要望やニーズを知っているの、岡本さんからのフィードバックはとても重要です。これによって日本の市場で何が必要なのかを知ることができるのです。こうして世界中から集められた販売データやクレームは、本社で一括管理ができるようになっていきます。そしてよりよい製品のために役立てられているのです。



# パフォーマンスカスタムを得意とする セレクトッドとクラウスの コラボが実現!

text/T.Morita 守田二草 photo/S.Ise 伊勢悟  
取材協力／セレクトッドカスタムモーターサイクル  
TEL03-6424-8265 <https://www.selected.co.jp/>  
スズキ&アソシエイツ  
TEL0563-55-4700 <https://www.customworld.jp/>



「セレクトッドカスタムモーターサイクル(SCM)」が、  
設立20周年記念としてパフォーマンス系パーツメーカー  
「クラウス」とコラボレーション!  
ヨコハマホットロッドカスタムショーで  
披露されたのが珠玉の作品「CHRONO EDGE」だ。

SCMとクラウスのダブルネームでダービーカバーを製作。M8ソフテイル用とTC/M8ツーリング用を数量限定で商品化した。ボルトオンで装着できるSCM製ヒールシフターでシーソーペダル化。フットペグはクラウス製だ。SCM製スタンドエクステンションでサイドスタンドを出しやすくしている



ワンオフのタンクは、内部の圧力を調整するベントホースを装着。ペイントは「ナチュラル」で20周年を表すゴールドドリーフを施している



SCMとジミードープでオリジナル製作したソロシート。ワンオフでベースを作成し、座面はタックロールを施したブラックレザーで、シートエンドをメダリオンで装飾

コイルカバーとローワーロッカーカバー、シフトロッドを鮮やかなイエローグリーンに塗装。外装のビンストライプも同系色でまとめた



スポーティなトラッカースタイルのシートカウルは、ベースから製作した逸品。この車両に使われているブランドのロゴが刻まれている



## CHRONO EDGE

ベースは「ローライダー S」の2023年モデルで、SCM代表・西岡さんの愛車。クラウス側からのコラボのオファーを受け、SCM20周年記念として着手。「ヨコハマホットロッドカスタムショー」で披露され、注目を集めた





ハンドルはSCM製ノーラストT-BARにブレースを装着。クラウス製ソフトイル用デジタルゲージマウントキットで、KOSO製D2マルチファンクションメーターをセットした



FAB28の高品质ステンレススチール製2in1マフラーをセット。SCM製ファンネルキットとタベット、ロワーロッカーボックス、ブッシュロッドカラーを塗装

クラウス製Apex Edgeフットペグを装着。軽量のアルミの削り出しによる表面の凹凸加工で、安定性とマシンのコントロール性を高めている



オーリンズ製リモートプリロードアジャスター付リアサスペンションを装着。プリロードアジャスターにもイエローグリーンの塗装を施した

クラウスとオーリンズのコラボによる倒立フォークキットを装着。クラウス製SX5トリプルツリー、ラジアルブレーキマウント、フェンダーマウントが付属



前後にアルミ削り出しのSCM製“ジャックホイール”を装着。クラウス製ラジアルブレーキマウントにブレンボ製ラジアル4Pキャリパーをセット







ボに至った理由とは!?

# KRAUS

## KRAUSとは……?

ハーレーの走行性能を向上させる最先端のパフォーマンスパーツを数多く世に送り出すことで知られるブランド。オーリンズとのコラボによるプレミアムサスペンション、人間工学に基づいたハンドル&フットコントロール、デザイン性と走行性能を両立するアルミのピレットパーツなどが評価され、走りを目指すハーレー乗りたちに支持されている。

### Core Isolated Riser

10インチ  
15万8840円

5インチ  
14万360円

8インチ  
15万8840円

BullyST Pro Kit  
36万1020円

12インチ  
15万8840円

EZ-Shift  
1万6940円

KR8 Inverted  
Front End Kit  
136万4330円

Sandoval Open Road  
Adjustable Bars  
13万1120円

SX5 Inverted Front End Kit  
129万9320円

SX3 Softail Foot  
Controls  
15万5430円

クラウス(以下、ク)…日本はいろんな文化を取り込み、新たな価値を生み出すところが優れていると思うので、パートナーシップを結ぶことがブランドの発展に必要だと思っていました。セレクトテッドはハイクオリティでハイデザイン。乗って楽しくなる相互作用を生み出しているところに共感して、仕事をしたいと思いました。

西岡(以下、西)…お話をいただいたとき、もともとクラウスの製品をかなり扱っていて知識はありましたし、やってみたくて思いました。コラボとなれば、セレクトテッドとして恥ずかしいものは出したくない。僕の理論に基づいて「好きにやらせてほしい」とお願いしました。それでどう評価されるのか楽しみでした。

ク…このバイクを見て、一緒に仕事して間違いなかったと確信しました。ダートっぽさ、ヴェイニングっぽさもありながら、しかも新



Kraus Motor Co.  
CEO  
サティア・クラウスさん



## カスタム製作の現場に潜入!

クラウドからのオファーを受け、西岡さんの愛車を自腹でカスタムするプロジェクトがスタート! ホットロッドカスタムショーに向けて超特急で作業した。倒立フォークキットの開封動画から、完成作のPVまでは、YouTubeのSCMチャンネル (@selected\_cm) でも紹介されている。



ヨコハマホットロッドカスタムショーでお披露目!



ホットロッドカスタムショーで、CHRONO EDGEが初公開されたときのようです。現代的ながらヴィンテージ感を併せもったスタイルに注目が集まった



最も注目を集める2社がコラ

# SELECTED

### 挑戦する情熱を共有できる同志

「旧きよき物をリスペクトしつつ、さらに高めて新しい物を生み出していく日本の文化に惹かれる」と語るクラウドさん。西岡さんとは同年で、互いの志に共感することが多く、すっかり意気投合。「この難しい業界に挑戦していけるパッションが出てきます」とスタッフにも敬意を表した



セレクトッド  
カスタムモーターサイクル 代表  
西岡竜一朗さん

クラウドさん、今回のショーでどのバイクよりインスピレーションを受けました。新しいディレクションを見つけたことができたし、もう早く帰りたい。ショップに戻ってバイクを作りたくまりました(笑)。

車。タンク下の余白の使い方が上手い。音楽で例えるなら、無音と有音の組み合わせが素晴らしい。ほかのビルダーが思いつかないような色を矛盾なくマッチさせているところにも感銘を受けました。西岡さん、言いたかったことを言い当てられました(笑)。クラウドさんと初めてお会いしましたが共通点が多いですね。大事にしているのはオールドスクールへのリスペクト。そしてチョップパーションへのリスペクト。新しい物に対しても、オーダーをしてくれた人にもリスペクトする。新しい物を作り出すには、古い物も知ってなければいけないからです。全部を融合させるために苦心しました。



# クラッチレバーの操作がいらない! 驚愕の画期的パーツ、 “サイバークラッチ”を開発中!!

数あるオートバイの中でもハーレーのクラッチレバーといえば「重い」操作性で悪名高いパーツのひとつに数えられるもののだが、それを根本から改善するどころか「操作そのもの」をナシにしてしまう画期的パーツがおなじみ「サンダンス エンタープライズ」でテスト中。今回はその速報をまずはここで紹介しよう。

text&photo / M.Watanabe 渡辺まこと

## ・サイバークラッチ、その構造とは?

開発秘話や乗り味に関しては左ページで紹介しているゆえ、ここでは割愛させていただくが、今回、サンダンスとイケヤフォーミュラによってプロトタイプが製作された“サイバークラッチ”の特徴がノーマルのハーレーに『後付け』で装着できる点だろう。その構造を簡単に説明させてもらおうと、「ミッション横に設置されたセンサーがシフトの動きを感知し、コンピュータでプログラミングされた電気式アクチュエーターが人間の手の動きのようにクラッチ操作を制御する」というシステムで、簡単にいえばクラッチレバーの操作を必要としない「ノークラ」を実現するもの。これまでもこうした操作性のパーツに自動遠心クラッチやホンダのDCT、電気式クイックシフターなどが存在したが、それらと異なりミッションそのものの改造を必要としない点も、かなり画期的だ。そう、これはマジで世界的なニュースなのである。



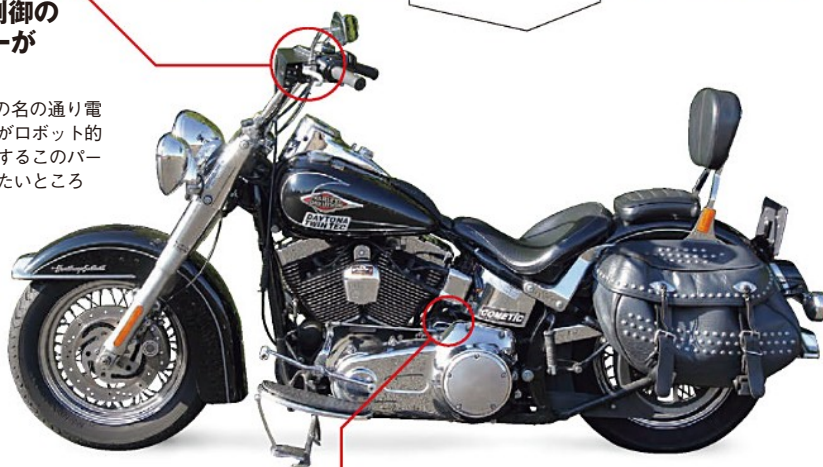
### コンピューター制御の アクチュエーターが クラッチを操作!

“サイバークラッチ”の名の通り電気式アクチュエーターがロボットの動き、レバーを操作するこのパーツ。ここは動画で見せたいところ

プロトタイプはサンダンスの試乗車である2009年式ヘリテージに装着。ミッションケースへのマウントとプログラミング次第でさまざまな車種に取り付け可能



コ、コイツ……  
動くぞ!



### シフト部のセンサーが クラッチの動きを制御

ミッション内部をイジることなく、シフトロッド横のセンサー位置によってクラッチ操作を制御する部分も“サイバークラッチ”の画期的なポイント。エンジンの点火を電氣的に一瞬とめるクイックシフターや自動遠心クラッチ、DCTとは構造も大きく異なる



取材協力 / サンダンスエンタープライズ  
TEL 03-5450-7720  
<https://www.sundance.co.jp>  
イケヤフォーミュラ TEL 0289-64-5652  
<https://www.ikeya-f.co.jp>  
CHOPPER TEL 03-6339-3070  
<https://www.chopper-cools.com>  
Tak's Performance Parts  
<https://www.taksperformanceparts.com>

### サイバークラッチは サンダンスとチョッパーで販売予定!

栃木県のイケヤフォーミュラが設計、生産し、おなじみのサンダンスと共に開発する“サイバークラッチ”はリリース後にサンダンスとCOOLS佐藤秀光さんのショップ、チョッパーで販売予定。これは期待である





## 社会貢献にも寄与する 画期的パーツが生まれた理由

数あるバイクの中で「重い」といわれるハーレーのクラッチレバーだが、その操作を改善する（※対策パーツとして、サンダンスのフェザータッチレバーやT.P.P.のVPクラッチなどが既にあるが：…）どころか「クラッチレバーの操作そのもの」をなくしてしまう画期的パーツがサンダンスと栃木県にある「イケヤフオーミユラ」によって開発中とのことなので、まずは速報として、ここで読者の皆さんに現状と製作に至った経緯をお伝えしたいと思う。

もともとこの「サイバークラッチ」を設計したイケヤフオーミユラといえば、クルマの世界でオリジナルの「シームレス・ミッション」を開発し、その道では名を知られる存在なのだが、同社がハーレー用の開発協力をかねてより交流のあったサンダンスに要請。それが今回の「サイバークラッチ」の誕生に繋がったのだが、ミッション間の「つながり」の空走時間をゼロにし、それがサーキットでのタイム短縮につながる「シームレス」だとハーレーのテイストに不向きと判断。エンジンの低回転からアクセルを開け、シフトアップする際の「タメ」も「味わいのひとつ」と考えた結果、右のページで紹介したとおり、今回の方式

の採用に至ったとのことだ。

もちろん、ハーレーに限らずバイクを走らせるうえでクラッチの操作も楽しみのひとつであることは、サンダンスもイケヤフオーミユラも承知のうえなのだが、今回の開発にはクルースの佐藤秀光さんのシヨップ、「チョッパ」の活動も大きく関わっているとのこと。佐藤秀光さんといえば、かねてから障害者向けのトライクを製作し、その普及に尽力しているのだが、そうした部分への共感もこのパーツの開発の根本にはあるという。

例えばこのパーツはクラッチ操作が不要ゆえ、左手にハンデを抱える人にとつて有効なのはもちろん、将来的にはハンドシフトへの転用も可能とのこと。あらゆるユーザーに向けたものとなっているのだが、驚くほどにイージーな操作性はビギナーやクラッチ操作が苦手という方にもオススメだ。

そう、すべての人が安全にハーレーを楽しむこと……そんな理念が息づいた。パーツなのである。



## クラッチ操作を必要としない 不思議な乗車感覚

ハーレーといえば年式問わず「重いクラッチ操作」に悩まされている方も多いと思うが、いうまでもなくこの「サイバークラッチ」はそうした一連の動作が不要。シフトを足で触ればレバー横のアクチュエーターが機械音とともに「グイーン」と動き、スコンとツマ先を踏み込んでもエンスト知らず。もちろん、そのままアクセルを開ければ「ドドドッ」と車体が走り出し、変速も容易にできるものとなっている。右のページでも根本的に自動遠心クラッチとは違うことを説明したが、操作自体はカブ並の簡単さだ。そのうえでハーレーならではのエンジン上昇感覚やシフト時の「タメ」などの「味わい」をそのままキープするこのパーツ。マジで革命である



レース活動を通して得た技術をユーザーのハーレーに還元し、効果的かつ実用的なパーツ開発を続けるサンダンスのZAK柴崎さんとT.P.P.の重松健（たけし）さん。ロードとドラッグという違いこそあれど、共に世界の頂点で活躍した強力タッグの技術力が今回の「サイバークラッチ」でも注がれる。コイツは実に楽しみだ

## ・サイバークラッチにマスト！ 効果テキメンのパーツたち!!

サンダンス・  
フェザータッチ  
パワーレバー



基本、レバーでの操作を必要としない「サイバークラッチ」だが、通常のように手でレバーを握る場合はサンダンス製レバーが効果テキメン。驚きの軽さを実現する

T.P.P.・  
VPクラッチ



アクチュエーターへの負担軽減を考えるとクラッチレバーの操作が55%減の力で操作可能なVPクラッチの装着はマスト。もちろんノーマルH-Dにも絶大な効果を発揮する





ADJUST SCREW



BELL AIR FUNNEL



OPEN MID CONTROL



SUPER SHORT RISER



TOP BRIDGE RISER



NARROW-HIGH



NARROW-MID BLACK



NARROW-MID



NARROW-LOW



HANDLE RING

**HAMMER  
SYCLE**



## HAMMER SYCLE Original Products

[www.hammer-sycle.com](http://www.hammer-sycle.com)

## HARDLY-DRIVEABLE Original Products



GAUNTLET GLOVES



SHORT SLEEVE  
SHIRTS  
(STRAIGHT)



HEAVY WAFFLE  
SHIRT



LONG SLEEVE  
SHIRTS  
(STRAIGHT-BLACK)



RACING JERSEY



VMX GLOVES



CLUB STER



ENGINEER CAP



BEANIE



THREE-LAYER  
COACH JACKET

**HARDLY-DRIVEABLE  
MOTORCYCLES**  
**HAMMER SYCLE CO.**

9431

**HARDLY-  
DRIVEABLE**



[hardly-driveable.ocnk.net](http://hardly-driveable.ocnk.net)

943-1 OIWATA, TSUCHIURA CITY, IBARAKI PREFECTURE



# SUNDANCEがリリースする、工学的欠点を払拭する本物のパーツ群。

理想的な三拍子のアイドリングを実現した際に起こる  
あの“ガコガコ音”を防止!!  
出だしの際のタイムラグも最小限に抑止!!

SUNDANCE  
プライマリー コンペンセーター  
強化ダイヤフラムスプリング

¥16,500 (税込) / 1枚



紹介ブログ↓



※ 昨今、類似品が出回っておりますのでご注意ください。

エンジンからのパワーとトルクを効率的にミッションに伝える上で重要なパーツが、コンペンセーターのダイヤフラムスプリングです。ただこの純正パーツは経年による消耗や破損事例も多く、サンダンスでは対策品を2015年より設計・開発、世界的な高品質スプリングのトップメーカー「NHKニッパツ」に発注し、一枚一枚丹念に、外側と内側別々に焼き入れを行い、最高峰の品質を誇る製品として生み出され、現在隠れた人気商品となっております。

また、コンペンセーターハウジング(カバー)内の4枚中1枚を交換する対策品となりますので、価格的にも大変リーズナブルです(純正の場合アッセンブリー交換となり、十数万円の出費となります)。理想的な三拍子などの極低回転およびアイドリングを実現した際に起こるコンペンセーターの「ガコガコ音」を防止するだけに留まらず、強化パーツとしても大変有効です。'70年式ショベルから現行車種まで、外径φ105mmとφ92mmの2種類のサイズで対応します。詳しくはお問い合わせください。

超! 大ヒット御礼!!  
操作性の劇的向上に驚きの声続々!!  
SUNDANCE フェザータッチパワーレバー

紹介ブログ↓



ブレーキ/クラッチ用

ビレット ¥13,750 (税込) / 1本

ポリッシュ ¥14,300 (税込) / 1本

ブラック ¥14,850 (税込) / 1本

ブレーキ/クラッチ

セット購入で ¥2,200 割引



ピレット

日本のハーレーライダー向け、操作性の向上を図ったアルミ削り出しのブレーキ及びクラッチレバーです。このレバーに交換するだけで得られる驚異的なフェザータッチ効果は口コミで広がり、おかげさまで大ヒット商品となっております。生産が追いつかず、常にバックオーダーを抱える状況が続いておりましたが、現在増産に向けて準備中です。ご不便をおかけしておりますが、今しばらくお待ちください。ビッグツイン・スポーツスター各車種用有。詳しくはお問い合わせください。

— フェザータッチパワーレバー

— 純正レバー



クラッチ

ブレーキ



世界的オイルメーカーに特注した  
H-D専用エンジンオイル、  
只今絶賛発売中!!

KENNOL<sup>®</sup> SUNDANCE<sup>®</sup>  
PERFORMANCE OIL

KENNOL / SUNDANCE POWER TOURING

パワーツーリング 10W-50 1L ¥3,960 (税込)

数多くの自動車メーカーの純正オイルを製造するフランス第2位の大手オイルメーカー、ACCOR社。そのハイスベックオイル専用部門でF1やル・マン、インディ、NASCARなどのレースで高い実績を残すKENNOL。その性能と品質に惚れ込み、サンダンスが特注依頼しH-D用に特化した専用エンジンオイル「KENNOL / SUNDANCE POWER TOURING」です。このオイル最大の特徴である高次元の性能と耐久性は空冷OHV大排気量で抵抗の大きなハーレー・エンジンの雑味を払拭し、振動とノイズを低減。逆に鼓動感とトルク感を強調するものとなっております。またエンジン始動時における油膜切れを軽減させる効果もあり、暖気運転が困難な環境のユーザーにもおすすめです。そして次回交換時期まで安定した性能を誇るのも、このオイルの大きな特徴です。H-D専用開発された真のパフォーマンス・オイルを、是非体感してみてください。

開発ブログ→





























PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
vol. 295









**Service**

**VOLKSWAGEN  
PARKING  
ONLY**  
ALL OTHERS  
WILL BE TOWED  
← →

**76**

**3030  
SHALE  
AUTO POLISH**

**DRINK**  
OPEN 24 HOURS  
**Diner**  
DRIVE IN  
**"Pepsi, please"**

CALIFORNIA  
**KPM331**

**7up**  
The fresh up!  
family drink!

**VOLKSWAGEN**



**Miller**  
Genuine Draft  
LIGHT



**BELL  
HELMETS**

**DRINK Coca-Cola**

**DEPENDABLE  
CHAMPION  
SPARK PLUGS**





PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
vol. 295





















PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
vol. 295











PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
VOL. 295











































SUPER

**HOT RODS  
ROD TOM**

### CONTESTANT



auto  
lamp  
bulbs

CHAMPION SPARK PLUG  
GASKETS

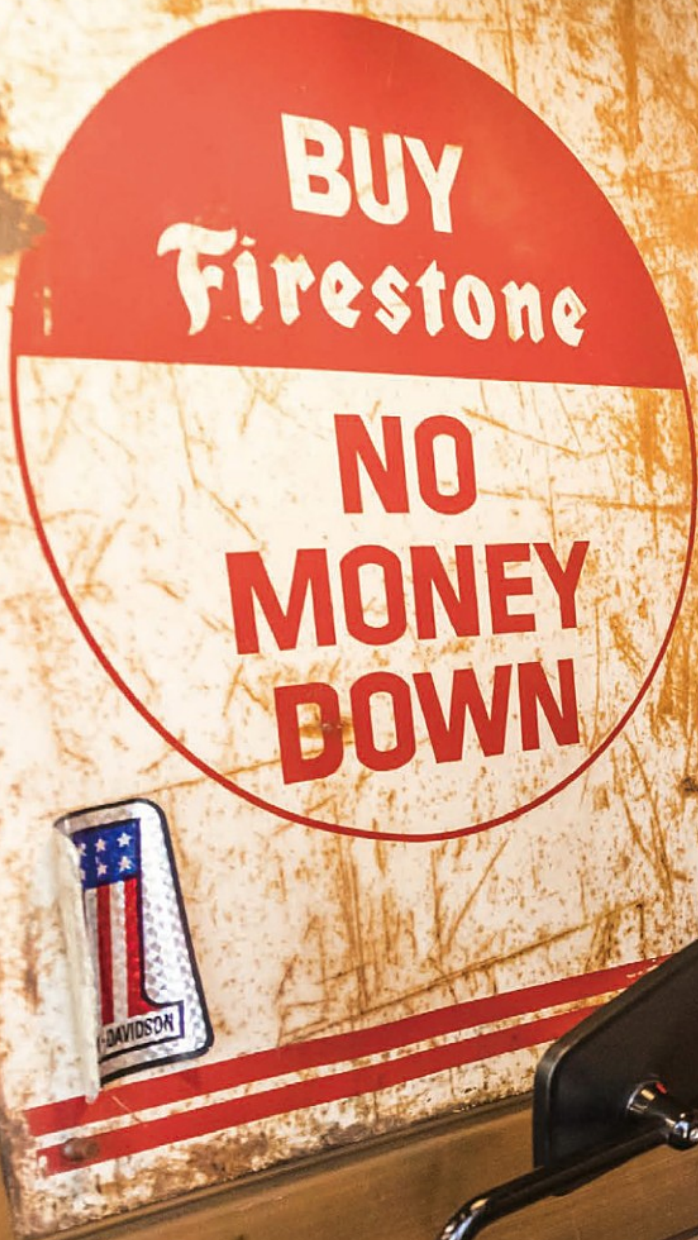
**FAMWAS**

... ..



10









PICK UP  
PHOTO'S

CLUB HARLEY  
vol. 295











ANDA

ANDA

CONVERSION SHEET

I WANT TO SPLURGE

SR 500

PRIORITY MAIL































**Kendall**  
**MOTOR OIL**  
**IN THE PROTECTION.**







SONAWAY SUNDAY  
BRUCE BROWN FILMS PRESENTS



POUR IN























PICK UP  
PHOTO'S

CLUB HARLEY  
VOL. 295















PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
vol. 295



ED  
DAVIDSON  
ARROW  
PARKING  
ONLY







SCOTTY STOMIN  
C x Z  
Cycle-Zombies  
Huntington Beach  
California  
MOONEYES  
HRES JAPAN

BLACK  
JAKS

寺

Coca-Cola

12:00









Photo: Ken Nagahara









PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
vol. 295











PICK UP  
**PHOTO'S**

CLUB HARLEY  
vol. 295



































GENUINE QUALITY  
**IRON HEART**  
21oz EXTRA HEAVY DENIM